

科目名	演習		
担当教員名	岡林 正和		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	1Qクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

ビジネス情報コースの専門必須科目。

#### 科目の概要

学生の殆どが、何らかの形で、本学を卒業後、企業との関連で働く事になる。3年生の演習では、前期は企業について、基本的な事柄、しくみを実際のケースを論じながら、徹底的なアクティブラーニング方式による理解を目指す。又、企業の就活で必要となる、論じる、書くという訓練も合わせて行う。

#### 学修目標

会社、企業というものの基本的な事柄、その運営の為の理論の基礎について理解する事を目指す。

#### 内容

会社、企業とは何か、企業はどうやって収益を上げていくのか、企業が生き残っていくには何が必要か、企業の仕組みはどうなっているのかという、企業の実際についての理解を目指す。授業は、講義方式で無く、学生との或いは学生間の討論形式で議論を重ねて、学生一人一人が理解を深める参加型で進める。更に、学外授業として、企業訪問等を実施、実際の職場の空気を肌で感じて貰う。又、資料についても、一部実際に企業で使用している材料、簡単な英文のものも使用する。

#### 評価

ゼミへの取り組み姿勢 ( 50% ) レポート内容 ( 50% )

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

教科書は特に定めない。但し、受講者は、4月の授業の開始までに、”もしドラ”を一読しておく事。企業を議論する上で、解りやすく参考になる。

科目名	演習		
担当教員名	岡林 正和		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	2Qクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

ビジネス情報コースの専門必須科目。

#### 科目の概要

前期演習で、修得した企業の基本的な事柄、しくみに関する知識を基に、企業の展開策、生き残り策、必要な人材像について演習を通じて理解を深める。更に、並行して開かれる総合講座 ” 変貌する産業界への探訪 ” を題材に、その内容について、グループディスカッションを行い、更に、それを論文形式でまとめるという演習を毎週実施する。又、学生が就職先として選択する場合の企業の着目点等についても理解を深めていく。そして、12月より迎える就職活動に備える。

#### 学修目標

企業というものの基本的理解と、学生が就職先を選択していく上での重要判断項目の修得。

#### 内容

前期演習に続いて、会社、企業が生き残っていくには何が必要か、企業が求める人材とはどういう人間か、どのような能力を持った人材かについて理解を深める。そして、逆に、学生が就職先を決めるとき、重要な判断要素は何か？3年生の後半から始まる就職活動に向けて、学生に企業の実際と仕組みを理解して貰う事を目指す。尚、授業は、最近の企業の就職試験で一般的になっている、グループ討論の形を習熟させるために、基本的には、学生間の討論形式で実施する。更に、後期は積極的に自分の主張を分かりやすく簡潔に記述する自宅学習を毎週も課し、全体として話す、討論してまとめる、内容を明確に書き表すという演習を徹底的に行う。

#### 評価

ゼミへの取り組み姿勢 ( 50% ) レポート内容 ( 50% )

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

演習の進展に応じて適宜指示する。

科目名	民法入門		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修 *
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の学科専門科目として位置付けられている。

#### 科目の概要

民法は個人の衣食住にかかわる基本的なルールであり、「市民の法」「市民の権利・義務」を理解する上で不可欠かつ最も重要な法律である。ビジネス関係の法律、消費者保護の法律、家族関係の法律など各種の法律は民法を基礎としている。この民法の基礎的知識の習得と、法的思考力の身につけることを目的とする。民法には、契約や不法行為を取り扱う債権法のほか、物権・担保物権、親族法・相続法が含まれるが、この科目ではとりわけ、家を借りる、洋服を買う、誕生日プレゼントをするといった身近な行為に関係の深い民法の債権法を中心に取扱う。

#### 科目の目的

身近な「契約」という行為がどのような法的な意味内容をもつものかを中心に学び、民法・債権法の基本的な理解を図ることを目的とする。また、知識取得のみならず、事例を検討することにより論理的思考力や課題解決力の養成も目指します

#### 内容

1	債権法のガイダンス及び契約の成立
2	契約の効力： 同時履行の抗弁権、危険負担、第三者のためにする契約
3	契約の解除： 解除の要件・効果、消費者保護とクーリングオフ
4	契約各論(1)： 贈与契約 - 意義・成立・効力・特種の贈与
5	契約各論(2)： 売買契約 - 意義・成立・効力
6	契約各論(3)： 売買契約 - 買戻しについて
7	契約各論(4)： 交換・消費貸借・使用貸借
8	契約各論(5)： 賃貸借契約の意義・期間・効力
9	契約各論(6)： 雇用・委任・その他の典型契約
10	契約以外の債権発生原因(1)： 事務管理・不当利得
11	契約以外の債権発生原因(2)： 不法行為
12	債権の効力： 強制執行・債務不履行・損害賠償・受領遅滞
13	多数当事者の債権関係： 連帯債務・保証債務
14	債権の消滅： 弁済・代物弁済・相殺他
15	総括

#### 評価

提出物・受講態度(40点)、ペーパーテスト(60点)を、総合して評価する。100点満点中60点が単位取得の下限である。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】『スタートライン債権法』[第5版] 池田真朗（日本評論社）

【参考書】『デイリー六法』（三省堂） その他の六法でも可

科目名	法学入門		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格：

法学の入門的な位置付けとなります。

科目の概要：

社会に生きる人は、日常、意識するしないを問わず、国民として、家族の一員として、個人として、また消費者として様々な立場で法と関わっています。この「法」とは一体どのようなものなのでしょうか。また、法的なトラブルに遭遇しないためには法律を知る必要があるという一方、法的なトラブルに遭遇してしまったときにはどうすればよいかという問題も生じます。そのために、法をめぐり、どのような法律や制度が存在するのかについて学びます。また主要な法律を概観します。

科目の目的：

法学入門として基礎的な知識の理解を図るとともに、現代社会に特徴的な法的問題への理解を深めることを目的とします。

#### 内容

1	法とは何か	
2	法曹	法律家の種類と仕事
3	法曹	法曹養成制度
4	法の種類	
5	紛争解決と法	裁判制度・代替的紛争解決（ADR）
6	紛争解決と法	裁判員制度の現状と課題
7	国家と法：	憲法
8	日常生活と契約：	民法（契約法）
9	日常生活とアクシデント：	民法、消費者法ほか
10	家族関係と法：	民法（家族法）
11	労働と法：	労働法
12	企業と法：	会社法
13	現代社会と法	
14	国際社会と法	
15	総括	

#### 評価

レポート等提出物・授業態度(40%)・ペーパーテスト(60%)を総合して評価します。100点満点中60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書・テキスト】

『法の世界へ[第5版]』 池田真朗・犬伏由子他著 （有斐閣アルマ）

『デイリー六法』（三省堂）

科目名	社会学入門		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修* , 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

人間は一人では生きていけない。人々の共同生活においては、どのような分業があり、どのような人間関係がつけられているのか。それぞれの共同生活には、そのような文化が伝わっているのか。また、それらがどのように持続または変化して、どのような問題が生じているのか、社会学の基礎的な概念によって現象を分析する力を習得する。

#### 内容

まず導入部分で、社会学が扱うテーマと研究法を概観する。ついで、社会と人間について、社会・文化・個人のそれぞれに焦点をあてて社会学の基礎概念を体系的に取り上げる。そして、社会的人間の経験的広がりによって、社会の構造と、社会と文化についてみていく。最後に社会の変動を確認しながら、現代社会の問題を把握する。

1	はじめに - 社会学はなぜ必要か
2	社会と人間 ( 1 ) 社会の概念
3	社会と人間 ( 2 ) 文化の概念
4	社会と人間 ( 3 ) 社会的人間
5	社会の構造 ( 1 ) 生活の構造
6	社会の構造 ( 2 ) 集団と社会
7	社会の構造 ( 3 ) 組織と人間
8	社会の構造 ( 4 ) 環境と人間
9	社会の構造 ( 5 ) 国家と権力
10	社会と文化 ( 1 ) 生活文化
11	社会と文化 ( 2 ) 集団の文化
12	社会と文化 ( 3 ) 社会の文化
13	社会の変動 ( 1 ) 社会変動
14	社会の変動 ( 2 ) 社会問題
15	おわりに - 社会学で何がわかるか

#### 評価

授業時の課題 ( 40% ) と期末試験 ( 60% ) で評価する。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

##### 【推薦書】

竹内 洋、『社会学の名著30』、ちくま新書、2008年。

日本社会学会社会学事典刊行委員会編、『社会学事典』、丸善、2010年。

科目名	消費生活と法律		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報) / 中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科「学科専門科目 ( A 豊かな生活力を育てる ) 」である。「民法入門」の応用編にあたる。

#### 科目の概要

私たちは、通信販売で洋服を買う、映画を見る、旅行会社でツアーに申し込む、電車にのるといったあらゆる日常生活の場面で私たちは誰もが「消費者」として生活している。つまり「事業者」から物やサービスを購入し、利用しているのである。しかし、販売方法も多様化し、社会も複雑化している状況の下、大量生産・大量販売といった機能が事業者により一方的に担われている。そして、消費者と事業者には情報力・経済力等の格差が存在する。そのため、様々な消費者トラブルが発生する可能性が常にある。そこで、消費者トラブルの発生しやすい場面や現代的な課題を取り扱い、紛争解決の仕組みを検証する。

#### 科目の目標

日常の消費生活において消費者を事業者から守る法律とその意義、各種悪徳商法の対策と法、トラブル発生後の消費者救済の仕組みについて学ぶ。また、賢い消費者としての必要な知識を身につけ、消費者トラブルと法の機能と限界について説明できるようにする。また、知識取得のみならず、消費者問題に関連する新聞記事などを利用し文章読解能力・文章表現力を身につけ、また事例を検討することにより論理的思考力や課題解決力の養成も目指します。

#### 内容

1	【総論】消費者法 ガイダンス、消費者と事業者、民法
2	【総論】消費者契約法 悪徳商法と消費者
3	【総論】特定商取引法 訪問販売、クーリング・オフ
4	【各論】高齢者・未成年者の法律問題
5	【各論】金融機関と消費者問題
6	【各論】信用取引と消費者問題
7	【各論】破産・倒産と消費者
8	【各論】マルチ商法・ネズミ講
9	【各論】不動産と消費者問題 ( 前半 )
10	【各論】不動産と消費者問題 ( 後半 )
11	【各論】情報化社会と消費者問題
12	【紛争解決と消費者】裁判所と消費者、裁判所以外の窓口 ( A D R ) と消費者
13	【紛争解決と消費者】行政と消費者
14	【紛争解決と消費者】教育と消費者
15	まとめ

#### 評価

提出物・授業態度(50点)、ペーパーテスト(50点)を総合して評価する。

100点満点中60点が単位取得の下限となる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

開講時に指示する。その他、必要に応じて適宜資料を配布する。

科目名	生活構造論		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

生活とコミュニティ ( 地域社会 ) について、生活構造論からアプローチする。そもそも生活とは多義的な概念であるため、生活構造論は多様である。しかしその基本は、個人または家族の生活状況から社会構造を捉え直そうとする、つまり生活者 ( 個人や家族 ) の主体性に着目している点で共通している。都市化・産業化によって人々の生活水準は向上したが、それは格差社会をつくりだすことにも繋がった。また、生活の質についてはどうであろうか。この科目では、官庁統計や社会調査のデータを用いて、生活者が置かれている生活状況 ( 生活水準、生活時間、生活空間、生活関係 ) を確認するとともに、地域社会における生活者の主体形成のありかたを考察する。

内容

1	生活構造 1 : 生活構造論とは
2	生活構造 2 : 生活の指標
3	生活水準 1 : 家族周期と家計構造
4	生活水準 2 : 消費行動とライフスタイル
5	生活水準 3 : 階層・階級と格差社会
6	生活時間 1 : 生活時間の構造
7	生活時間 2 : ワークライフバランス
8	生活空間 1 : 過疎問題
9	生活空間 2 : 開発と住民運動
10	生活空間 3 : 都市問題
11	生活関係 1 : 自治会・町内会
12	生活関係 2 : 社会的ネットワーク
13	生活関係 3 : ボランティア活動
14	生活関係 4 : コモンズとまちづくり
15	総括

評価

授業時の課題 ( 40% ) と学期末のレポート ( 60% ) によって評価する。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【推薦書】

三浦典子、森岡清志、佐々木 衛 編 ( 1986 ) 『生活構造』 ( リーディングス日本の社会学 5 ) 東京大学出版会。

堤マサエ、徳野貞雄、山本 努 編著 ( 2008 ) 『地方からの社会学』学文社。

科目名	家族生活論		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修* , 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

人間生活の基本単位である家族という小集団と、そこでの人間関係の特徴を理解する。家族は、男女が結婚することによってつくり、子どもの誕生によって成員を増やし、やがて子どもが独立することで規模を縮小し、最後は老夫婦のいずれか一方の死によって消滅するという、ライフサイクルを持っている。ライフサイクルのそれぞれのライフステージには、それぞれの生活課題がある。近年、わが国では未婚晩婚化、晩産化が進み、ライフサイクルの平均像が大きく異なっている。本科目では、家族形成のあり方、家族の構造と機能について、その基本的な捉え方を学ぶとともに、その今日的な変化を実証的に確認する。

#### 内容

1	家族の捉え方 1：家族の定義
2	家族の捉え方 2：家族と世帯
3	家族の形態 1：核家族
4	家族の形態 2：家族の種類と分類
5	家族の形態 3：家族構成の変化
6	結婚 1：異性交際と配偶者選択
7	結婚 2：結婚の意味と機能
8	結婚 3：結婚の変化
9	家族の発達 1：家族のライフサイクル
10	家族の発達 2：ライフサイクルの変化
11	家族の内部構造 1：家族の役割構造と勢力構造
12	家族の内部構造 2：家族の情緒構造
13	家族の機能 1：子どもの社会化
14	家族の機能 2：老親扶養
15	総括

#### 評価

学期末のペーパー試験（70%）と授業時の課題（30%）によって評価する。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

##### 【推薦書】

湯沢雅彦・宮本みち子『新版 データで読む家族問題』NHKブックス、2008。

野乃山久也編『論点ハンドブック 家族社会学』世界思想社、2009。

科目名	生活環境論		
担当教員名	鴨澤 小織		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1.人間が人間らしく生きていくための物理的環境と自然環境のあり方について考え、

それに関連する問題を具体的に学ぶ。

実際には生活環境にまつわる問題を福祉の視点と地球環境からの視点から接近する。

2.今を生きる私たちの生活にかかわる問題にどう立ち向かっていくのがいいのか、国際的取り組み、理論、法律、行政などの動きを広く学ぶことから自分で判断してライフスタイルを選べる能力をつける。

## 内容

1	生活環境の概念について：福祉生活環境と地球生活環境
2	地域における生活環境をまず知ろう：障害者、高齢者の視点から街を見る
3	障害者にとっての生活環境を考える：車いすなど経験から見える生活環境
4	高齢者にとっての生活環境を考える：高齢者からの声を集める
5	バリアフリーと生活環境：障害者に優しい街、住居とは
6	地域における生活環境整備：高齢者にとって住みやすい環境とは (レポート提出)
7	世界の動き：QOL、国際生活機能分類から考える福祉生活環境
8	地球規模の環境問題：地球温暖化
9	地球規模の環境問題：森林破壊と海洋汚染
10	地球規模の環境問題：飲料水と生活排水
11	地球規模の環境問題：リサイクルから考える環境に優しい生活
12	世界の動き：グリーンコンシューマーとロハス
13	世界の動き：エネルギー政策
14	「これからの生活環境を考える」グループ発表
15	まとめ

## 評価

プレゼンテーション 30% 課題レポート 40% 授業への参加度 30%

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業時に紹介する

科目名	政治とメディア		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

2年生以上対象の「A.豊かな生活力を育てる」群科目として、政治についての情報の流れについて学ぶ。

人々が政治についての情報を入手する方法は色々ある。その中でも、職業として政治にかかわる人々（政治家、官僚）も、素人として政治に参加する人々（有権者）が最近特に注目しているのがマスメディアとインターネットメディアである。授業では、この2つを取り上げ、それぞれの特徴や問題点を議論する。また、情報のグローバル化が政治コミュニケーションに及ぼす影響についても考察する。

人々がメディアを通じてどのように政治情報を発信、受信しているか、発信している側の意図は何か、それを受信する側は何を感じるかなど、政治コミュニケーションの現状を理解する。

## 内容

1	政治コミュニケーションとは何か
2	発信者と受信者の関係（1）：直接対話
3	発信者と受信者の関係（2）：間接対話
4	マスメディアの自由
5	マスメディアの制約
6	マスメディアと世論
7	インターネットメディアの発展
8	インターネットメディアの影響力
9	メディアの政治的影響
10	政治参加の方法としてのメディア（1）：選挙キャンペーン
11	政治参加の方法としてのメディア（2）：政治的動員
12	選挙報道
13	政治コミュニケーションの国際比較（1）：欧米諸国
14	政治コミュニケーションの国際比較（2）：アジア諸国
15	まとめ

## 評価

レポート（50%）、試験（50%）で総合評価。再試験は行わない。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】蒲島郁夫他 『メディアと政治』有斐閣アルマ 2007年

【推薦書】遠藤薫 『間メディア社会における世論と選挙』東京電機大学出版局 2011年

【参考書】平田オリザ、松井孝治 『総理の原稿』岩波書店 2011年

科目名	グローバル化と生活		
担当教員名	鴨澤 小織		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1. 現代社会を突き動かしている動力を身近なモノ、ヒト、文化などから読み解くことでグローバル化とは何かを理解する。さらにグローバル化によって人間の生活に何が起きているのか、その光と影の両面を探ってみる。グループ発表、ゲスト講師の講義など参加型の授業形式を行う。
2. 日常生活が世界にどうつながっているのか、グローバル化する社会でどう生きるかを考える力を高める。

## 内容

1	グローバル化とは何か：背景と意味
2	グローバル化の歴史
3	グローバル化する社会の「モノ」100円ショップからフェアトレード
4	グローバル化する社会の「食糧」輸入食材とフードマイレージ
5	グローバル化する社会の「水」水紛争とは何か
6	グローバル化する社会の「文化」本、ファッション、音楽から世界を見る
7	グローバル化する社会の「企業と組織」多国籍企業と国際協力組織
8	グローバル化する社会の「労働1」国境を超える女性労働者
9	グローバル化する社会の「労働2」日本の移民労働者
10	グローバル化する社会の「人間の交流」多文化共生
11	グローバル化する社会の「人間の交流-光と影」国際結婚と人身売買
12	グローバル化の諸問題：格差と貧困
13	グローバル化の諸問題：不平等と社会正義
14	グローバル化を生きるということ：誰が豊かになったのか
15	まとめ

## 評価

課題レポート 40% プレゼンテーション 30% 授業への参加度 30%

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業時に紹介する

科目名	コミュニティビジネス		
担当教員名	中嶋 修		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

女性でも学生でも経営者になる可能性を持っています。1000社を超える企業や創業者支援の経験 から地域の課題を解決する「コミュニティビジネス」や就職して必要になる「新規事業開発」などを 総合的に勉強します。最近増えているアイデアを活かした学生起業家、女性起業家、社会企業家の 取り組みについても勉強します。就活や立派な社会人になるために必要なものは 情報 経済 政治 アイデア 考え方 (志) 知識 歴史です。これらの事柄を丁寧に指導していきます。

科目の概要

最新情報 (新聞から) 15分程度講義 (毎回) 世界、日本経済の勉強 (講義1.2.3) コミュニティビ ジネスの研究、実態 (講義4.5.6) 政治、歴史の勉強 (講義7.8) アイデアの活かし方 (講義9.10)

経営の基本、経済用語解説、一般知識 (講義11.12) 全体の復習 (講義13.14.15) ゲスト講師の講義 を行います (3回程度)

学習目標

コミュニティビジネス、新規事業開発に必要な事柄を幅広く勉強します。毎回配布する資料を元に、大事な事柄は繰り返し授業を行い、最低限の理解が得られるようにします。2回のレポート提出と1回の感想文により、理解を深め、また具体例を多く取り入れて解りやすい指導を行います。

内容

社会人として、就活に必要な事柄については重複して授業をします。(授業の順番については変更する場合があります)

1	授業の進め方の説明と日本経済の現状と今後の予想について
2	世界経済の現状と今後の予想について
3	経済全般と就職戦線について・相田みつをの研究(志、モットー作り)・
4	コミュニティビジネス、新規事業開発の実態と必要なものについて
5	創業(起業)での成功の秘訣について
6	コミュニティビジネスの成功例と失敗例からの注意点について
7	ゲスト講師による業界(テレビ局)説明と学生に求めるもの
8	学生に必要な常識と一般時事問題について
9	アイデアの活かし方 実例を使ったシュミレーション演習
10	ゲスト講師による業界(新聞社)説明と学生に求めるもの
11	経営の基本、経済用語、一般知識など
12	ゲスト講師による業界(海外部門)説明と学生に求めるもの
13	全体の復習と覚えるべき事項の確認
14	全体の復習と覚えるべき事項の確認 就活の注意点について
15	全体の復習と覚えるべき事項の確認 就活の注意点について

## 評価

授業内容に基づいたレポート2回(70点)、感想文(20点)、通常の授業態度(10点)により評価を行い60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

なし

科目名	NPO活動と組織		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 選択科目

市民が行う自由な社会貢献活動を促進する法律として特定非営利活動促進法が成立したのは1998年である。多様な生活問題の解決にあたって民間非営利団体 ( N P O ・ N G O ) の貢献する範囲は広がっている。統計などによって見えている部分のごくわずかであるということから「氷山のようなセクターである」といわれた民間非営利領域、およびその主体である民間非営利団体について、さまざまな議論や実践とともに研究も深まりつつある。多様な非営利団体を対象に、現在の私たちの社会におけるその実態と可能性を検討する。講義だけでなく、受講生全体の参加による議論・検討を重視する。

民間非営利団体の現状をふまえて、社会における市民の役割を理解する。

#### 内容

1	生活主体と公共私領域 - N G O ・ N P O の誕生
2	N P O と非営利革命
3	N P O セクターの国際比較
4	ミッションとプロフィット
5	わが国のN P O を取り巻く制度と環境
6	N P O の活動事例 - 教育・文化・スポーツの分野
7	N P O の活動事例 - 医療・福祉の分野
8	N P O の活動事例 - 地域振興・環境問題の分野
9	N P O の活動事例 - 人権・平和・国際協力の分野
10	N P O の活動事例 - N P O の支援を行なうN P O
11	N P O の多様性とその課題
12	N P O における寄付とボランティア
13	N P O のマネジメント
14	N P O の展開と市民社会の可能性
15	レポート報告と講評

#### 評価

事例発表・討議への参加態度 ( 3 割 ) 、期末レポート ( 7 割 ) として採点し、60点以上を合格とする。再試験は行わない。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

推薦書 : N P O 研究フォーラム 『N P O が開く新世紀』清文社 335.8/N

山内直人編 『N P O データブック』有斐閣 335.8/Y

大畑裕嗣他 『社会運動の社会学』有斐閣選書

目加田説子 『行動する市民が世界を変えた』毎日新聞社



科目名	生活経済		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会）/高等学校教諭一種免許状（公民）/高等学校教諭一種免許状（家庭）/中学校教諭一種免許状（家庭）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 科目の性格

本講義はFP技能士3級合格を目指しながら、個人の公的年金保険制度や税制、金融資産運用について学習する。

##### 科目の概要

FP技能士3級のカリキュラムに沿って学習しながら、広く個人が関わる金融全体についての知識習得を図る。

##### 学修目標

FP技能士3級に合格できる学力の養成を図る。

#### 内容

1	イントロダクション
2	ライフプランニングと資金計画 1
3	ライフプランニングと資金計画 2
4	生命保険
5	損害保険
6	金融資産運用 1
7	金融資産運用 2
8	金融資産運用 3
9	税制のしくみ 1
10	税制のしくみ 2
11	不動産取引 1
12	不動産取引 2
13	相続と事業継承 1
14	相続と事業継承 2
15	まとめ

#### 評価

毎回の確認テスト（40％）と学期末テスト（60％）

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：なし。

推薦書：授業時に指示する。

科目名	生活と産業		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

##### 科目の性格

経済学的な視点からの企業や産業を取り上げる。

##### 科目の概要

日本企業におけるコーポレートガバナンスをアメリカとの比較で行う。また、企業が立ち向かう様々な危機を具体的に取り上げ、どのようにその危機を乗り越えていくかを検証していく。また、近年話題のM&Aや会社法改正についても取り上げる。さらに、雇用の問題を企業側、労働者側双方から見ていく。

##### 学修目標

企業論に関する基礎的な概念と、現在の企業が抱えている諸問題について理解することを目標にする。

#### 内容

##### ガイダンス

企業とは何か

株式会社の歴史

株式会社の仕組み

コーポレートガバナンス

敵対的買収

CSR

財閥と企業グループ

グローバル化と企業

日本的経営

日本的雇用慣行

正規雇用と非正規雇用

日本と世界の経営比較

企業不祥事

まとめ

#### 評価

中間のレポート（40%）、最終のレポート（60%）。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

開講時に指示する。

科目名	生活と産業		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格：

多くの学生が卒業後就職する企業や産業を取り上げる。

##### 科目の概要：

日本の企業の概要と、近年社会的に話題となっているテーマ（例：コーポレートガバナンス、CRS、グローバル化、M&A、日本的雇用と非正規雇用、企業の不祥事、事故と規制等）を具体例を交えて取り上げ、その背景と課題を複眼的視点から見て行く。

##### 学習目標：

社会生活に必要な商品やサービスを供給する企業についての基本的概念の理解と、現代の企業が社会との関係で直面する主要な課題について理解する事を目標とする。

#### 内容

- 1 . ガイダンス：授業方針、経済学と経営学について、社会と企業との関連について
- 2 . 企業とは何か：企業の歴史と発展について、その目的と主要形態
- 3 . 企業の仕組み：株式会社の主要な構造と仕組み、その特性
- 4 . 現代企業の変遷：企業数と規模、主要企業のシェアと雇用、栄枯盛衰
- 5 . 企業の評価：企業価値と企業ランキングの構成要素
- 6 . 企業の社会的責任：企業理念と社会的責任、CSR、環境問題
- 7 . 会社は誰のものか：株主の権利と各種ステークホルダーとの共生
- 8 . 法規制と企業統治：企業不祥事とコーポレートガバナンス
- 9 . 日本の経営：欧米企業との経営比較、企業文化、慣行の違い
- 10 . グローバル化と企業：国際化企業活動と、異文化に於けるリスク・課題
- 11 . 企業合併と敵対的買収：業務・資本提携、企業統合・合併、敵対的買収
- 12 . 日本の雇用慣行とその変遷：終身雇用からの変遷、非正規雇用の課題
- 13 . 企業経営と危機管理：倒産、事故、政治・社会リスク
- 14 . 外資系企業とは：日本に進出している外資系企業の特性
- 15 . まとめ：講義の総括と追加テーマ

#### 評価

中間レポート ( 40% )、最終レポート ( 60% )

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

企業論「新版補訂版」、三戸浩・池内秀巳・勝部伸夫（著）、有斐閣アルマ

科目名	女性と起業		
担当教員名	長坂 敏史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

かつては女性に門戸を閉ざしていたようなビジネスの場であっても、これから急速に活躍の機会が開けてくる。昨今の産業構造や社会構造の大変化を反映して、女性にもビジネス社会を構成する同等のメンバーとして大きな期待が寄せられている。本講座は、ビジネス実践の原理原則について学ぶことを通して、ビジネス社会における人間の生き方を理解する。また、ビジネスの場において、女性の持つ可能性と直面する課題についての検討を行う。就職や就業等、これからビジネスと関わりを持つ女子学生に対し、各自のキャリア構築に際しての示唆を与えることを目的とする。

授業では、人生において重要な意味を持つ「お金」というものの意味を考え、次に、ビジネスの実践とは具体的にいかなることか、また、就職や起業を通してビジネスの場で自己の可能性をいかに発見していくのかについて学ぶ。

「ビジネスと女性」を履修することにより、経営、情報、会計といった分野における学習への内面的動機の形成を促すと共に、さらに、ビジネスの実践的研究を踏まえ、経営に関する基幹・関連科目の理解が容易になるよう配慮する。

#### 内容

1	「働く」ということを考える
2	お金持ちの考え方や生活態度
3	「お金」と仕事
4	「お金」とライフ・ステージ
5	「お金」のマネジメント
6	投資入門
7	新しい「お金」の考え方
8	ビジネスポイント - ビジネスが生まれる条件
9	ビジネス・ポイントの構成要素
10	ビジネスモデル - ビジネスの構成要素
11	ビジネス・イノベーション
12	起業 - ビジネスの企画開発
13	起業のケース・スタディ
14	女性とビジネス
15	まとめ

#### 評価

本講座における評価方法は、期末テスト (50点) 授業態度 (10点) 小テスト及び小レポート提出 (40点) によるものとし、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業において適時講義に関連するレジュメ、並びに、参考資料を配布する。

科目名	女性と起業		
担当教員名	長坂 敏史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

かつては女性に門戸を閉ざしていたようなビジネスの場であっても、これから急速に活躍の機会が開けてくる。昨今の産業構造や社会構造の大変化を反映して、女性にもビジネス社会を構成する同等のメンバーとして大きな期待が寄せられている。本講座は、ビジネス実践の原理原則について学ぶことを通して、ビジネス社会における人間の生き方を理解する。また、ビジネスの場において、女性の持つ可能性と直面する課題についての検討を行う。就職や就業等、これからビジネスと関わりを持つ女子学生に対し、各自のキャリア構築に際しての示唆を与えることを目的とする。

授業では、人生において重要な意味を持つ「お金」というものの意味を考え、次に、ビジネスの実践とは具体的にいかなることか、また、就職や起業を通してビジネスの場で自己の可能性をいかに発見していくのかについて学ぶ。

「ビジネスと女性」を履修することにより、経営、情報、会計といった分野における学習への内面的動機の形成を促すと共に、さらに、ビジネスの実践的研究を踏まえ、経営に関する基幹・関連科目の理解が容易になるよう配慮する。

#### 内容

1	「働く」ということを考える
2	お金持ちの考え方や生活態度
3	「お金」と仕事
4	「お金」とライフ・ステージ
5	「お金」のマネジメント
6	投資入門
7	新しい「お金」の考え方
8	ビジネスポイント - ビジネスが生まれる条件
9	ビジネス・ポイントの構成要素
10	ビジネスモデル - ビジネスの構成要素
11	ビジネス・イノベーション
12	起業 - ビジネスの企画開発
13	起業のケース・スタディ
14	女性とビジネス
15	まとめ

#### 評価

本講座における評価方法は、期末テスト (50点) 授業態度 (10点) 小テスト及び小レポート提出 (40点) によるものとし、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業において適時講義に関連するレジュメ、並びに、参考資料を配布する。

科目名	家族と労働法		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

女性の家庭生活および職業生活に関わる法律を取り扱います。具体的には民法家族法（親族・相続）の基礎を学び、働く女性を取り巻く環境と法律・制度との関わりについて検討することになります。

現代の日本社会においては、個人の価値観が多様化し、それに伴い家族生活も多様化しています。これは夫婦別姓、シングルマザー、離婚の増加に現れている通りです。また、少子高齢化の進行は今までにない新しい家族の問題を生んでいます。子のない夫婦の養子縁組や生殖補助医療で子どもをもつことには、親子についての法的な課題も生じます。認知症で判断力の弱った高齢の親の財産関係については、新しく成年後見制度が設けられました。また、家庭を持ちながら働く上でライフ・ワーク・バランスという考え方も注目されてきています。女性が家庭生活と職業生活を営む上で法律の果たす機能と、課題についても考察します。

この授業では、家族法の基礎知識の習得をし、現代の職業人が家族生活を営む上で課題をめぐる法制度状況について理解を深めることを目的とします。また、知識取得のみならず、適宜事例について検討し、各自が意見を書いたり、演習問題を解くことを通じて論理的思考力や課題解決力の養成も目指します。

#### 内容

1	家族問題と法
2	婚姻と法
3	婚姻と財産
4	離婚と法
5	離婚と財産と子ども
6	親子
7	内縁と認知
8	家族法の現代的問題
9	氏と戸籍
10	扶養・成年後見
11	相続 相続人と相続財産
12	相続 法定相続
13	遺言・遺留分
14	働く女性と法
15	総括

#### 評価

提出物・受講態度（50点）、ペーパーテスト（50点）を総合して評価します。

100点満点中60点が単位取得の下限です。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『家族の法[第3版]』 利谷信義（有斐閣）

【参考図書】 『デイリー六法』（三省堂） その他の六法も可

科目名	社会人基礎力		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1 生活情報学科の専門科目 B「キャリアを形成する」の 1 年後期必修科目

2 社会人として自らのキャリア・ライフプランを作りその後の人生を歩む基礎力を培うため、グループワークや個人によるワークを効果的に組み合わせ、働きかける力、計画力、話す力・聴く力、対人協力などの育成、コーチングなどによる自己課題の発見と解決などを行い、社会人として必要な能力を育成します。

## 内容

1回 社会人基礎力についてのオリエンテーション アイスブレイキング

2 - 5 回 グループで活動することを学ぶ

- ・グループ活動 1 - 協力して作業をすすめる
- ・グループ活動 2 - 時間内に課題を達成する
- ・グループ活動 3 - 多様な価値観や考え方を知る
- ・グループ活動 4 - 自分を伝える、相手を知る

6 - 8 回 社会とつながりをもつ

- ・社会活動体験報告ー先輩とのしゃべり場 1
- ・学内活動のアイデアを形にー企画・ポスター作り
- ・グループ対抗・ポスター作りのプレゼンと評価

9 - 1 1 回 より良い人間関係をつくる

- ・コミュニケーションの基礎ー話す力・聴く力、
- ・コミュニケーションの基礎ーアサーション 1
- ・コミュニケーションの基礎ーアサーション 2

1 2 - 1 4 回 将来に向けての自分づくり

- ・先輩とのしゃべり場 2
- ・社会人とは
- ・自分づくりとセルフ・コーチング

15回 授業全体の振り返りとメッセージ交換

## 評価

各回、またはテーマごとに自己評価を行う（50点）。授業への参加状況（30点）、と教員評価（20点）を合わせて100点とし、60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に紹介する。

科目名	社会人基礎力		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1 生活情報学科の専門科目 B 「キャリアを形成する」の 1 年後期必修科目

2 社会人として自らのキャリア・ライフプランを作りその後の人生を歩む基礎力を培うため、グループワークや個人によるワークを効果的に組み合わせ、働きかける力、計画力、話す力・聴く力、対人協力などの育成、コーチングなどによる自己課題の発見と解決などを行い、社会人として必要な能力を育成します。

## 内容

1回 社会人基礎力についてのオリエンテーション アイスブレイキング、

2 - 5 回 グループで活動することを学ぶ

- ・グループ活動 1 - 協力して作業をすすめる
- ・グループ活動 2 - 時間内に課題を達成する
- ・グループ活動 3 - 多様な価値観や考え方を知る
- ・グループ活動 4 - 自分を伝える、相手を知る

6 - 8 回 社会とつながりをもつ

- ・社会活動体験報告ー先輩とのしゃべり場 1
- ・学内活動のアイデアを形にー企画・ポスター作り
- ・グループ対抗・ポスター作りのプレゼント評価

9 - 11 回 より良い人間関係をつくる

- ・コミュニケーションの基礎ー話す力・聴く力
- ・コミュニケーションの基礎ーアサーション 1
- ・コミュニケーションの基礎ーアサーション 2

12 - 14 回 将来に向けての自分づくり

- ・先輩とのしゃべり場ーインターナシップ活動、就職活動など
- ・社会人とは
- ・自分づくりのセルフ・コーチング

15 回 授業全体の振り返り、メッセージ交換

## 評価

各回、またはテーマごとに自己評価を行う ( 50 点 )。授業への参加状況 ( 30 点 )、と教員評価 ( 20 点 ) を合わせて 100 点とし、60 点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に紹介する。

科目名	社会人基礎力		
担当教員名	森山 貴代		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1 生活情報学科の専門科目 B 「キャリアを形成する」の 1 年後期必修科目

2 社会人として自らのキャリア・ライフプランを作りその後の人生を歩む基礎力を培うため、グループワークや個人によるワークを効果的に組み合わせ、働きかける力、計画力、話す力・聴く力、対人協力などの育成、コーチングなどによる自己課題の発見と解決などを行い、社会人として必要な能力を育成します。

## 内容

1回 社会人基礎力についてのオリエンテーション アイスブレイキング、自己紹介

2 - 5回 グループで活動することを学ぶ

- ・グループ活動 1 - 協力して作業をすすめる
- ・グループ活動 2 - 時間内に課題を達成する
- ・グループ活動 3 - 多様な価値観や考え方を知る
- ・グループ活動 4 - 自分を伝える・相手を知る

6 - 8 回 社会とつながりをもつ

- ・社会活動体験報告ー先輩とのしゃべり場 1
- ・学内活動のアイデアを形にー企画・ポスター作り
- ・グループ対抗・ポスター作りのプレゼン と 評価

9 - 11回 より良い人間関係をつくる

- ・コミュニケーションの基礎ー話す力・聴く力
- ・コミュニケーションの基礎ーアサーション 1
- ・コミュニケーションの基礎ーアサーション 2

1 2 - 1 4 回 将来に向けての自分づくり

- ・先輩とのしゃべり場 2 - インターナシップ活動、就職活動
- ・社会人とは
- ・自分づくりのセルフ・コーチング

1 5 回 授業全体の振り返り メッセージ交換

## 評価

各回、またはテーマごとに自己評価を行う ( 5 0 点 )。授業への参加状況 ( 3 0 点 )、と教員評価 ( 2 0 点 ) を合わせて 1 0 0 点とし、6 0 点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に紹介する。

科目名	社会人基礎力		
担当教員名	森山 貴代		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1 生活情報学科の専門科目 B 「キャリアを形成する」の 1 年後期必修科目

2 社会人として自らのキャリア・ライフプランを作りその後の人生を歩む基礎力を培うため、グループワークや個人によるワークを効果的に組み合わせ、働きかける力、計画力、話す力・聴く力、対人協力などの育成、コーチングなどによる自己課題の発見と解決などを行い、社会人として必要な能力を育成します。

## 内容

1回 社会人基礎力についてのオリエンテーション アイスブレイキング、自己紹介

2 - 5 回 グループで活動することを学ぶ

- ・グループ活動 1 - 協力して作業をすすめる
- ・グループ活動 2 - 時間内に課題を達成する
- ・グループ活動 3 - 多様な価値観や考え方を知る
- ・グループ活動 4 - 自分を伝える・相手を知る

6 - 8 回 社会とつながりをもつ

- ・社会活動体験報告ー先輩とのしゃべり場 1
- ・学内活動のアイデアを形にー企画・ポスターづくり
- ・グループ対抗・ポスター作りのプレゼン と評価

9 - 11 回 より良い人間関係をつくる

- ・コミュニケーションの基礎ー話す力・聴く力
- ・コミュニケーションの基礎ーアサーション 1
- ・コミュニケーションの基礎ーアサーション 2

12 - 14 回 将来に向けての自分づくり

- ・先輩とのしゃべり場 2ーインターナシップ活動、就職活動
- ・社会人とは
- ・自分づくりのセルフ・コーチング

15 回 授業全体の振り返り メッセージ交換

## 評価

各回、またはテーマごとに自己評価を行う ( 50 点 )。授業への参加状況 ( 30 点 )、と教員評価 ( 20 点 ) を合わせて 100 点とし、60 点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に紹介する。

科目名	インターンシップ入門		
担当教員名	岡林 正和		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本講義は、「インターンシップ実習」及び「短期インターンシップ」履修の事前授業である（「インターンシップ実習」「短期インターンシップ」を履修する場合は必ず履修すること。

#### 科目の概要

企業が求めている人材とは、ビジネスマナー、インターンシップの受け入れ先である私企業、地方自治体などについての基本的な知識とインターンシップの内容、インターンシップをする際の基本的な常識などについて指導する。

#### 学修目標

インターンシップとは、学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度のことである。大学における社会につながる人材育成の一環として、社会の変化や産業界のニーズに対応し、社会における能力発揮を目的とし、社会とのつながりを考えられる力を育成する。インターンシップは就職活動に直結しないが、インターンシップを経験することで充実した就職活動が可能となる。

#### 内容

1	ガイダンス ( 講義の進め方の説明、注意事項など )
2	企業とはなにか、企業が期待する女性社員
3	企業のインターンシップ1 情報系 ( 夢科情報、エム・エス・デー )
4	企業のインターンシップ2 出版系 ( あさ出版、埼玉新聞社 )
5	企業のインターンシップ3 営業・販売系 ( 東和エンジニアリング・丸正飯塚 )
6	企業のインターンシップ4 外食・食品系 ( ケンタッキー、スカイラーク )
7	企業のインターンシップ5 広告・印刷系 ( 興文堂、東急アド・コミュニケーション )
8	企業のインターンシップ6 金融系 ( りそな銀行・むさし証券 )
9	企業のインターンシップ7 化粧品 教育 ( ウテナ、ウィズダム・アカデミー )
10	自治体のインターンシップ ( 和光市役所、新座市役所 )
11	資生堂 Top Beauty Specialist 西島悦さんのメイク実演
12	ビジネスマナー講座1 服装、電話の受け方、挨拶、職場での態度など
13	ビジネスマナー講座2 言葉遣いの再確認、電話対応、メール、名刺の扱いのルールなど
14	尊敬語・謙譲語などの確認、自己PRの作成
15	自己PRの報告、レポートの作成

#### 評価

レポートの内容 (60%)、グループワークやその報告の内容 (20%)、授業態度 (20%)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

その都度、提示する。

科目名	インターンシップ実習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

インターンシップとは、学生が企業等において行う実習・研修という形で就業体験をする制度である。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が可能になるよう準備する人材育成策でもある。インターンシップを履修する学生は、前期に「インターンシップ入門」を履修すること

#### 科目の概要

10日もしくは60時間以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。終了後、9 - 10月に開催される報告会で報告というすべての課程を終了することで評価の対象になる。

#### 学修目標

多くの学生には、インターンシップに参加することで、職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。インターンシップに参加した学生の方が内定を早く取れる傾向がみられる。

## 内容

### 1. 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的にあったものを選んで行う。学生は企業でのインターンシップの学習プログラムにそって研修を行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

### 2. 実施手順

人間生活学部生活情報学科専門科目「インターンシップ入門」を事前に受講することが望ましい。なお、休暇期間以外のインターンシップに参加する際は、ゼミ教員または担任教員に事前に相談すること。

申込：「インターンシップ入門」の授業で受け入れ先の情報提供を行うが、学生が自己開拓で企業を探すことも可能。受け入れ先が確定次第、「インターンシップ申込書」をキャリアセンターに提出する。

事前指導：「インターンシップ入門」で、インターンシップの内容、ビジネスマナー、心構えなどの事前指導を行う。

担当教員：2年生はクラス担当教員、3・4年生はゼミ担当教員が期間中に訪問し、巡回指導を行う。

### 3. 実施例 (2012年度)

新座市役所、志木市役所、朝霞市役所、和光市役所、あさ出版、NHK出版、埼玉新聞社、クレッシェンド、東和エンジニアリング、蓼科情報、東急アド・コミュニケーションズ、トップシーン、日本ケンタッキー・フライド・チキン、丸正飯塚

## 評価

学生：実習・研修の成果をレポートにまとめる。インターンシップ終了後2週間以内に「科目追認願」を教務課に提出し、科目登録を行う。

受け入れ先：受け入れ先の担当責任者から実習内容の評価を記した「評価表」を提出してもらう。

巡回指導：実施期間中に教員が受け入れ先を訪問する巡回指導を行い、実施状況を確認する。

評価は学生のレポート (40点)、受け入れ先評価 (40点)、教員による巡回指導の状況確認 (20点) の計100点で

総合的に判断して行う。60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

随時紹介する

科目名	インターンシップ実習		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2,3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

インターンシップとは、学生が企業等において行う実習・研修という形で就業体験をする制度である。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が可能になるよう準備する人材育成策でもある。インターンシップを履修する学生は、前期に「インターンシップ入門」を履修すること

#### 科目の概要

10日もしくは60時間以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。終了後、9 - 10月に開催される報告会で報告というすべての課程を終了することで評価の対象になる。

#### 学修目標

多くの学生には、インターンシップに参加することで、職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。インターンシップに参加した学生の方が内定を早く取れる傾向がみられる。

## 内容

### 1. 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的にあったものを選んで行う。学生は企業でのインターンシップの学習プログラムにそって研修を行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

### 2. 実施手順

人間生活学部生活情報学科専門科目「インターンシップ入門」を事前に受講することが望ましい。なお、休暇期間以外のインターンシップに参加する際は、ゼミ教員または担任教員に事前に相談すること。

申込：「インターンシップ入門」の授業で受け入れ先の情報提供を行うが、学生が自己開拓で企業を探すことも可能。受け入れ先が確定次第、「インターンシップ申込書」をキャリアセンターに提出する。

事前指導：「インターンシップ入門」で、インターンシップの内容、ビジネスマナー、心構えなどの事前指導を行う。

担当教員：2年生はクラス担当教員、3・4年生はゼミ担当教員が期間中に訪問し、巡回指導を行う。

### 3. 実施例 (2012年度)

新座市役所、志木市役所、朝霞市役所、和光市役所、あさ出版、NHK出版、埼玉新聞社、クレッシェンド、東和エンジニアリング、蓼科情報、東急アド・コミュニケーションズ、トップシーン、日本ケンタッキー・フライド・チキン、丸正飯塚

## 評価

学生：実習・研修の成果をレポートにまとめる。インターンシップ終了後2週間以内に「科目追認願」を教務課に提出し、科目登録を行う。

受け入れ先：受け入れ先の担当責任者から実習内容の評価を記した「評価表」を提出してもらう。

巡回指導：実施期間中に教員が受け入れ先を訪問する巡回指導を行い、実施状況を確認する。

評価は学生のレポート (40点)、受け入れ先評価 (40点)、教員による巡回指導の状況確認 (20点) の計100点で

総合的に判断して行う。60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

随時紹介する

科目名	ライフコースと生活設計		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

家族という小集団は、男女が結婚することで形成され、子どもの出生と成長によって拡大します。しかし、子どもが成人して自身の家族を形成するにしたがって縮小し、やがてはもとの夫婦二人になるという生活周期をもっています。家族にはこうした周期現象がみられることから、より長いスパンでの生活設計という考えが生まれました。ところが、個人の生き方が多様化するなかで、家族の生活周期と個人のライフコースとはどのように交錯しているのか、時代や世代によってどう変化したのか、その考察が必要になってきました。本科目では、女性の自立とライフコースの選択や、格差社会の進展にともなうライフコースの移行の遅れといった今日的な課題を分析的に論じるための基礎力を養います。

内容

1	発達アプローチ
2	家族周期の定義と発見者
3	家族周期の段階
4	家族周期と発達課題
5	家族周期の世代変化
6	家族周期論の応用
7	家族周期論の限界
8	ライフコースの発想
9	ライフコースの捉え方
10	ライフコース研究の古典1：エルダー『大恐慌の子どもたち』
11	ライフコース研究の古典2：プラス『日本人の生き方』
12	女性のライフコース1
13	女性のライフコース2
14	ライフコースと世代
15	総括

評価

授業時の課題提出 (40%) と学期末のペーパーテスト (60%) で評価します。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【推薦書】

G・H・Jr.・エルダー、本田時雄他『大恐慌の子どもたち』明石書店、1986。

D・W・プラス、井上俊・杉野目康子訳『日本人の生き方』岩波書店、1985。

岩上 真珠『ライフコースとジェンダーで読む家族』有斐閣、2003年。

青木 幸弘、女性のライフコース研究会編『ライフコース・マーケティング』日本経済新聞社、2008。

科目名	ワークライフバランス論		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1 科目の性格：専門科目「Bキャリアを形成する」の3年前期・選択科目

2 科目の概要：自分自身のキャリアをどのようにつくるかを考えることは就職に向けての重要な課題である。その一環として職場での働き方についてワークライフバランスの取組の実態をとらえる。

3 学修目標：・職業継続する働く女性にとって、女性の活用を進める会社、職場の環境の変化としてのワークライフバランスに考慮した働き方、男性の子育て参加意識などの実態を把握し、自身のキャリアプラン作りにつなげる。

## 内容

- 1 なぜワークライフバランスが注目されるのか
  - ・日本の状況・世界の状況
- 2 女性の活躍推進
  - ・女性の働きやすい会社・調査より
- 3 「女性と仕事」にかかわる制度や法律
  - ・男女雇用機会均等法
  - ・改正・育児・介護休業法など
- 4 ワークライフバランスに取り組む企業
  - ・地域の企業
  - ・表彰企業
- 5 女性へのキャリア支援
  - ・ロールモデル
  - ・女性を支援するメンター制度
- 6 子育てと仕事
  - ・社内保育園制度の取組
  - ・待機児童の解決は
- 7 男性の子育て参加・自治体の子育て支援助
  - ・育メン男性は増加するか
  - ・男性の育児参・加交流グループの取組ーファザーリング・ジャパン など
  - ・待機児童減少への自治体の取組
- 8 働く女性の多様化・長期化の実態をとらえる
  - ・働き方の長期化
  - ・仕事と生活の性別分離は終わった

## 評価

課題レポート（50点）、プレゼン（20点）、授業への参加状況（20点）、授業時の小テスト（10点）を合わせて100点とし、60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

「女性情報－ワーク・ライフ・バランス」など、授業時に随時紹介する。

科目名	問題解決手法		
担当教員名	安田 順		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

この科目では、社会のどの分野で活動するにしても必要となる問題解決のプロセスについて検討する。

授業では、問題解決の基盤にあるリフレクション ( reflection ; 省察 ) という概念を取り上げる。さらに、このリフレクションを使って、日常場面やビジネス場面で質の高い問題解決、スピーディな問題解決がどうしたら実現できるか考える。

この授業の目標は、

第一にリフレクションは過去をふり返ることに限定されず、未来を予測することも重要な側面であるという、その全体像とプロセスを理解すること、

第二にその理解を小テスト・期末試験において明確に示せるようになること、

第三に演習を通して問題解決能力を向上させることである。

#### 内容

- 1 問題解決とリフレクション
- 2 過去をふり返るリフレクション
- 3 未来を予測するリフレクション
- 4 リフレクションの基盤にあるもの
- 5 リフレクションへの反対勢力
- 6 対人での問題解決
- 7 グループでの問題解決
- 8 リフレクションのフレームとは
- 9 リフレクションのレパートリーとは
- 10 問題解決を妨げるもの
- 11 問題解決の系譜 ( 1 )
- 12 問題解決の系譜 ( 2 )
- 13 問題解決のためのコミュニケーション ( 1 )
- 14 問題解決のためのコミュニケーション ( 2 )
- 15 まとめ

#### 評価

期末試験 ( 60% ) 、授業冒頭の小テスト ( 40% ) という配分で評価する。また、授業中に作成・提出するリアクションペーパーの内容は加点要素として評価する。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

教科書は使用しない。必要に応じて、授業中にプリントを配付する。

推薦書は授業中に適宜紹介する。

科目名	人材育成論		
担当教員名	安田 順		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

この科目では、組織における教育と学習を通じて、人がどのように成長していくのか、そのプロセスについて検討する。このプロセスを理解することは、皆さんが社会に出てキャリアを築いていくために、また企業などで人材育成の仕事をするために決定的に重要である。

授業では、組織における教育と学習の関係について、組織における個人の成長プロセスをたどりながら、さまざまな角度から考察する。このことで、皆さんは卒業後、組織に加入して成長していくプロセスを事前体験することとなる。

この授業の目標は、  
 第一に人材育成について体験的に理解すること、  
 第二にその理解を小テスト・期末試験において明確に示せるようになること、  
 第三に演習を通してキャリア形成能力を向上させることである。

#### 内容

- 1 組織における人材育成とは
- 2 組織における教育とは
- 3 組織における学習とは
- 4 組織における教育と学習(1)個人と組織
- 5 組織における教育と学習(2)キャリアと経営
- 6 組織における教育と学習(3)組織への適応
- 7 組織における教育と学習(4)組織文化
- 8 組織における教育と学習(5)組織のルール
- 9 組織における教育と学習(6)モチベーション管理
- 10 組織における教育と学習(7)人事異動と人材育成
- 11 組織における教育と学習(8)キャリアマネジメント
- 12 組織における教育と学習(9)リーダーシップの発揮
- 13 組織における教育と学習(10)リーダーの育成
- 14 人材育成部門の役割
- 15 まとめ

#### 評価

期末試験 ( 60% )、授業冒頭の小テスト ( 40% ) という配分で評価する。また、授業中に作成・提出するリアクションペーパーの内容は加点要素として評価する。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

教科書は使用しない。必要に応じて、授業中にプリントを配付する。

推薦書は授業中に適宜紹介する。

科目名	キャリアモデルケース研究		
担当教員名	長坂 敏史、亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1 生活情報学科の専門科目「キャリアを形成する」の選択科目

2 現代社会ではビジネスの世界で仕事をし活躍する多くの女性がいる。しかし、学生にとって直接的に企業で働く女性との交流は少ない。そこで、これからビジネスの世界に進出する学生にとってキャリアモデルとなる女性の先輩たちの話を聞くなど、具体的にケース研究することを行う。またこれを通して、職業社会の実態を知り、自分自身のキャリアプランづくりにつなげていく学習とする。

3 ・ キャリアモデルにかかわる事前学習で、企業社会の現状などをとらえる。

- ・ キャリアモデルとの交流での、コミュニケーションの実践力をつける。聴く力、まとめる力。
- ・ ケース研究から、企業と個人の関わりをとらえる。
- ・ 女性のキャリアの動き、生き方を把握し、自分自身のプラン作りにつなげる。

## 内容

- 2回 女性と仕事の現状・現代社会の特徴は

基本学習

キャリアモデルの紹介

3 - 1 1回 ケース研究

事務職や販売職など各業界で働く女性、起業して会社を作る女性、30歳前後の会社に入っ  
て6・7年の女性、育児休暇後に再就職した女性、転職でキャリアアップした女 性、ワークライフバランス  
を重視して働く女性など、様々な働き方の女性3・4人にキャ リアモデルとして登場してもらいその実体験を  
語ってもらう。

[事前学習] - [キャリアモデルとの交流(カタリ場)] - [意見交換を資料を作り発表]

キャリアモデル一人について、上記のような3回の学習をユニットとして展開する。

12・13回 「キャリアモデルとの出会い」トークをグループで行う。  
事例から何を学んだか、学生相互の意見交換、交流を行う。  
グループ報告、全体報告。キャリアモデルへのお礼の手紙作成。

14回 自分自身のキャリア計画を作成する

15回 まとめ

## 評価

授業への参加度（40％）、課題への取り組み（30％）、レポートや報告・発表（30％）とし合わせて評価する。60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

関連資料などを授業時に紹介する。

科目名	キャリア開発論		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1 生活情報学科の専門科目「キャリアを形成する」の選択科目

2 生活情報学科の多く人が就職し、活躍する企業やビジネスの世界で、女性がどのように仕事に関わっているかその現代の動きを、女性の変化、企業の変化、様残な制度の変化などを各種のデータや事例からとらえ把握する。こうした基礎知識の学習を通して、学生自身の自分の将来像、生涯にわたるキャリア・ライフプランを考える力の育成につなげる。

- 3
- ・女性と仕事の関わり・現状についての把握
  - ・データ収集、事例収集を行い、それをまとめ報告する
  - ・自分自身のキャリア・ライフプランの作成を行う

## 内容

- 1回 ガイダンス 女性野のいまー現代社会と職業
- 2 - 4回 活躍する女性をとらえる
- ・ 新聞や雑誌記事などから女性と仕事に関わる記事を集め、現状をとらえる。  
「日経ウーマン」の分析
  - ・ グループワーク、記事をもとにした報告の作成
  - ・ 「みつけた・こんな女性」発表会
- 5回 女性たちの進化史
- ・ 働く女性のあゆみと歴史
- 6・7回 ライフサイクルの変化と仕事・生活
- 8 - 10回 女性の活躍する企業とは
- ・ 企業の変化
  - ・ ウーマノミックスの動き
  - ・ 女性管理職
- 11 - 12回 女性社長・起業家たち
- ・ 社会を変える・企業を変える
- 13 - 14回 仕事と生活の両立を目指す制度
- ・ 役割から男女のパートナーシップへの変化
- 15回 私のキャリア・ライフプランに向けて

授業への参加度（40％）、課題への取り組み（30％）、レポートや報告・発表（30％）などを合わせて評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に随時紹介する。

科目名	短期インターンシップ		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

インターンシップとは、学生が企業等において行う実習・研修という形で就業体験をする制度である。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が可能になるよう準備する人材育成策でもある。インターンシップを履修する学生は、前期に「インターンシップ入門」を履修すること

#### 科目の概要

5日・35時間以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。終了後、9-10月に開催される報告会で報告というすべての課程を終了することで評価の対象になる。

#### 学修目標

多くの学生には、インターンシップに参加することで、職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。インターンシップに参加した学生の方が内定を早く取れる傾向がみられる。

### 内容

1. 特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的にあったものを選んで行う。

学生は企業でのインターンシップの学習プログラムにそって研修を行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

#### 2. 実施手順

人間生活学部生活情報学科専門科目「インターンシップ入門」を事前に受講することが望ましい。なお、休暇期間以外のインターンシップに参加する際は、ゼミ教員または担任教員に事前に相談すること。

申込：「インターンシップ入門」の授業で受け入れ先の情報提供を行うが、学生が自己開拓で企業を探すことも可能。受け入れ先が確定次第、「インターンシップ申込書」をキャリアセンターに提出する。

事前指導：「インターンシップ入門」で、インターンシップの内容、ビジネスマナー、心構えなどの事前指導を行う。

参加学生は、実習・研修の成果をまとめたレポートを作成しキャリアセンターに提出する。インターンシップ終了後2週間以内に「科目追認願」を教務課に提出し、科目登録を行う。

報告会への参加：キャリアセンターが実施する報告会で報告

#### 3. 短期インターンシップ実施例 (2012年度)

りそな銀行、リコージャパン、さいたま市役所、興文堂、ウテナ、燦クリーン、日本管財、ウム・ヴェルト、富士急行

### 評価

インターンシップレポートを作成、提出し、報告会で報告した学生のみ単位取得が可能。

### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

随時紹介する。

科目名	短期インターンシップ		
担当教員名	岡林 正和		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2,3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

インターンシップとは、学生が企業等において行う実習・研修という形で就業体験をする制度である。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が可能になるよう準備する人材育成策でもある。インターンシップを履修する学生は、前期に「インターンシップ入門」を履修すること

#### 科目の概要

5日・35時間以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。終了後、9-10月に開催される報告会で報告というすべての課程を終了することで評価の対象になる。

#### 学修目標

多くの学生には、インターンシップに参加することで、職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。インターンシップに参加した学生の方が内定を早く取れる傾向がみられる。

#### 内容

1. 特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的にあったものを選んで行う。

学生は企業でのインターンシップの学習プログラムにそって研修を行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

#### 2. 実施手順

人間生活学部生活情報学科専門科目「インターンシップ入門」を事前に受講することが望ましい。なお、休暇期間以外のインターンシップに参加する際は、ゼミ教員または担任教員に事前に相談すること。

申込：「インターンシップ入門」の授業で受け入れ先の情報提供を行うが、学生が自己開拓で企業を探すことも可能。受け入れ先が確定次第、「インターンシップ申込書」をキャリアセンターに提出する。

事前指導：「インターンシップ入門」で、インターンシップの内容、ビジネスマナー、心構えなどの事前指導を行う。

参加学生は、実習・研修の成果をまとめたレポートを作成しキャリアセンターに提出する。インターンシップ終了後2週間以内に「科目追認願」を教務課に提出し、科目登録を行う。

報告会への参加：キャリアセンターが実施する報告会で報告

#### 3. 短期インターンシップ実施例 (2012年度)

りそな銀行、リコージャパン、さいたま市役所、興文堂、ウテナ、燦クリーン、日本管財、ウム・ヴェルト、富士急行

#### 評価

インターンシップレポートを作成、提出し、報告会で報告した学生のみ単位取得が可能。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

随時紹介する。

科目名	キャリア基礎力入門		
担当教員名	角田 真二、廣坂 多美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

大学教育とその後の社会人としてのキャリア形成を支援するための基礎科目である。本授業では、就職活動の基礎となる学力向上のために、特に非言語領域(数学、算数)の授業・問題演習を能力別クラスに分かれて2年次に実施する。

科目の概要

本授業では、就職活動の基礎となる学力向上のために、特に非言語領域(数学、算数)の授業・問題演習を能力別クラスに分かれて2年次に実施する。

学修目標

基礎的な非言語領域(数学、算数)および言語領域の演習を中心に行い、基礎的な学力の向上を図る。3年次には「キャリア基礎力応用」を履修して就職試験に対応する力を養う。

内容

1	4/12 ガイダンス、クラス分けチェックテスト	必ず受験してください。
2	4/19 非言語	テキスト
3	4/26 非言語	
4	5/10 非言語	
5	5/17 非言語	
6	5/24 非言語	
7	5/31 非言語	
8	6/7 非言語	
9	6/14 非言語	
10	6/21 非言語	
11	6/28 言語	
12	7/5 言語	
13	7/12 言語	
14	7/19 前期まとめ	必ず受験してください。
15	7/26 非言語	

評価

テストの結果ならびに受講態度

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

1回目の授業で指示する

科目名	キャリア基礎力応用		
担当教員名	角田 真二、廣坂 多美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

大学教育とその後の社会人としてのキャリア形成を支援するために、キャリアサポート では就職活動に関わる具体的な基礎力向上を目指した授業を行う。就職活動においてSPIや一般常識は重要な第一歩であり、それをクリアすることは必要条件となる。こうした基礎知識を、解説を含めてわかりやすく学習し、基礎力向上につなげる。就職活動に必要な学習であるので、多くの学生が受講することが望まれる。

#### 内容

1. SPI概要—SPIとは、SPIの考え方、使われ方など

2. 非言語分野の学習

年齢算、仕事算、旅人算、流水算

グラフ・領域、資料解釈、空間把握

順列組み合わせ、確率、n進法

運動力学など

3. 言語分野の学習

同意語、反対語、ことわざ・慣用句

包含関係、行為関係、原料関係、用途関係

複数の意味、長文問題など

各ステージで言語、非言語の両分野を事例にもとづき解説する。

#### 評価

小テスト ( 50点 )、期末試験 ( 50点 ) 等をもとに総合評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業時に紹介

科目名	会計学基礎		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格：

我々の周りには様々なビジネスが存在し、そのビジネスを企業等が支えている。本科目は、この企業等のビジネスによる経営活動を記録、計算し、財務諸表を作成する一連の会計の役割とその基本的仕組みを学修する科目である。本科目では、ビジネスマンに必要な基本的財務諸表を読む力、作成できる力を習得する。

##### 科目の概要：

会計は今や英語、ITと並びビジネスマンの必須である。ビジネスマンとしてのアカウントティング・マインドを身につけるため、本科目では実務を意識して多くの事例を取り入れ、会計の基礎を中心に幅広く学修する。

##### 学修目標：

1. 会計の有用性、基本的任務を理解する。
2. 財務諸表の基礎的分析能力を身につける。
3. 基本的財務諸表の作成ができる。

#### 内容

1	会計の役割
2	会計制度の仕組み
3	複式簿記の仕組み
4	財務諸表を読む
5	流動資産
6	固定資産
7	純資産と負債
8	収益と費用
9	キャッシュ・フローを読む
10	財務状態を読む
11	収益性を読む
12	原価構造を読む
13	経営管理への役立ち
14	会計と職業
15	まとめ

#### 評価

学習目標に関するレポート・ミニテスト等 ( 20点 )、学習目標に基づく期末試験 ( 60点 )、通常の授業態度等 ( 20点 ) により総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【テキスト（教科書）】 全在紋 朴大栄 谷武幸 編著 『新版 まなびの入門会計学』 中央経済社  
その他、適宜、補助レジユメを配布する。
- 【参考図書】 広瀬義州著 『財務会計＜第11版＞』 中央経済社

科目名	会計学基礎		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格 :

我々の周りには様々なビジネスが存在し、そのビジネスを企業等が支えている。本科目は、この企業等のビジネスによる経営活動を記録、計算し、財務諸表を作成する一連の会計の役割とその基本的仕組みを学修する科目である。本科目では、ビジネスマンに必要な基本的財務諸表を読む力、作成できる力を習得する。

科目の概要 :

会計は今や英語、ITと並びビジネスマンの必須である。ビジネスマンとしてのアカウントティング・マインドを身につけるため、本科目では実務を意識して多くの事例を取り入れ、会計の基礎を中心に幅広く学修する。

学修目標 :

1. 会計の有用性、基本的任務を理解する。
2. 財務諸表の基礎的分析能力を身につける。
3. 基本的財務諸表の作成ができる。

内容

1	会計の役割
2	会計制度の仕組み
3	複式簿記の仕組み
4	財務諸表を読む
5	流動資産
6	固定資産
7	純資産と負債
8	収益と費用
9	キャッシュ・フローを読む
10	財務状態を読む
11	収益性を読む
12	原価構造を読む
13	経営管理への役立ち
14	会計と職業
15	まとめ

評価

学習目標に関するレポート・ミニテスト等 ( 20点 )、学習目標に基づく期末試験 ( 60点 )、通常の授業態度等 ( 20点 ) により総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【テキスト（教科書）】 全在紋 朴大栄 谷武幸 編著 『新版 まなびの入門会計学』 中央経済社  
その他、適宜、補助レジユメを配布する。
- 【参考図書】 広瀬義州著 『財務会計＜第11版＞』 中央経済社

科目名	簿記入門		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを目的とした簿記論の入門科目である。具体的には、複式簿記を中心とした基本的商業簿記の原理、原則と記帳方法を簿記一巡の手続きの中で基本問題および練習問題を通して理解、習得する。

講義では「会計学基礎」の知識を基盤として、簿記の原理をファーストステップからスタートし、分かりやすく解説する。基本問題および数多くの練習問題を解くことにより商業簿記の基本原理や記帳、決算等に関する簿記特有の考え方を理解、把握し、ビジネス・パーソンに必要な簿記実務の初歩レベルを習得する。

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 簿記一巡の全体像を把握する。
2. 企業活動における会計の記帳方法を理解する。
3. 財務諸表の理解と基本的財務諸表の作成能力を習得する。

#### 内容

1	資産・負債・純資産と貸借対照表
2	収益・費用と損益計算書
3	取引と取引要素の結合関係
4	勘定と勘定記入法則
5	仕訳と転記
6	仕訳帳と総勘定元帳
7	現金・預金取引の記帳
8	債権・債務取引の記帳
9	商品売買取引と固定資産取得取引の記帳
10	純資産取引の記帳
11	収益・費用取引の記帳
12	決算の意味と決算予備手続き
13	帳簿の締切と繰越試算表
14	損益計算書と貸借対照表の作成
15	総合問題

#### 評価

重要項目に関するミニテスト・レポート等 ( 20% )、通常の授業態度 ( 20% )、学修目標に基づく期末試験等 ( 60% ) により総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】 『ファーストステップ簿記を学ぶ〔第2版〕』 渡部裕巨編著 中央経済社 1,200円

科目名	簿記入門		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを目的とした簿記論の入門科目である。具体的には、複式簿記を中心とした基本的商業簿記の原理、原則と記帳方法を簿記一巡の手続きの中で基本問題および練習問題を通して理解、習得する。

講義では「会計学基礎」の知識を基盤として、簿記の原理をファーストステップからスタートし、分かりやすく解説する。基本問題および数多くの練習問題を解くことにより商業簿記の基本原理や記帳、決算等に関する簿記特有の考え方を理解、把握し、ビジネス・パーソンに必要な簿記実務の初歩レベルを習得する。

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 簿記一巡の全体像を把握する。
2. 企業活動における会計の記帳方法を理解する。
3. 財務諸表の理解と基本的財務諸表の作成能力を習得する。

#### 内容

1	資産・負債・純資産と貸借対照表
2	収益・費用と損益計算書
3	取引と取引要素の結合関係
4	勘定と勘定記入法則
5	仕訳と転記
6	仕訳帳と総勘定元帳
7	現金・預金取引の記帳
8	債権・債務取引の記帳
9	商品売買取引と固定資産取得取引の記帳
10	純資産取引の記帳
11	収益・費用取引の記帳
12	決算の意味と決算予備手続き
13	帳簿の締切と繰越試算表
14	損益計算書と貸借対照表の作成
15	総合問題

#### 評価

重要項目に関するミニテスト・レポート等 ( 20% )、通常の授業態度 ( 20% )、学修目標に基づく期末試験等 ( 60% ) により総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】 『ファーストステップ簿記を学ぶ〔第2版〕』 渡部裕巨編著 中央経済社 1,200円

科目名	簿記基礎		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

##### 科目の性格

本科目は、「簿記入門」に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論に関する基礎を複式簿記を中心に体系的に理解、学修することをねらいとする科目である。基本的な簿記取引の処理、記帳方法を習得することが求められる科目である。

##### 科目の概要

「会计学基礎」の知識を基盤として、前半は、期中取引における仕訳と帳簿記入を学修し、後半は諸取引の処理と決算を中心に、日商簿記3級の全範囲を学修していく。

##### 学修目標

1. 簿記一巡という全体像を理解する。
2. 企業活動における会計の記帳方法を理解する。
3. 会計記録から財務諸表を作成する能力を習得する。

#### 内容

1	簿記の意味・目的・種類と基礎概念
2	取引、勘定と仕訳
3	帳簿記入、決算と財務諸表(その1)
4	現金預金取引
5	商品売買
6	売掛金と買掛金
7	その他債権債務
8	手形
9	有価証券
10	固定資産、資本金と引出金
11	収益と費用、税金
12	帳簿と伝票
13	決算と財務諸表(その2)
14	決算と財務諸表(その2の続き)
15	総合問題

#### 評価

学修目標に関するミニテストと課題レポート等(20点)、学修目標に基づく期末試験(60点)、通常の授業態度等(20点)により総合的に評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト（教科書）】 『検定簿記講義3級商業簿記[平成25年度版]』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著 中央経済社  
その他適宜，補助レジユメを用意する。

【参考図書】 『簿記一般教程』 武田隆二著 中央経済社  
その他随時教室にて紹介する。

科目名	簿記基礎		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 科目の性格

本科目は、「簿記入門」に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論に関する基礎を複式簿記を中心に体系的に理解、学修することをねらいとする科目である。基本的な簿記取引の処理、記帳方法を習得することが求められる科目である。

##### 科目の概要

「会计学基礎」の知識を基盤として、前半は、期中取引における仕訳と帳簿記入を学修し、後半は諸取引の処理と決算を中心に、日商簿記3級の全範囲を学修していく。

##### 学修目標

1. 簿記一巡という全体像を理解する。
2. 企業活動における会計の記帳方法を理解する。
3. 会計記録から財務諸表を作成する能力を習得する。

#### 内容

1	簿記の意味・目的・種類と基礎概念
2	取引、勘定と仕訳
3	帳簿記入、決算と財務諸表（その1）
4	現金預金取引
5	商品売買
6	売掛金と買掛金
7	その他債権債務
8	手形
9	有価証券
10	固定資産、資本金と引出金
11	収益と費用、税金
12	帳簿と伝票
13	決算と財務諸表（その2）
14	決算と財務諸表（その2の続き）
15	総合問題

#### 評価

学修目標に関するミニテストと課題レポート等（20点）、学修目標に基づく期末試験（60点）、通常の授業態度等（20点）により総合的に評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト（教科書）】 『検定簿記講義3級商業簿記[平成25年度版]』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著 中央経済社  
その他適宜，補助レジユメを用意する。

【参考図書】 『簿記一般教程』 武田隆二著 中央経済社  
その他随時教室にて紹介する。

科目名	簿記初級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、会計学の根幹を成す簿記の商業簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを目的とした科目である。具体的には、「簿記基礎」に引き続き、より複雑な商業活動の記帳方法と決算技法について、幅広く日商3級の範囲を学修するとともに、数多くの練習問題を解くことにより簿記の計算レベルを上げる。

講義では、基本問題のみならず、演習問題、応用問題にまで発展させ、商業簿記の理解をさらに深めていく予定である。また、手形・固定資産の処理、精算表・財務諸表の作成等、重要なテーマについては問題数を増やし、理解を確実なものにしていく。したがって講義の最終段階では、受講者の日商簿記検定3級の確実な合格レベルを目指す。

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 企業取引の内容を理解し、会計処理方法を確実に習得する。
2. 発生主義や実現主義、費用収益の対応等、重要な会計理論を理解する。
3. 財務諸表全体の意味を理解し、応用論点にも対応できる。

#### 内容

1	簿記の基本原理
2	取引、仕訳
3	勘定記入、帳簿
4	現金・現金過不足
5	当座預金・当座借越
6	小口現金、商品売買
7	商品有高帳、売掛金・買掛金
8	その他債権債務、手形(その1)
9	手形(その2)、有価証券、固定資産(その1)
10	固定資産(その2)、資本金と引出金
11	収益と費用、税金、伝票
12	試算表の作成と決算整理手続
13	元帳の締切と財務諸表の作成(その1)
14	元帳の締切と財務諸表の作成(その2)
15	総合問題

#### 評価

ミニテスト・課題レポート等(20%)、通常の授業態度(20%)、学修目標に基づく期末試験(60%)により総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 『検定簿記ワークブック3級商業簿記』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著（中央経済社）700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	簿記初級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、会計学の根幹を成す簿記の商業簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを目的とした科目である。具体的には、「簿記基礎」に引き続き、より複雑な商業活動の記帳方法と決算技法について、幅広く日商3級の範囲を学修するとともに、数多くの練習問題を解くことにより簿記の計算レベルを上げる。

講義では、基本問題のみならず、演習問題、応用問題にまで発展させ、商業簿記の理解をさらに深めていく予定である。また、手形・固定資産の処理、精算表・財務諸表の作成等、重要なテーマについては問題数を増やし、理解を確実なものにしていく。したがって講義の最終段階では、受講者の日商簿記検定3級の確実な合格レベルを目指す。

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 企業取引の内容を理解し、会計処理方法を確実に習得する。
2. 発生主義や実現主義、費用収益の対応等、重要な会計理論を理解する。
3. 財務諸表全体の意味を理解し、応用論点にも対応できる。

#### 内容

1	簿記の基本原理
2	取引、仕訳
3	勘定記入、帳簿
4	現金・現金過不足
5	当座預金・当座借越
6	小口現金、商品売買
7	商品有高帳、売掛金・買掛金
8	その他債権債務、手形 ( その1 )
9	手形 ( その2 )、有価証券、固定資産 ( その1 )
10	固定資産 ( その2 )、資本金と引出金
11	収益と費用、税金、伝票
12	試算表の作成と決算整理手続
13	元帳の締切と財務諸表の作成 ( その1 )
14	元帳の締切と財務諸表の作成 ( その2 )
15	総合問題

#### 評価

ミニテスト・課題レポート等 ( 20% )、通常の授業態度 ( 20% )、学修目標に基づく期末試験 ( 60% ) により総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】 『検定簿記ワークブック3級商業簿記』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著（中央経済社）700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	簿記中級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、「簿記初級」の知識に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論を体系的により深く学修することを目的に、企業のさらに複雑な商業活動の記帳方法と決算技法を習得する科目である。

#### 科目の概要

具体的には、日商簿記検定試験2級の商業簿記の範囲に沿って、会計に関する深い考察力と応用力を養っていく。検定試験に必要な問題料確保のため、講義ではテキストの問題の他、プリント配布による練習問題も予定している。

#### 学修目標

複雑な企業取引の内容を把握し、会計処理方法を十分に理解する。また企業取引の複合的な応用論点への対応力も習得する。講義終了時点では、日商簿記検定商業簿記2級の合格レベルを目標とする。

#### 内容

1	簿記一巡の手続
2	現預金取引
3	有価証券取引
4	債権・債務取、手形取引 ( その 1 )
5	手形取引 ( その 2 )、引当金取引
6	商品売買取引
7	特殊商品売買取引 ( その 1 )
8	特殊商品売買取引 ( その 2 )
9	固定資産取引、損益取引
10	株式会社会計 ( その 1 )
11	株式会社会計 ( その 2 )
12	決算 ( その 1 )
13	決算 ( その 2 )
14	本支店会計
15	総合問題

#### 評価

ミニテスト・課題レポート等 ( 20% )、通常の授業態度 ( 20% )、学修目標に基づく期末試験 ( 60% ) により総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】 『検定簿記講義2級商業簿記[平成25年度版]』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著 ( 中央経済社 ) 700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	簿記上級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

本科目は、「簿記中級」の知識に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論を体系的により深く学修することを目的に、さらに製造業を営んでいる企業特有の会計である工業簿記の記帳方法と計算技法を習得する科目である。

科目の概要

具体的には、日商簿記検定試験 2 級工業簿記の範囲に沿って、会計に関する深い考察力と応用力を養っていく。検定試験に必要な問題料確保のため、講義ではテキストの問題の他、プリント配布による練習問題も予定している。

学修目標

製造業の製造活動の内容を把握し、処理方法を十分に理解する。また基本的原価計算のへの対応力も習得する。講義終了時点では、日商簿記検定工業簿記 2 級の合格レベルを目標とする。

内容

1	工業簿記の基礎
2	材料費
3	労務費
4	経費
5	個別原価計算
6	部門別個別原価計算 ( その 1 )
7	部門別個別原価計算 ( その 2 )
8	総合原価計算 ( その 1 )
9	総合原価計算 ( その 2 )
10	総合原価計算 ( その 3 )
11	工業簿記における財務諸表
12	本社工場会計
13	標準原価計算
14	直接原価計算
15	総合問題

評価

ミニテスト・課題レポート等 ( 20% )、通常の授業態度 ( 20% )、学修目標に基づく期末試験 ( 60% ) により総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】 『スッキリわかる日商簿記 2 級工業簿記』 滝澤ななみ著 ( TAC出版 ) 1,000円

【推薦書】 『新検定簿記講義 2級工業簿記 平成25年度版 』 岡本清・廣本敏郎編著（中央経済社）

科目名	マーケティング論		
担当教員名	後藤 亜希子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は「ビジネス社会を生きる」科目のうち2年次以降に履修するものであり、マーケティングの入門講座として、体系的な知識と基礎理論を習得することをねらいとする。

#### 科目の概要

本講座では、激しく変化する現代市場においてマーケティングが果たす役割とその意義について、身近な事例を取り上げながら、初心者が理解できるよう、わかりやすく解説する。

#### 学修目標

- 1) 企業のマーケティング戦略体系について理解する
- 2) 消費者や顧客への価値提供技術を習得する
- 3) 少子高齢化に伴う市場縮小の時代に対応していくかについて考える

#### 内容

1	マーケティングの基礎 1 : マーケティングとは何か
2	マーケティングの基礎 2 : ニーズとウォンツ、マーケティングの 4 P
3	市場と消費者 1 : S T P マーケティング
4	市場と消費者 2 : 顧客満足、人の欲求の変化、A I D M A の法則
5	市場と消費者 3 : 消費者間の相互作用、情報収集と分析
6	自社と競合 : P P M、S W O T 分析
7	製品戦略 1 : 製品の分類、製品のライフサイクル
8	製品戦略 2 : ブランド戦略、N B と P B
9	価格戦略 1 : 価格設定
10	価格戦略 2 : さまざまな価格戦略
11	流通チャネル戦略 1 : どのような経路で製品を顧客に届けるか
12	流通チャネル戦略 2 : 卸売業・小売業について
13	プロモーション戦略 1 : プッシュ戦略とプル戦略
14	プロモーション戦略 2 : 販売促進
15	まとめ

#### 評価

本講座における評価方法は、期末試験 ( 50 点 )、授業態度 ( 10 点 )、小レポート提出 ( 40 点 ) とし、60 点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

弘兼憲史・前田信弘『知識ゼロからのマーケティング入門』（幻冬舎）

その他、適宜授業中に指示します。

科目名	ブランド戦略		
担当教員名	崎山 嗣夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

私達の周りには数多くの「ブランド」が存在します。一般的には多くの若い女性が憧れるルイビトン・フェラガモ・グッチ等の世界的な知名度を持つ「ブランド」が有名です。でも、私達の身の回りにはシャンプーではラックス・椿・エッセンシャルなど、飲料ではコカコーラ・午後の紅茶・おーいお茶など、自動車ではクラウン・フィット・カローラなど、毎日を「ブランド」に囲まれて生活していると言っても過言ではありません。

そこで私達が「ブランド」を理解することは、身の回りに存在する多くの商品からの選択をする眼を養い、生活を豊かにすることに役立つと思います。一方商品やサービスを提供している企業に取っては「ブランド」の開発・育成は事業の発展に必要な要件ですが、企業が考える「ブランド」開発の狙いを知ることは、私達が「企業（会社）」を理解する上で大変有意義なことだと考えます。

授業では「ブランド」の定義、意義、価値について説明すると同時に、「ブランド」開発の過程や育成の方法についても具体例をお話しながら分かり安く解説をしたいと考えています。

「ブランド戦略論」を理解することは、日々の生活を充実させるために大切なことです。また同時に就活時の企業の選び方、また会社訪問の際の面接で色々な点で優れた状況を作る事になると思います。

ただ、「ブランド」を理解するには「マーケティング」の知識は大変重要です。日々変化する社会にあってマーケティングについて理解を深め、毎日を豊かな気持ちで生活するために幅広い視点で授業を進めて行く予定であります。

内容

1	授業全体の流れを概観すると同時に、「ブランド」とは何かを理解する。
2	「ブランド」開発に必要な「マーケティング」理論について解説する。
3	「マーケティング」の歴史的考察と同時に「経営学」との関係性を解説する。
4	創造的「マーケティング」発想の構造について説明する
5	創造的「ブランド」開発の基本的考え方について解説する。
6	情緒的ブランド価値（ビトン等）と機能性価値ブランド（ラックス等）の相違点を解説する。
7	創造的「ブランド」を育成するための基本と、その過程について説明する。
8	創造的「ブランド」創出と商品開発の実例を解説する。
9	ヒット商品誕生のための要因を整理し商品開発の基本を理解する。
10	商品開発とリサーチの関係について具体例を上げて解説する。
11	「ルイ・ビトン」を事例に「ブランド」の歴史や意義について深く理解する。
12	「ブランド」を創出し育成するための組織のあり方について説明する。
13	社会の変化に対応した「ブランド」の有り方について解説する。
14	「ブランド論」を理解することで、日本企業を元気にする処方箋を考える。
15	まとめ（「ブランド論」の理解を確認する）

評価

本講座における評価方法は、原則として出席の3分の2以上を満たして上で、期末テスト（ペーパーテスト）等により総合評価をする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『目盛りを変えろ 日本が見える』 崎山 嗣夫著 （日本経済新聞社）

『企業改革への道 - 顧客視点の発想 - 』 崎山 嗣夫著 （日本経済新聞社）

科目名	経営学基礎		
担当教員名	長坂 敏史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

経営の入門講座として経営の基礎理論と基礎概念を習得することをねらいとする。

企業とは、私たちの生活に必要な商品やサービスを生産し社会に供給することを目的とした、現代社会における大きな社会的発明である。商品やサービスの生産活動は、政府や地方自治体、財団や社団といった非営利法人、さらには個人によっても行われている。しかしながら、それら商品やサービスの生産セクターの内で、最も効果的かつ効率的に生産活動を行うことができるのが企業という仕組みである。

本講座では、企業とはどのような仕組みや構造になっており、また、どのようなメカニズムで運営されているのかについて、初心者が理解できるようわかりやすく解説する。

本講座を履修することにより、経営で取り上げられる諸テーマに関し、それらの経営管理体系における位置づけや相互の関連性が理解できるようになり、その後における、経営管理論や企業戦略論等、経営に関する基幹・関連科目の修得や理解が容易となるよう配慮する。

## 内容

1	営学とは:]経営の目的、三つの経営課題、経営学の主要テーマ
2	経済的価値の創出 ( 1 ) :]経済的価値の構成、嗜好的価値、機能的価値、情動的価値、
3	経済的価値の創出 ( 2 ) : マズローの欲求5段階説、欲求と経済的価値
4	商品とは : 製品と商品、商品の経済的価値、商品の類型
5	ブランド : ブランドの意義、ブランドの類型
6	商品市場 ( 1 ) : 市場の定義、需要と供給、市場の構成要素 ( 3 C )
7	商品市場 ( 2 ) : 顧客分析、顧客満足度による分類、ロジャーズの普及理論
8	商品市場 ( 3 ) : 競合分析、マーケット・シェア、競争優位性、競争モデル
9	マーケティング ( 1 ) : マーケティングの 4 P、商品 ( Product )
10	マーケティング ( 2 ) : 価格 ( Price )、販売チャネル ( Place )、販売促進 ( Promotion )
11	会社とは ( 1 ) : 会社の種類 - 株式会社、合名会社、合資会社、合同会社、LLP
12	会社とは ( 2 ) : 株式会社の特徴、資本と経営の分離、株式、会社の機関
13	組織マネジメント ( 1 ) : 組織化の意義、経営組織、ライン組織、スタッフ組織
14	組織マネジメント ( 2 ) : マネジメント・サイクル、予算制度、動機づけ
15	まとめ

## 評価

本講座における評価方法は、期末試験 ( 50点 )、授業態度 ( 10 点 )、小テスト及び小レポート提出 ( 40点 ) とし、60 点以上を合格とする。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業において、適時関連するレジユメ、並びに、参考資料を配布する。

科目名	経営学基礎		
担当教員名	長坂 敏史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

経営の入門講座として経営の基礎理論と基礎概念を習得することをねらいとする。

企業とは、私たちの生活に必要な商品やサービスを生産し社会に供給することを目的とした、現代社会における大きな社会的発明である。商品やサービスの生産活動は、政府や地方自治体、財団や社団といった非営利法人、さらには個人によっても行われている。しかしながら、それら商品やサービスの生産セクターの内で、最も効果的かつ効率的に生産活動を行うことができるのが企業という仕組みである。

本講座では、企業とはどのような仕組みや構造になっており、また、どのようなメカニズムで運営されているのかについて、初心者が理解できるようわかりやすく解説する。

本講座を履修することにより、経営で取り上げられる諸テーマに関し、それらの経営管理体系における位置づけや相互の関連性が理解できるようになり、その後における、経営管理論や企業戦略論等、経営に関する基幹・関連科目の修得や理解が容易となるよう配慮する。

#### 内容

1	営学とは:]経営の目的、三つの経営課題、経営学の主要テーマ
2	経済的価値の創出 ( 1 ) :]経済的価値の構成、嗜好的価値、機能的価値、情動的価値、
3	経済的価値の創出 ( 2 ) : マズローの欲求5段階説、欲求と経済的価値
4	商品とは : 製品と商品、商品の経済的価値、商品の類型
5	ブランド : ブランドの意義、ブランドの類型
6	商品市場 ( 1 ) : 市場の定義、需要と供給、市場の構成要素 ( 3 C )
7	商品市場 ( 2 ) : 顧客分析、顧客満足度による分類、ロジャーズの普及理論
8	商品市場 ( 3 ) : 競合分析、マーケット・シェア、競争優位性、競争モデル
9	マーケティング ( 1 ) : マーケティングの 4 P、商品 ( Product )
10	マーケティング ( 2 ) : 価格 ( Price )、販売チャネル ( Place )、販売促進 ( Promotion )
11	会社とは ( 1 ) : 会社の種類 - 株式会社、合名会社、合資会社、合同会社、LLP
12	会社とは ( 2 ) : 株式会社の特徴、資本と経営の分離、株式、会社の機関
13	組織マネジメント ( 1 ) : 組織化の意義、経営組織、ライン組織、スタッフ組織
14	組織マネジメント ( 2 ) : マネジメント・サイクル、予算制度、動機づけ
15	まとめ

#### 評価

本講座における評価方法は、期末試験 ( 50点 )、授業態度 ( 10 点 )、小テスト及び小レポート提出 ( 40点 ) とし、60 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業において、適時関連するレジユメ、並びに、参考資料を配布する。

科目名	ビジネス経済学		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

生活情報学科の専門科目であり、経済学の基礎を学習する。

##### 科目の概要

経済学の基礎を学習し、現実経済の諸問題について考察できるように講義する。

##### 学修目標

経済学の基礎的概念を理解する。また、日本経済の代表的な問題について理解し、自分の意見を持てるようにする。

#### 内容

1	ガイダンス
2	経済学の考え方
3	ミクロ経済学 1
4	ミクロ経済学 2
5	マクロ経済学 1
6	マクロ経済学 2
7	金融政策
8	財政政策と財政赤字
9	中間試験
10	バブル崩壊後の日本経済
11	グローバルな金融危機と日本経済
12	外国為替市場と日本経済
13	社会保障
14	日本的経営
15	まとめ

#### 評価

中間テスト ( 30% )、学期末テスト ( 70% ) で評価します。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業中に指示する。

科目名	ビジネスと法律		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性質

学科専門科目の「C ビジネス社会を生きる」に位置づけられる。法学入門・民法入門・消費生活と法などとともに履修すると理解が深まる。

#### 科目の概要

金融業・不動産業・販売業などお金が動くビジネスの場面を想定して、関連する法律と問題解決法を学ぶ。事例を基礎におき、具体的には、民法総則、物権法、担保物権法、債権法といった民法の各分野をはじめ、その他各種私法がどのように関係し、問題解決の機能を果たしているのかについて学ぶ。またその限界や課題についても検討する。

#### 学習目標

- ・ビジネスに関連する基本的な法律の知識と教養を身につける。
- ・事例を検討することにより、論理的思考力や課題解決力の養成を目指す。
- ・事例や時事問題を利用し、文章読解力・文章表現力を身につける。

#### 内容

1	ガイダンス 金融と法律・金融と民法
2	ビジネスの主体 ( 自然人・法人 )
3	ビジネスと代理
4	消費者金融ビジネスと法
5	中古品販売ビジネスと法
6	新品販売ビジネスと法
7	不動産の賃貸借ビジネスと法 ( 1 )
8	不動産の賃貸借ビジネスと法 ( 2 )
9	不動産の販売ビジネスと法 ( 1 )
10	不動産の販売ビジネスと法 ( 2 )
11	事例演習
12	住宅ローンと抵当権
13	預金取引と法律
14	企業の社会的責任と法令遵守
15	総括

#### 評価

レポート、ワークシート等の提出物・受講態度 ( 50点 )、ペーパーテスト ( 50点 ) を総合して評価する。100点満点中60点が単位取得の下限である。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

開講時に指示する。

科目名	企業戦略論		
担当教員名	長坂 敏史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

企業は、自らが生産した商品を、市場において消費者や顧客に販売し利益を得ることによって、事業活動を継続する。しかし、市場において競争相手に打ち勝たなければ、顧客を失い販売金額が減少し、損失が発生する。そして、そのような赤字経営が続けば、企業は倒産し消滅せざるを得ない。このように、企業は、強いものが生き残り弱いものが消滅するという、市場の厳しい生存競争にさらされている。資本主義経済においては、このような淘汰のプロセスが、経済にダイナミズムをもたらし、経済の活性化を促している。

戦略は戦争における敵に勝つための総合的な方法論・技術論である。企業戦略は、市場における競争を企業間戦争と捉え、企業がいかに競争相手と戦いいかに勝ち残るかという技術論であり方法論である。本講座では、経営学の基礎的学習からさらに一歩進め、管理から経営へ、経営から戦略へと続いてきた経営理論の流れをたどることにより現代の戦略経営についてその背景を理解すると同時に、いろいろな戦略論についてその内容と意義を学ぶ。

#### 内容

1	戦略論の基礎
2	伝統的管理論：テラー、ファヨール、ウェーバー
3	ホーソン実験：メイヨー、レリスバーガー
4	動機づけ理論：マズロー、アージェリス、マクレガー、ハズバーク
5	会社での仕事
6	リーダーシップ論：資質論、形態論、状況適合理論
7	バーナードの組織論
8	サイモンの意思決定論
9	意思決定論の展開：高橋
10	戦略論の系譜：チャンドラー、アンゾフ、ミンツバーク、奥村
11	成長戦略の基礎概念
12	競争戦略の基礎概念
13	インフラ戦略の基礎概念
14	ケース・スタディ
15	まとめ

#### 評価

本講座における評価方法は、期末テスト（50点）、授業態度（10点）、小テスト及び小レポート提出（40点）によるものとし、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

講義において関連するレジュメ、並びに、参考資料を配布する。

科目名	企業倫理		
担当教員名	岡林 正和		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

学生が、アルバイト等で既に接している企業、そして将来、多くの学生が、就職等で一員となる企業(会社)が、社会からどのような倫理行動を要求されているのか、更には、そのメンバーとして、どのような事が求められ、どのような事が禁止されているかを、理解して貰う講座である。特に、企業の一員としての将来を考えている学生には、必須の内容と言える。

企業は本来、顧客の満足を収益という形で得る事が最大目的の集団である。しかしながら、今日、社会に対する企業活動の影響力は日に日に増大、一方、企業経済の自由度は拡大、企業も自己責任型の経営が求められている。その結果、企業も社会の一員として務めを果たす事が、必須条件となっている。企業のちょっとした、配慮の不足した、倫理に反した行動が、最悪当該企業の経営破たんとなる事例が散見される。本講座では、学生参加型の授業運営で、社員が守るべき事、企業が守るべき事を習得していく授業展開を目指す。

社会の一員としての企業が、守り実施すべき企業倫理の本質を理解するとともに、社員として要求される事も合わせて理解する。更に、関連するコーポレートガバナンス、コンプライアンス、環境マネジメント、CSR (企業の社会的責任など) についても理解する。

内容

1	ガイダンス(授業の進め方、企業とは? 企業倫理とは? コンプライアンスとは?)
2	企業不祥事事件 1 .
3	企業不祥事事件 2 .
4	企業不祥事がどうして企業倒産にまで至るのか?
5	企業倫理を求められる実情、コンプライアンスは企業存続に不可欠?
6	コンプライアンスとは?
7	コンプライアンス違反
8	コンプライアンスの法令(事業活動において、消費者に対して)
9	コンプライアンスの法令(従業員に対して、インターネット、その他)
10	コンプライアンスの実践 1 .
11	コンプライアンスの実践 2 .
12	企業における企業倫理確立、コンプライアンス体制づくり
13	コンプライアンスと内部統制、CSR の関係
14	企業倫理に係るその他関連用語
15	まとめ

評価

平常点 60 点 ( 授業参加姿勢、随時小レポートなど )、期末テスト 40 点により評価を行い、60 点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業の進展、必要に応じて適宜、紹介していく。但し、講義の始まる9月末に備えて、夏休みの間に次の本を一読する事を推薦する。 田中宏司著・実践！コンプライアンス・PHP研究所

科目名	マネープランニング		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

本講義は2年次の「生活と経済」に続いてFP技能士3級合格を目指し、さらに、2級へと学習を進めていくものである。

科目の概要

FP技能士3級、2級のカリキュラムに沿って学習しながら、広く個人がかかわる金融全体についての知識習得を図る。

学修目標

FP技能士3級、2級に合格できる学力の養成を図る。

内容

1	ガイダンス
2	ライフプランニングと資金計画 1
3	ライフプランニングと資金計画 2
4	生命保険
5	損害保険
6	金融資産運用 1
7	金融資産運用 2
8	金融資産運用 3
9	税制のしくみ 1
10	税制のしくみ 2
11	不動産取引 1
12	不動産取引 2
13	相続と事業継承 1
14	相続と事業継承 2
15	まとめ

評価

中間の確認テスト（40％）、学期末テスト（60％）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示する。

科目名	国際経営論		
担当教員名	笠原 伸一郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

<科目の性格> 世界的な高度情報ネットワーク社会の進展と企業のグローバル化の急速な展開は、従来の年功序列、終身雇用といった日本の慣行をも崩壊させ、個々の従業員の能力が問われる時代を日本企業は迎えている。本講では、こうした企業のグローバル化が生じた理由および企業経営の変遷を大企業を事例にして概説し、さらに国際経営戦略論の立場から問題点を検討して、地球企業社会の方向性を明示する。これにより就職先決定へのヒントを提示するとともにグローバル社会で働く意義を理解させる。

<科目の概要> 経営学は他の学問と異なり絶対原理はない。個々の企業の盛衰は個々の状況によって異なるゆえ、ケース・スタディ - ( 事例研究 ) によって検証する方法を採る。本講では、多数の事例をあげて国際経営および経営の基礎をわかりやすく解説し、就職で有利になるよう導く。最後に私の専門とするホテル、航空会社業界の問題点も加えて、グローバル企業の方向性を多角的に検討する。

<学修目標>

- 1 世界のグローバル化の潮流および国際経営の必要性を理解する
- 2 企業社会でのグローバルな人材としてのセンスを身につけ、就職先決定へのヒントを得る
- 3 人間はなぜ働き、企業は成長しなければならないかを理解する
- 4 異文化経営の問題、とくに日本的経営の特徴について深く理解する
- 5 BOPビジネスを例にグローバル化による経済格差 ( 貧困層 ) の解決策を考える

内容

1	企業とは何か。経営とは何か。 - 夢を実現させる方法 - ( 事例 : 東京ディズニーリゾート )
2	経営学の誕生とその必要性 ? 経営学を学ぶ意味 - ( 事例 : ハーバード大学 )
3	国際企業に至るまでのプロセスとその戦略 - 日本発のコンビニ - ( 事例 : セブンイレブン )
4	日本企業の国際化戦略 1 ? この世にないモノを創造する - ( 事例 : ソニー )
5	日本企業の国際化戦略 2 ? 人間はなぜ働くのか - ( 事例 : ホンダ )
6	日本企業の国際化戦略 3 ? デザインが命 - ( 事例 : 日産 )
7	日本企業のグローバル戦略 ? 協働の強さ - ( 事例 : トヨタ、富士通 )
8	日本的経営の原理とその海外移転 ? 日本人はなぜコンパが好きなのか -
9	米国経営学の系譜 ? 人間はなぜサボるのか、そしてやる気を起こすには -
10	米国巨大企業のグローバル戦略 ? No.1になるとなぜ得なのか - ( 事例 : GE )
11	米国巨大グローバルIT企業の実態 ? カリスマ経営者の夢 - ( 事例 : アップル )
12	起業経営とグローバル・ボーンカンパニー ? 会社を創る意義 - ( 事例 : HP、グーグル )
13	グローバルリーダーの条件 ? 家族の父親・母親、そして経営者、政治家に共通するもの -
14	グローバル・サービス産業 ? 航空業界の将来、CAはどうなるの? - ( 事例 : 日本航空 )
15	総括 グローバル格差社会とBOPビジネス - 世界の貧困層をどう救うか - ( ユニクロ他 )

## 評価

学修目標に関するレポート（40点）、出席票裏に課す小テストを含む授業への参加度（60点）で総合的に評価する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】加藤茂夫編、笠原伸一郎ほか著『経営入門 -よい経営の創り方、よい経営の学び方』（学文社）

【参考図書】笠原伸一郎著『グローバル企業の史的展開』（中央経済社）、笠原伸一郎編『図説 国際ビジネス』（中央経済社）、江夏健一編『新版 理論とケースで学ぶ国際ビジネス』（同文館出版）335.5/R、ジェフリー・ジョーンズ著『ビューティビジネス』（中央経済社）、日経新聞、その他授業中に指示する。

科目名	国際関係論		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

2年生以上対象の「C. ビジネス社会を生きる」群選択科目として、国際社会の全体像を理解する。

国際問題を、国際社会という舞台に現れる登場人物 ( アクター )、出来事 ( ストーリー ) という視点でとらえ、20世紀後半の国際問題の流れを再考する。その上で21世紀の国際社会が直面している問題の特徴を探る。新たな情報手段や科学技術の登場によって、これまでとは異なる国際問題が発生する可能性についても論じる。

国際社会の動きと日本、さらに日本国内で身の回りに起きている出来事との関連性を理解し、国際社会が日本から遠いところで、自分に関係なく動いているのではないことを学ぶ。

## 内容

1	国際関係への視点：日本の役割
2	20世紀の国際関係 ( 1 ) : 冷戦の始まり
3	20世紀の国際関係 ( 2 ) : 冷戦の終結
4	地域紛争 ( 1 ) : 歴史
5	地域紛争 ( 2 ) : 現状
6	テロリズム
7	南北問題 ( 1 ) : 格差
8	南北問題 ( 2 ) : 貧困
9	環境問題 ( 1 ) : 地球環境問題
10	環境問題 ( 2 ) : 国際協力
11	人権問題
12	国際社会の協力関係 ( 1 ) : グローバリゼーション
13	国際社会の協力関係 ( 2 ) : リージョナリゼーション
14	21世紀の国際社会と日本
15	まとめ

## 評価

レポート ( 50% )、試験 ( 50% ) で総合評価。再試験は行わない。

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】原彬久 『国際関係学講義 ( 第4版 ) 』有斐閣 2011年

【推薦書】渡邊啓貴編 『新版ヨーロッパ国際関係史』有斐閣アルマ 2008年

【参考図書】猪口孝 編 『国際関係リーディングズ』東洋書林 2004年

東大作 『平和構築 - アフガン、東ティモールの現場から』 岩波新書 2009年

科目名	株式投資入門		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

1, 2年次に学習した経済学、会計学、経営学の知識を統合して株式投資などを実践する科目である。

#### 科目の概要

1980年代以降、アメリカを中心に発展してきた金融工学について理解することをねらいとする。特に、株式投資、債券投資、住宅ローンなどの金融商品の特徴とリスクについて学習する。また、東京証券取引所の株式学習ゲームなどを体験する。

#### 学修目標

金融商品の概念を理解する。

#### 内容

1	ガイダンス
2	ファイナンスとは何か
3	財務分析
4	企業分析
5	金融商品 1 : 住宅ローン
6	金融商品 2 : 投資信託
7	外国為替取引 1
8	外国為替取引 2
9	株式投資シュミレーション 1
10	株式投資シュミレーション 2
11	株式投資シュミレーション 3
12	デリバティブ取引 1 : 先物取引
13	デリバティブ取引 2 : オプション取引
14	デリバティブ取引 3 : スワップ取引
15	まとめ

#### 評価

毎回の課題 ( 60% )、最終課題 ( 40% )

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業中に指示する。

科目名	情報社会論		
担当教員名	岡本 泰次		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

情報通信技術とその活用分野の発展が、人々の社会生活に様々な変化をもたらしています。

本講義では、具体的な事例によって情報活用の現状を紹介し、情報技術の仕組みと利用手段についても紹介します。また、情報化がもたらす良い面と悪い面、可能性と課題について整理し、社会とビジネスの方向性について考えます。グループ討議などにより、学生どうしの意見交換も実施する予定です。

本講義の目標は、次の3点です。

- 1) 情報化がもたらす社会生活への影響について理解する。
- 2) 情報社会の方向性について自分で考える力を養う。
- 3) 自分自身が情報社会とどのように関わるかを考え、自分自身の行動に役立てる。

## 内容

1	オリエンテーション
2	情報の歴史
3	情報の取り扱い
4	個人の情報活用：日常生活
5	個人の情報活用：人間関係
6	個人の情報活用：公的サービス
7	企業の情報活用
8	ネットワークサービス技術
9	システムの開発と運用
10	世界中の情報の整理 ( Google )
11	情報社会とビジネス
12	人々の知恵：集合知
13	情報化される個人
14	情報社会の光と影
15	まとめ

## 評価

学習目標に関するレポートなど提出物(100点)により評価する。60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【テキスト】講義資料をPDFなど電子資料で提供します。

【参考図書】総務省『情報通信白書for kids』( [http://www.soumu.go.jp/joho\\_tsusin/kids/index.html](http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/kids/index.html) )

梅田望夫『ウェブ進化論』( ちくま書房 )

坪田知己 『2030年メディアのかたち』（講談社）

科目名	情報社会論		
担当教員名	岡本 泰次		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

情報通信技術とその活用分野の発展が、人々の社会生活に様々な変化をもたらしています。

本講義では、具体的な事例によって情報活用の現状を紹介し、情報技術の仕組みと利用手段についても紹介します。また、情報化がもたらす良い面と悪い面、可能性と課題について整理し、社会とビジネスの方向性について考えます。グループ討議などにより、学生どうしの意見交換も実施する予定です。

本講義の目標は、次の3点です。

- 1) 情報化がもたらす社会生活への影響について理解する。
- 2) 情報社会の方向性について自分で考える力を養う。
- 3) 自分自身が情報社会とどのように関わるかを考え、自分自身の行動に役立てる。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	情報の歴史
3	情報の取り扱い
4	個人の情報活用：日常生活
5	個人の情報活用：人間関係
6	個人の情報活用：公的サービス
7	企業の情報活用
8	ネットワークサービス技術
9	システムの開発と運用
10	世界中の情報の整理 (Google)
11	情報社会とビジネス
12	人々の知恵：集合知
13	情報化される個人
14	情報社会の光と影
15	まとめ

#### 評価

学習目標に関するレポートなど提出物(100点)により評価する。60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【テキスト】講義資料をPDFなど電子資料で提供します。

【参考図書】総務省『情報通信白書for kids』 ([http://www.soumu.go.jp/joho\\_tsusin/kids/index.html](http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/kids/index.html))

梅田望夫『ウェブ進化論』(ちくま書房)

坪田知己 『2030年メディアのかたち』（講談社）

科目名	企業と情報		
担当教員名	長坂 敏史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

ERP ( 統合基幹情報システム ) パッケージソフトの世界標準となっている SAP 社、ならびに、SAP-R/3 の有力テンプレートであるリアルモデルを用いて行われる経営シミュレーション演習。演習 では「リアルモデルアカデミー初級」として、R/3 を実際に操作することによりERP を学ぶとともに、企業における仕事の実務というものを知る。そして、R/3 の運用により、取引の入力から貸借対照表や損益計算書が作成されるまでのプロセスを知ることにより、ビジネスの流れと簿記会計の関連性を理解する。この演習は、R/3 が実際企業で使用されているのと同環境のもとで行なわれ、世界の先駆的実践経営シミュレーション演習である。受講者には初歩的な簿記、会計の知識が要求される。

#### 内容

1	SAP-R3 を用いてERP ( 統合基幹情報システム ) に関する概要理解
2	R3 の操作演習 ( 1 ) : 基礎
3	R3 の操作演習 ( 2 ) : 実践
4	財務管理 ( FI ) モジュールを使用し、各種会計取引の入力 ( 1 )
5	財務管理 ( FI ) モジュールを使用し、各種会計取引の入力 ( 2 )
6	財務管理 ( FI ) モジュールを使用し、各種会計取引の入力 ( 3 )
7	財務管理 ( FI ) モジュールを使用し、各種会計取引の検索 ( 1 )
8	財務管理 ( FI ) モジュールを使用し、各種会計取引の検索 ( 2 )
9	英文による上記会計処理演習 ( 1 )
10	英文による上記会計処理演習 ( 2 )
11	損益計算書, 貸借対照表の作成 ( 1 )
12	損益計算書, 貸借対照表の作成 ( 2 )
13	R/3 先進導入企業の事例研究 ( 1 )
14	R/3 先進導入企業の事例研究 ( 2 )
15	まとめ

#### 評価

評価方法は、授業への参加態度 ( 30 点 )、毎回の演習問題の提出 ( 20 点 )、期末試験 ( 50 点 ) による総合的な評価とし、60 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業の中でレジュメ、並びに、参考資料を配布する。

科目名	企業と情報		
担当教員名	長坂 敏史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

ERP ( 統合基幹情報システム ) パッケージソフトの世界標準となっている SAP 社、ならびに、SAP-R/3 の有力テンプレートであるリアルモデルを用いて行われる経営シミュレーション演習。演習 では「リアルモデルアカデミー初級」として、R/3 を実際に操作することにより ERP を学ぶとともに、企業における仕事の実務というものを知る。そして、R/3 の運用により、取引の入力から貸借対照表や損益計算書が作成されるまでのプロセスを知ることにより、ビジネスの流れと簿記会計の関連性を理解する。この演習は、R/3 が実際企業で使用されているのと同じ環境のもとで行なわれ、世界の先駆的実践経営シミュレーション演習である。受講者には初歩的な簿記、会計の知識が要求される。

#### 内容

1	SAP-R3 を用いて ERP ( 統合基幹情報システム ) に関する概要理解
2	R3 の操作演習 ( 1 ) : 基礎
3	R3 の操作演習 ( 2 ) : 実践
4	財務管理 ( FI ) モジュールを使用し、各種会計取引の入力 ( 1 )
5	財務管理 ( FI ) モジュールを使用し、各種会計取引の入力 ( 2 )
6	財務管理 ( FI ) モジュールを使用し、各種会計取引の入力 ( 3 )
7	財務管理 ( FI ) モジュールを使用し、各種会計取引の検索 ( 1 )
8	財務管理 ( FI ) モジュールを使用し、各種会計取引の検索 ( 2 )
9	英文による上記会計処理演習 ( 1 )
10	英文による上記会計処理演習 ( 2 )
11	損益計算書, 貸借対照表の作成 ( 1 )
12	損益計算書, 貸借対照表の作成 ( 2 )
13	R/3 先進導入企業の事例研究 ( 1 )
14	R/3 先進導入企業の事例研究 ( 2 )
15	まとめ

#### 評価

評価方法は、授業への参加態度 ( 30 点 )、毎回の演習問題の提出 ( 20 点 )、期末試験 ( 50 点 ) による総合的な評価とし、60 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業の中でレジュメ、並びに、参考資料を配布する。

科目名	会計情報システム		
担当教員名	長坂 敏史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

ERP ( 統合基幹情報システム ) パッケージソフトの世界標準となっている SAP 社、ならびに、SAP-R/3 の有力テンプレートであるリアルモデルを用いて行われる経営シミュレーション演習。演習 では「リアルモデルアカデミー初級」として、R/3 を実際に操作することにより ERP を学ぶとともに、企業における仕事の実務というものを知る。そして、R/3 の運用により、取引の入力から貸借対照表や損益計算書が作成されるまでのプロセスを知ることにより、ビジネスの流れと簿記会計の関連性を理解する。この演習は、R/3 が実際企業で使用されているのと同じ環境のもとで行なわれ、世界の先駆的実践経営シミュレーション演習である。受講者には初歩的な簿記、会計の知識が要求される。

#### 内容

1	SAP-R3 を用いて ERP ( 統合基幹情報システム ) に関する概要理解
2	R3 の操作演習 ( 1 ) : 基礎
3	R3 の操作演習 ( 2 ) : 実践
4	財務管理 ( FI ) モジュールを使用し、各種会計取引の入力 ( 1 )
5	財務管理 ( FI ) モジュールを使用し、各種会計取引の入力 ( 2 )
6	財務管理 ( FI ) モジュールを使用し、各種会計取引の入力 ( 3 )
7	財務管理 ( FI ) モジュールを使用し、各種会計取引の検索 ( 1 )
8	財務管理 ( FI ) モジュールを使用し、各種会計取引の検索 ( 2 )
9	英文による上記会計処理演習 ( 1 )
10	英文による上記会計処理演習 ( 2 )
11	損益計算書, 貸借対照表の作成 ( 1 )
12	損益計算書, 貸借対照表の作成 ( 2 )
13	R/3 先進導入企業の事例研究 ( 1 )
14	R/3 先進導入企業の事例研究 ( 2 )
15	まとめ

#### 評価

評価方法は、授業への参加態度 ( 30 点 )、毎回の演習問題の提出 ( 20 点 )、期末試験 ( 50 点 ) による総合的な評価とし、60 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業の中でレジュメ、並びに、参考資料を配布する。

科目名	インターネットビジネス		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

ビジネス情報コースの専門必修科目である。

科目の概要

インターネット上での様々な経済取引が拡大している。そこで、本講義では、インターネット上での取引に関する問題を幅広く取り上げることとする。インターネットの仕組みや歴史からスタートさせ、インフラ系の事業からインターネット上のショッピング、そして企業間取引までの問題を幅広く扱う。また、インターネットを巡る諸問題についても扱う。

学修目標

インターネットに関わるビジネスモデルについて理解する。

内容

- 1．インターネットの歴史と仕組み
- 2．情報通信産業の規制緩和
- 3．認証システムと暗号化
- 4．ユビキタス社会
- 5．6．SNSと無料通話アプリケーション
- 7．8．検索サイト
- 9．インターネットのショッピングサイト
- 10．情報公開とインターネット
- 11．インターネットと政府の政策
- 12．通信と放送の融合
- 13．携帯電話、スマートフォン、タブレット端末
- 14．コンテンツ産業
- 15．まとめ

評価

毎回の課題 ( 30% )、最終のレポート ( 70% )

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業中に指示する。

科目名	調査と統計		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

変化の激しい現代社会においてはデータの迅速かつ的確な分析によって意思決定を行う必要性が高まっている。本科目においては、社会調査において必要とされるデータ解析の基礎知識とExcelによる分析手法を学習する。推測統計の基本である正規分布の特徴、相関回帰、推定と検定の考え方について理解し、これらに関する問題をExcelを利用して解く事ができる技術を身につける。

#### 内容

- 1 データの概念・記述統計と推測統計
- 2 分散と標準偏差
- 3 度数分布と正規分布
- 4 正規分布の基本
- 5 正規分布の応用
- 6 相関関係と散布図
- 7 相関と回帰
- 8 単回帰分析
- 9 相関・回帰の応用
- 10 推定と検定の基礎：帰無仮説とは
- 11 区間推定(1)
- 12 区間推定(2)
- 13 仮説検定(1)
- 14 応用課題
- 15 復習・まとめ

#### 評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1 . 通常授業における課題提出 ( 30% )
- 2 . 最終課題の達成度 ( 70% )

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】特に使用しない 必要に応じて授業時に配布する

【推薦書】『統計学入門』東京大学教養学部統計学教室編 ( 東京大学出版会 ) 417/T/1

科目名	調査と統計		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

変化の激しい現代社会においてはデータの迅速かつ的確な分析によって意思決定を行う必要性が高まっている。本科目においては、社会調査において必要とされるデータ解析の基礎知識とExcelによる分析手法を学習する。推測統計の基本である正規分布の特徴、相関回帰、推定と検定の考え方について理解し、これらに関する問題をExcelを利用して解く事ができる技術を身につける。

#### 内容

- 1 データの概念・記述統計と推測統計
- 2 分散と標準偏差
- 3 度数分布と正規分布
- 4 正規分布の基本
- 5 正規分布の応用
- 6 相関関係と散布図
- 7 相関と回帰
- 8 単回帰分析
- 9 相関・回帰の応用
- 10 推定と検定の基礎：帰無仮説とは
- 11 区間推定(1)
- 12 区間推定(2)
- 13 仮説検定(1)
- 14 応用課題
- 15 復習・まとめ

#### 評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1 . 通常授業における課題提出 ( 30% )
- 2 . 最終課題の達成度 ( 70% )

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】特に使用しない 必要に応じて授業時に配布する

【推薦書】『統計学入門』東京大学教養学部統計学教室編 ( 東京大学出版会 ) 417/T/1

科目名	調査と統計		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修 *
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

変化の激しい現代社会においてはデータの迅速かつ的確な分析によって意思決定を行う必要性が高まっている。本科目においては、社会調査において必要とされるデータ解析の基礎知識とExcelによる分析手法を学習する。推測統計の基本である正規分布の特徴、相関回帰、推定と検定の考え方について理解し、これらに関する問題をExcelを利用して解く事ができる技術を身につける。

#### 内容

- 1 データの概念・記述統計と推測統計
- 2 分散と標準偏差
- 3 度数分布と正規分布
- 4 正規分布の基本
- 5 正規分布の応用
- 6 相関関係と散布図
- 7 相関と回帰
- 8 単回帰分析
- 9 相関・回帰の応用
- 10 推定と検定の基礎：帰無仮説とは
- 11 区間推定(1)
- 12 区間推定(2)
- 13 仮説検定(1)
- 14 応用課題
- 15 復習・まとめ

#### 評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1 . 通常授業における課題提出 ( 30% )
- 2 . 最終課題の達成度 ( 70% )

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】特に使用しない 必要に応じて授業時に配布する

【推薦書】『統計学入門』東京大学教養学部統計学教室編 ( 東京大学出版会 ) 417/T/1

科目名	社会調査法（量的調査）		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

本科目では、社会調査（量的調査）の分析に必要な統計解析手法を学ぶ。「仮説検定」ならびに「分散分析」の手法について、Excel ならびにSPSSを用いた演習を通して学習する。

アンケート調査の結果について、応用的なデータ分析ができる能力を身につけることを目標としている。

#### 内容

1. アンケートデータの特徴
2. 二乗検定（1）適合度の検定
3. 二乗検定（2）独立性の検定
4. 二乗検定の応用問題・SPSSの利用法
5. 平均の差の検定について・t分布とF分布
6. 2群の母平均の差の検定（1）等分散を仮定したt検定
7. 2群の母平均の差の検定（2）分散が異なる場合を仮定したt検定
8. 対応のあるデータの差のt検定
9. t検定の応用問題
10. 分散分析（一元配置）
11. 分散分析（繰り返しのない二元配置）
12. 分散分析の応用問題
13. 総合問題（1）
14. 総合問題（2）
15. まとめ

#### 評価

評価は、以下の2点を総合して行う

1. 授業における課題提出（30%）
2. 最終課題の達成度（70%）

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に使用しない 必要に応じて授業時に資料を配布

科目名	社会調査法（量的調査）		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

本科目では、社会調査（量的調査）の分析に必要な統計解析手法を学ぶ。「仮説検定」ならびに「分散分析」の手法について、Excel ならびにSPSSを用いた演習を通して学習する。

アンケート調査の結果について、応用的なデータ分析ができる能力を身につけることを目標としている。

#### 内容

1. アンケートデータの特徴
2. 二乗検定（1）適合度の検定
3. 二乗検定（2）独立性の検定
4. 二乗検定の応用問題・SPSSの利用法
5. 平均の差の検定について・t分布とF分布
6. 2群の母平均の差の検定（1）等分散を仮定したt検定
7. 2群の母平均の差の検定（2）分散が異なる場合を仮定したt検定
8. 対応のあるデータの差のt検定
9. t検定の応用問題
10. 分散分析（一元配置）
11. 分散分析（繰り返しのない二元配置）
12. 分散分析の応用問題
13. 総合問題（1）
14. 総合問題（2）
15. まとめ

#### 評価

評価は、以下の2点を総合して行う

1. 授業における課題提出（30%）
2. 最終課題の達成度（70%）

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に使用しない 必要に応じて授業時に資料を配布

科目名	社会調査法（質的調査）		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

社会調査には統計処理を前提としてデータを扱う量的調査と、事例データを社会的文脈に即して分析する質的調査の2つのタイプがある。この授業では、ドキュメント分析、インタビュー調査、非参与観察、参与観察といった質的調査の技法を学ぶ。それぞれの単元毎に課題提出があり（自分史の分析、インタビュー調査の設計、タウンウォッチングの設計、参与観察の設計）、学期末には、実際にいずれかの方法で質的調査を実施した結果をレポートにして提出する。

## 内容

1	はじめに（質的調査の基本的性格）
2	ドキュメント分析1：公的記録の分析（広報や新聞など）
3	ドキュメント分析2：私的記録の分析（日記・ブログ、手紙・電子掲示板など）
4	ドキュメント分析3：私的記録の分析（自分史の分析）
5	インタビュー調査1：インタビューの種類（構造化面接と非構造化面接）
6	インタビュー調査2：インタビュー調査の事例1（ライフヒストリー）
7	インタビュー調査3：インタビュー調査の事例2（フォーカス・グループ・インタビュー）
8	インタビュー調査4：インタビュー調査の設計
9	非参与観察1：非参与観察の事例（タウンウォッチング）
10	非参与観察2：非参与観察の設計（タウンウォッチングの計画）
11	参与観察1：参与観察の事例（ホワイト『ストリート・コーナー・ソサエティ』）
12	参与観察2：参与観察の技法（フィールドノーツの書き方）
13	参与観察3：参与観察の設計（イベント参加やボランティア体験など）
14	質的調査と倫理
15	総括

## 評価

授業時の課題提出（40%）と学期末のレポート（60%）で評価する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 【参考図書】

桜井 厚『インタビューの社会学』せりか書房、2002年。

W.I.トマス/F.ズナニエツキ『生活史の社会学』桜井 厚訳、御茶の水書房、1983年。

中野 卓『口述の生活史』御茶の水書房、1977年。

W.F.ホワイト『ストリート・コーナー・ソサエティ』寺谷弘士訳、垣内出版、1979年。

佐藤郁哉『フィールドワーク』新曜社、1992年。

科目名	社会調査法（質的調査）		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

社会調査には統計処理を前提としてデータを扱う量的調査と、事例データを社会的文脈に即して分析する質的調査の2つのタイプがある。この授業では、ドキュメント分析、インタビュー調査、非参与観察、参与観察といった質的調査の技法を学ぶ。それぞれの単元毎に課題提出があり（自分史の分析、インタビュー調査の設計、タウンウォッチングの設計、参与観察の設計）、学期末には、実際にいずれかの方法で質的調査を実施した結果をレポートにして提出する。

内容

1	はじめに（質的調査の基本的性格）
2	ドキュメント分析1：公的記録の分析（広報や新聞など）
3	ドキュメント分析2：私的記録の分析（日記・ブログ、手紙・電子掲示板など）
4	ドキュメント分析3：私的記録の分析（自分史の分析）
5	インタビュー調査1：インタビューの種類（構造化面接と非構造化面接）
6	インタビュー調査2：インタビュー調査の事例1（ライフヒストリー）
7	インタビュー調査3：インタビュー調査の事例2（フォーカス・グループ・インタビュー）
8	インタビュー調査4：インタビュー調査の設計
9	非参与観察1：非参与観察の事例（タウンウォッチング）
10	非参与観察2：非参与観察の設計（タウンウォッチングの計画）
11	参与観察1：参与観察の事例（ホワイト『ストリート・コーナー・ソサエティ』）
12	参与観察2：参与観察の技法（フィールドノーツの書き方）
13	参与観察3：参与観察の設計（イベント参加やボランティア体験など）
14	質的調査と倫理
15	総括

評価

授業時の課題提出（40%）と学期末のレポート（60%）で評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【参考図書】

桜井 厚『インタビューの社会学』せりか書房、2002年。

W.I.トマス/F.ズナニエツキ『生活史の社会学』桜井 厚訳、御茶の水書房、1983年。

中野 卓『口述の生活史』御茶の水書房、1977年。

W.F.ホワイト『ストリート・コーナー・ソサエティ』寺谷弘士訳、垣内出版、1979年。

佐藤郁哉『フィールドワーク』新曜社、1992年。

科目名	マーケティングリサーチ		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、世界的に多様な分野において利用されている統計パッケージSPSSを用いて、実践的なマーケティングリサーチの手法について学ぶことを目的としている。マーケティングリサーチの手順と方法について知ると共に、調査票の作成、調査の実施、データ分析、発表の一連の作業について実習を行い、実践力を身につける。

#### 内容

- 1 マーケティングリサーチとはなにか
- 2 リサーチプロセスと課題の発見
- 3 リサーチデザインとデータ収集
- 4 質問紙の作成 ( 1 ) 技法
- 5 質問紙の作成 ( 2 ) 演習 1
- 6 質問紙の作成 ( 3 ) 演習 2
- 7 調査の実施とデータ入力
- 8 SPSSによる調査データ処理
- 9 SPSS による調査データ分析 ( 1 ) 基本統計
- 10 SPSS による調査データ分析 ( 2 ) 検定・分散分析
- 11 SPSS による調査データ分析 ( 3 ) 回帰分析・因子分析
- 12 グラフ作成技法
- 13 プレゼンテーション作成技法 ( 1 )
- 14 プレゼンテーション作成技法 ( 2 )
- 15 課題発表

#### 評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1 . 通常授業における課題提出 ( 30% )
- 2 . 最終課題の達成度 ( 70% )

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

- 【参考図書】 『『MBAマーケティングリサーチ入門』高田博和 他 著 ( 東洋経済新報社 )  
『SPSS でやさしく学ぶ統計解析』室・石村著 ( 東京書籍 ) 417/M

科目名	パソコン活用		
担当教員名	泉 直子、栗原 隆史、田倉 昭、小野 裕次郎 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

日常的に現れるIT関連のハードウェア、ソフトウェアについて演習を中心に学ぶ授業であり、IT関連の授業の最も基礎的な授業である。

各教員が2コマ連続で各種のソフトウェアの利用を通して、IT関連の基礎を教える。フリーのソフトウェアも多く利用し、演習を中心に進める授業である。

今日、日常生活でも複雑なIT関連機器が多く利用され、日進月歩新しくなっている。これらIT関連機器やソフトウェアについて、実際に利用して基本的なことを学び、IT関連の用語、日常的に利用するIT関連の各種のハードウェア、ソフトウェアの機能を理解するとともに、それらのさまざまな違いや、活用の仕方について学ぶ。

日常的に使われているIT機器やソフトウェアについて基本的なことを理解し、各自がよりよい活用の仕方を利用することができるようにする。

#### 内容

各種ソフトウェアの利用を通して日常的に現れるIT関連用語、機能、IT機器の利用方法について学ぶ。

1	全教員による概要説明
2	泉 簡単なアニメーションの作成、と関連する色彩、画像、についての表現について
3	泉 続き
4	小野 データCD, ディスクイメージ、CD・DVDバックアップディスクの作成
5	小野 続き
6	川瀬 フリーソフトを活用したデジカメ写真の画像加工
7	川瀬 続き
8	新行内 USBメモリの活用
9	新行内 続き
10	田倉 文字、画像、音声、動画の編集・変換
11	田倉 続き
12	栗原 サウンドデータの編集
13	栗原 続き
14	中尾 Windows の仕組みを理解し、そのうまい活用の仕方を学ぶ
15	中尾 続き

#### 評価

平常点30点、各教員の2回の授業に対する課題評価10点の合計とし、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

必要があれば、授業開始時に指定する。

科目名	パソコン活用		
担当教員名	泉 直子、栗原 隆史、田倉 昭、小野 裕次郎 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

日常的に現れるIT関連のハードウェア、ソフトウェアについて演習を中心に学ぶ授業であり、IT関連の授業の最も基礎的な授業である。

各教員が2コマ連続で各種のソフトウェアの利用を通して、IT関連の基礎を教える。フリーのソフトウェアも多く利用し、演習を中心に進める授業である。

今日、日常生活でも複雑なIT関連機器が多く利用され、日進月歩新しくなっている。これらIT関連機器やソフトウェアについて、実際に利用して基本的なことを学び、IT関連の用語、日常的に利用するIT関連の各種のハードウェア、ソフトウェアの機能を理解するとともに、それらのさまざまな違いや、活用の仕方について学ぶ。

日常的に使われているIT機器やソフトウェアについて基本的なことを理解し、各自がよりよい活用の仕方を利用することができるようにする。

#### 内容

各種ソフトウェアの利用を通して日常的に現れるIT関連用語、機能、IT機器の利用方法について学ぶ。

1	全教員による概要説明
2	泉 簡単なアニメーションの作成、と関連する色彩、画像、についての表現について
3	泉 続き
4	小野 データCD, ディスクイメージ、CD・DVDバックアップディスクの作成
5	小野 続き
6	川瀬 フリーソフトを活用したデジカメ写真の画像加工
7	川瀬 続き
8	新行内 USBメモリの活用
9	新行内 続き
10	田倉 文字、画像、音声、動画の編集・変換
11	田倉 続き
12	栗原 サウンドデータの編集
13	栗原 続き
14	中尾 Windows の仕組みを理解し、そのうまい活用の仕方を学ぶ
15	中尾 続き

#### 評価

平常点30点、各教員の2回の授業に対する課題評価10点の合計とし、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

必要があれば、授業開始時に指定する。

科目名	パソコン活用		
担当教員名	泉 直子、栗原 隆史、田倉 昭、小野 裕次郎 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

日常的に現れるIT関連のハードウェア、ソフトウェアについて演習を中心に学ぶ授業であり、IT関連の授業の最も基礎的な授業である。

各教員が2コマ連続で各種のソフトウェアの利用を通して、IT関連の基礎を教える。フリーのソフトウェアも多く利用し、演習を中心に進める授業である。

今日、日常生活でも複雑なIT関連機器が多く利用され、日進月歩新しくなっている。これらIT関連機器やソフトウェアについて、実際に利用して基本的なことを学び、IT関連の用語、日常的に利用するIT関連の各種のハードウェア、ソフトウェアの機能を理解するとともに、それらのさまざまな違いや、活用の仕方について学ぶ。

日常的に使われているIT機器やソフトウェアについて基本的なことを理解し、各自がよりよい活用の仕方を利用することができるようにする。

#### 内容

各種ソフトウェアの利用を通して日常的に現れるIT関連用語、機能、IT機器の利用方法について学ぶ。

1	全教員による概要説明
2	泉 簡単なアニメーションの作成、と関連する色彩、画像、についての表現について
3	泉 続き
4	小野 データCD, ディスクイメージ、CD・DVDバックアップディスクの作成
5	小野 続き
6	川瀬 フリーソフトを活用したデジカメ写真の画像加工
7	川瀬 続き
8	新行内 USBメモリの活用
9	新行内 続き
10	田倉 文字、画像、音声、動画の編集・変換
11	田倉 続き
12	栗原 サウンドデータの編集
13	栗原 続き
14	中尾 Windows の仕組みを理解し、そのうまい活用の仕方を学ぶ
15	中尾 続き

#### 評価

平常点30点、各教員の2回の授業に対する課題評価10点の合計とし、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

必要があれば、授業開始時に指定する。

科目名	パソコン活用		
担当教員名	泉 直子、栗原 隆史、田倉 昭、小野 裕次郎 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

日常的に現れるIT関連のハードウェア、ソフトウェアについて演習を中心に学ぶ授業であり、IT関連の授業の最も基礎的な授業である。

各教員が2コマ連続で各種のソフトウェアの利用を通して、IT関連の基礎を教える。フリーのソフトウェアも多く利用し、演習を中心に進める授業である。

今日、日常生活でも複雑なIT関連機器が多く利用され、日進月歩新しくなっている。これらIT関連機器やソフトウェアについて、実際に利用して基本的なことを学び、IT関連の用語、日常的に利用するIT関連の各種のハードウェア、ソフトウェアの機能を理解するとともに、それらのさまざまな違いや、活用の仕方について学ぶ。

日常的に使われているIT機器やソフトウェアについて基本的なことを理解し、各自がよりよい活用の仕方を利用することができるようにする。

#### 内容

各種ソフトウェアの利用を通して日常的に現れるIT関連用語、機能、IT機器の利用方法について学ぶ。

1	全教員による概要説明
2	田倉 文字、画像、音声、動画の編集・変換
3	田倉 続き
4	中尾 Microsoft Officeの機能 ( シェイプアート ) による図形描写
5	中尾 続き
6	栗原 フリーソフトを活用したデジカメ写真の画像加工
7	栗原 続き
8	泉 簡単なアニメーションの作成、と関連する色彩、画像、についての表現について
9	泉 続き
10	小野 データCD, ディスクイメージ、CD・DVDバックアップディスクの作成
11	小野 続き
12	中尾 Windowsの仕組みを理解しそのうまい活用の仕方を学ぶ
13	中尾 続き
14	新行内 Microsoft Publisherによるコンテンツ作成
15	新行内 続き

#### 評価

平常点30点、各教員の2回の授業に対する課題評価10点の合計とし、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

必要があれば、授業開始時に指定する。

科目名	ビジネス文書作成		
担当教員名	平野 貴大		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 家庭 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、生活情報学科専門科目の科目区分「Dビジネスで情報を生かす」に含まれる選択科目であり、日商PC検定文書作成またはMOS(Microsoft Office Specialist)Wordの資格試験の合格をめざす。

#### 科目の概要

Wordの基本的な機能の使い方については、共通科目の情報処理演習で習得済みであることから、本演習では、Wordを用いてビジネス文書の書き方や実践的な高度なWord機能の使い方など総合的なスキルを習得することを目標とする。問題練習の実習を繰り返して行うことにより、ビジネス文書を効率的に作成できる技法を身につける。

#### 学修目標

ビジネス文書の書き方を理解する。

Word機能を利用して実践的な各種ビジネス文書を作成することができる。

資格試験合格に必要なスキルと知識を習得する。

#### 内容

1	通知状の作成(1)
2	通知状の作成(2)
3	案内状の作成(1)
4	案内状の作成(2)
5	挨拶状の作成
6	見積書の作成
7	納品書の作成
8	旅費精算書の作成
9	PC検定の模擬問題(文書作成と知識問題)の取り組み
10	会議議事録の作成
11	報告書の作成
12	社内報の作成
13	企画書の作成
14	MOSの模擬問題の取り組み
15	まとめ

#### 評価

毎回の課題の提出状況(60点)と完成度(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業開始時に指示する。

科目名	ビジネス文書作成		
担当教員名	平野 貴大		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 家庭 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、生活情報学科専門科目の科目区分「Dビジネスで情報を生かす」に含まれる選択科目であり、日商PC検定文書作成またはMOS(Microsoft Office Specialist)Wordの資格試験の合格をめざす。

#### 科目の概要

Wordの基本的な機能の使い方については、共通科目の情報処理演習で習得済みであることから、本演習では、Wordを用いてビジネス文書の書き方や実践的な高度なWord機能の使い方など総合的なスキルを習得することを目標とする。問題練習の実習を繰り返して行うことにより、ビジネス文書を効率的に作成できる技法を身につける。

#### 学修目標

ビジネス文書の書き方を理解する。

Word機能を利用して実践的な各種ビジネス文書を作成することができる。

資格試験合格に必要なスキルと知識を習得する。

#### 内容

1	通知状の作成(1)
2	通知状の作成(2)
3	案内状の作成(1)
4	案内状の作成(2)
5	挨拶状の作成
6	見積書の作成
7	納品書の作成
8	旅費精算書の作成
9	PC検定の模擬問題(文書作成と知識問題)の取り組み
10	会議議事録の作成
11	報告書の作成
12	社内報の作成
13	企画書の作成
14	MOSの模擬問題の取り組み
15	まとめ

#### 評価

毎回の課題の提出状況(60点)と完成度(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業開始時に指示する。

科目名	ビジネス文書作成		
担当教員名	中尾 茂子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(家庭)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目は、生活情報学科専門科目の科目区分「Dビジネスで情報を生かす」に含まれる選択科目であり、日商PC検定文書作成またはMOS(Microsoft Office Specialist)Wordの資格試験の合格をめざす。

#### 科目の概要

Wordの基本的な機能の使い方については、共通科目の情報処理演習で習得済みであることから、本演習では、Wordを用いてビジネス文書の書き方や実践的な高度なWord機能の使い方など総合的なスキルを習得することを目標とする。問題練習の実習を繰り返して行うことにより、ビジネス文書を効率的に作成できる技法を身につける。

#### 学修目標

ビジネス文書の書き方を理解する。

Word機能を利用して実践的な各種ビジネス文書を作成することができる。

資格試験合格に必要なスキルと知識を習得する。

#### 内容

1	通知状の作成(1)
2	通知状の作成(2)
3	案内状の作成(1)
4	案内状の作成(2)
5	挨拶状の作成
6	見積書の作成
7	納品書の作成
8	旅費精算書の作成
9	PC検定の模擬問題(文書作成と知識問題)の取組み
10	会議議事録の作成
11	報告書の作成
12	社内報の作成
13	企画書の作成
14	MOSの模擬問題の取組み
15	まとめ

#### 評価

毎回の課題の提出状況(60点)と完成度(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業開始時に指示する。

科目名	ビジネス文書作成		
担当教員名	中尾 茂子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 家庭 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、生活情報学科専門科目の科目区分「Dビジネスで情報を生かす」に含まれる選択科目であり、日商PC検定文書作成またはMOS(Microsoft Office Specialist)Wordの資格試験の合格をめざす。

#### 科目の概要

Wordの基本的な機能の使い方については、共通科目の情報処理演習で習得済みであることから、本演習では、Wordを用いてビジネス文書の書き方や実践的な高度なWord機能の使い方など総合的なスキルを習得することを目標とする。問題練習の実習を繰り返して行うことにより、ビジネス文書を効率的に作成できる技法を身につける。

#### 学修目標

ビジネス文書の書き方を理解する。

Word機能を利用して実践的な各種ビジネス文書を作成することができる。

資格試験合格に必要なスキルと知識を習得する。

#### 内容

1	通知状の作成(1)
2	通知状の作成(2)
3	案内状の作成(1)
4	案内状の作成(2)
5	挨拶状の作成
6	見積書の作成
7	納品書の作成
8	旅費精算書の作成
9	PC検定の模擬問題(文書作成と知識問題)の取り組み
10	会議議事録の作成
11	報告書の作成
12	社内報の作成
13	企画書の作成
14	MOSの模擬問題の取り組み
15	まとめ

#### 評価

毎回の課題の提出状況(60点)と完成度(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業開始時に指示する。

科目名	データ活用		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(家庭)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目は生活情報学科専門科目の科目区分「D ビジネスで情報を生かす」に含まれる選択科目であり、日商PC検定データ活用およびMOS(Microsoft Office Specialist) Excelの資格試験の合格を目指す。

#### 科目の概要

Excelの基本的な機能の使い方については、共通科目の情報処理演習で習得済みであることから、本科目ではExcelの実践的・高度な機能の使い方や業務データの処理・分析・活用など総合的なスキルを問題演習を通して習得する。

#### 学修目標

- ・企業実務で必要とされるExcelの機能・操作方法を身に付ける
- ・業務データを用いたビジネス文書を作成する力を養う
- ・資格試験合格に必要なスキルと知識を身に付ける

#### 内容

1	オリエンテーション
2	IT利活用(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)の基礎知識(1)
3	IT利活用(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)の基礎知識(2)
4	データ活用(業務データ処理、分析、活用)の基礎知識(1)
5	データ活用(業務データ処理、分析、活用)の基礎知識(2)
6	Excel基本操作の確認(1)
7	Excel基本操作の確認(2)
8	問題演習(1)
9	問題演習(2)
10	問題演習(3)
11	問題演習(4)
12	問題演習(5)
13	問題演習(6)
14	問題演習(7)
15	まとめ

#### 評価

提出された課題(80%)と授業への取り組み(20%)により総合的に評価する。

【教科書】

富士通エフ・オー・エム 『日商PC検定試験データ活用3級完全マスター』 FOM出版

【推薦書】

- ・富士通エフ・オー・エム 『Microsoft Excel 2007完全マスター 公認テキスト』 FOM出版
- ・富士通エフ・オー・エム 『Microsoft Excel 2007完全マスター 模擬問題集』 FOM出版
- ・日本商工会議所 『ネット社会のデジタル仕事術』 廣済堂出版

科目名	データ活用		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(家庭)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目は生活情報学科専門科目の科目区分「D ビジネスで情報を生かす」に含まれる選択科目であり、日商PC検定データ活用およびMOS(Microsoft Office Specialist) Excelの資格試験の合格を目指す。

#### 科目の概要

Excelの基本的な機能の使い方については、共通科目の情報処理演習で習得済みであることから、本科目ではExcelの実践的・高度な機能の使い方や業務データの処理・分析・活用など総合的なスキルを問題演習を通して習得する。

#### 学修目標

- ・企業実務で必要とされるExcelの機能・操作方法を身に付ける
- ・業務データを用いたビジネス文書を作成する力を養う
- ・資格試験合格に必要なスキルと知識を身に付ける

#### 内容

1	オリエンテーション
2	IT利活用(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)の基礎知識(1)
3	IT利活用(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)の基礎知識(2)
4	データ活用(業務データ処理、分析、活用)の基礎知識(1)
5	データ活用(業務データ処理、分析、活用)の基礎知識(2)
6	Excel基本操作の確認(1)
7	Excel基本操作の確認(2)
8	問題演習(1)
9	問題演習(2)
10	問題演習(3)
11	問題演習(4)
12	問題演習(5)
13	問題演習(6)
14	問題演習(7)
15	まとめ

#### 評価

提出された課題(80%)と授業への取り組み(20%)により総合的に評価する。

【教科書】

富士通エフ・オー・エム 『日商PC検定試験データ活用3級完全マスター』 FOM出版

【推薦書】

- ・富士通エフ・オー・エム 『Microsoft Excel 2007完全マスター 公認テキスト』 FOM出版
- ・富士通エフ・オー・エム 『Microsoft Excel 2007完全マスター 模擬問題集』 FOM出版
- ・日本商工会議所 『ネット社会のデジタル仕事術』 廣済堂出版

科目名	データ活用		
担当教員名	平野 貴大		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(家庭)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目は生活情報学科専門科目の科目区分「D ビジネスで情報を生かす」に含まれる選択科目であり、日商PC検定データ活用およびMOS(Microsoft Office Specialist) Excelの資格試験の合格を目指す。

#### 科目の概要

Excelの基本的な機能の使い方については、共通科目の情報処理演習で習得済みであることから、本科目ではExcelの実践的・高度な機能の使い方や業務データの処理・分析・活用など総合的なスキルを問題演習を通して習得する。

#### 学修目標

- ・企業実務で必要とされるExcelの機能・操作方法を身に付ける
- ・業務データを用いたビジネス文書を作成する力を養う
- ・資格試験合格に必要なスキルと知識を身に付ける

#### 内容

1	オリエンテーション
2	IT利活用(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)の基礎知識(1)
3	IT利活用(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)の基礎知識(2)
4	データ活用(業務データ処理、分析、活用)の基礎知識(1)
5	データ活用(業務データ処理、分析、活用)の基礎知識(2)
6	Excel基本操作の確認(1)
7	Excel基本操作の確認(2)
8	問題演習(1)
9	問題演習(2)
10	問題演習(3)
11	問題演習(4)
12	問題演習(5)
13	問題演習(6)
14	問題演習(7)
15	まとめ

#### 評価

提出された課題(80%)と授業への取り組み(20%)により総合的に評価する。

【教科書】

富士通エフ・オー・エム 『日商PC検定試験データ活用3級完全マスター』 FOM出版

【推薦書】

- ・富士通エフ・オー・エム 『Microsoft Excel 2007完全マスター 公認テキスト』 FOM出版
- ・富士通エフ・オー・エム 『Microsoft Excel 2007完全マスター 模擬問題集』 FOM出版
- ・日本商工会議所 『ネット社会のデジタル仕事術』 廣済堂出版

科目名	データ活用		
担当教員名	平野 貴大		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 家庭 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は生活情報学科専門科目の科目区分「D ビジネスで情報を生かす」に含まれる選択科目であり、日商PC検定データ活用およびMOS(Microsoft Office Specialist) Excelの資格試験の合格を目指す。

#### 科目の概要

Excelの基本的な機能の使い方については、共通科目の情報処理演習で習得済みであることから、本科目ではExcelの実践的・高度な機能の使い方や業務データの処理・分析・活用など総合的なスキルを問題演習を通して習得する。

#### 学修目標

- ・企業実務で必要とされるExcelの機能・操作方法を身に付ける
- ・業務データを用いたビジネス文書を作成する力を養う
- ・資格試験合格に必要なスキルと知識を身に付ける

#### 内容

1	オリエンテーション
2	IT利活用(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)の基礎知識(1)
3	IT利活用(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)の基礎知識(2)
4	データ活用(業務データ処理、分析、活用)の基礎知識(1)
5	データ活用(業務データ処理、分析、活用)の基礎知識(2)
6	Excel基本操作の確認(1)
7	Excel基本操作の確認(2)
8	問題演習(1)
9	問題演習(2)
10	問題演習(3)
11	問題演習(4)
12	問題演習(5)
13	問題演習(6)
14	問題演習(7)
15	まとめ

#### 評価

提出された課題(80%)と授業への取り組み(20%)により総合的に評価する。

【教科書】

富士通エフ・オー・エム 『日商PC検定試験データ活用3級完全マスター』 FOM出版

【推薦書】

- ・富士通エフ・オー・エム 『Microsoft Excel 2007完全マスター 公認テキスト』 FOM出版
- ・富士通エフ・オー・エム 『Microsoft Excel 2007完全マスター 模擬問題集』 FOM出版
- ・日本商工会議所 『ネット社会のデジタル仕事術』 廣済堂出版

科目名	ビジネスデータ活用基礎		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は生活情報学科 Dビジネスで情報を生かす 分野の専門科目である。表計算ソフトを使う時に有効なマクロ機能及びマクロ利用の考え方を習得する

表計算ソフトのマクロとして、プログラミング技術を利用した汎用性の高いマクロとして、VBA(Visual Basic for Applications)を学ぶことにより、頻繁に使う機能を表計算ソフトに登録し、必要な時にそれを呼び出し実行できるマクロ機能について理解する。VBAの実習問題に取り組むことにより、初心者がプログラミング言語の基礎的な構文、文法に慣れることができる。

VBEを使いVBAのマクロ言語を編集することができる。

記録マクロに登録することができる。

イベント駆動型のプログラミング言語の考え方を理解し、さまざまなコントロールマクロに登録することができる。

内容

1	表計算ソフト Excelの復習 関数テクニック 1
2	表計算ソフト Excel の復習 関数テクニック 2
3	表計算ソフトExcel の復習 関数テクニック 3
4	VBAの基礎
5	マクロの記録と修正 (マクロボタン作成、セルの色分け)
6	繰り返しによる自動化と抽出条件の記述 1
7	繰り返しによる自動化と抽出条件の記述 2
8	応用問題 演習
9	コマンドボタン、スピントタン、ラベルの作成
10	テキストボックス、チェックボックスの利用、
11	リストボックス、コンボボックス、スクロールバー、とグルボタンの作成
12	さまざまなコントロールマクロの応用演習 1
13	さまざまなコントロールマクロの応用演習 2
14	総合演習
15	まとめ

評価

平常授業の態度の評価30点と各回の提出物の評価70点を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )



科目名	ビジネスデータ活用基礎		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は生活情報学科 Dビジネスで情報を生かす 分野の専門科目である。表計算ソフトを使う時に有効なマクロ機能及びマクロ利用の考え方を習得する

表計算ソフトのマクロとして、プログラミング技術を利用した汎用性の高いマクロとして、VBA(Visual Basic for Applications)を学ぶことにより、頻繁に使う機能を表計算ソフトに登録し、必要な時にそれを呼び出し実行できるマクロ機能について理解する。VBAの実習問題に取り組むことにより、初心者がプログラミング言語の基礎的な構文、文法に慣れることができる。

VBEを使いVBAのマクロ言語を編集することができる。

記録マクロに登録することができる。

イベント駆動型のプログラミング言語の考え方を理解し、さまざまなコントロールマクロに登録することができる。

内容

1	表計算ソフト Excelの復習 関数テクニック 1
2	表計算ソフト Excel の復習 関数テクニック 2
3	表計算ソフトExcel の復習 関数テクニック 3
4	VBAの基礎
5	マクロの記録と修正 (マクロボタン作成、セルの色分け)
6	繰り返しによる自動化と抽出条件の記述 1
7	繰り返しによる自動化と抽出条件の記述 2
8	応用問題 演習
9	コマンドボタン、スピントーン、ラベルの作成
10	テキストボックス、チェックボックスの利用、
11	リストボックス、コンボボックス、スクロールバー、とグルボタンの作成
12	さまざまなコントロールマクロの応用演習 1
13	さまざまなコントロールマクロの応用演習 2
14	総合演習
15	まとめ

評価

平常授業の態度の評価30点と各回の提出物の評価70点を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )



科目名	ビジネスデータ活用応用		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

ネットワークを介したデータ処理システムを理解することを目標とする。データベース入門、基礎、ホームページ関連の授業を受講していることが望ましい。

実社会で使われているシステムに即し、実用的なシステムの構築を学ぶ。今までに学んできたプログラミング言語、HTML、SQL言語を総合的に利用し、ホームページでのデータ操作について学ぶ授業である。

ネットワークを介して、ホームページから、Excel ファイルやデータベースにファイルへのデータ操作できるシステムを開発し、ネットワークを介したデータ処理の仕組みを理解することを目標とする。

#### 内容

1	オリエンテーション ( ネットワークを介したデータ処理について )
2	PHP開発環境について
3	変数、簡単な関数 ( 文字列関数、日付関数 )
4	条件分岐 繰り返し構文 1
5	条件分岐、繰り返し構文 2
6	配列操作
7	フォームとメール操作 1
8	フォームとメール操作 2
9	アンケートフォームとCSVファイル作成 1
10	アンケートフォームとCSVファイル作成 2
11	データベースとSQL操作
12	WebでのSQL言語によるデータベース操作 1
13	WebでのSQL言語によるデータベース操作 2
14	課題 ショッピングカートシステム作成 1
15	課題 ショッピングカートシステム作成 2

#### 評価

授業中に出す課題 60%とまとめの課題 40%の合計で評価し、60%以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業開始時に指定する。

科目名	ビジネスデータ活用応用		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

ネットワークを介したデータ処理システムを理解することを目標とする。データベース入門、基礎、ホームページ関連の授業を受講していることが望ましい。

実社会で使われているシステムに即し、実用的なシステムの構築を学ぶ。今までに学んできたプログラミング言語、HTML、SQL言語を総合的に利用し、ホームページでのデータ操作について学ぶ授業である。

ネットワークを介して、ホームページから、Excel ファイルやデータベースにファイルへのデータ操作できるシステムを開発し、ネットワークを介したデータ処理の仕組みを理解することを目標とする。

内容

1	オリエンテーション ( ネットワークを介したデータ処理について )
2	PHP開発環境について
3	変数、簡単な関数 ( 文字列関数、日付関数 )
4	条件分岐 繰り返し構文 1
5	条件分岐、繰り返し構文 2
6	配列操作
7	フォームとメール操作 1
8	フォームとメール操作 2
9	アンケートフォームとCSVファイル作成 1
10	アンケートフォームとCSVファイル作成 2
11	データベースとSQL操作
12	WebでのSQL言語によるデータベース操作 1
13	WebでのSQL言語によるデータベース操作 2
14	課題 ショッピングカートシステム作成 1
15	課題 ショッピングカートシステム作成 2

評価

授業中に出す課題 60%とまとめの課題 40%の合計で評価し、60%以上を合格とする。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業開始時に指定する。

科目名	Webページ作成基礎		
担当教員名	中尾 茂子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、生活情報学科専門科目の科目区分「E 情報システムを創る」に含まれる2年次必修科目であり、Webページ作成の基本的な技術と理論を学ぶ。本科目を履修後、「Webページ作成応用」科目を選択することにより、さらに理解を深めることができる。

#### 科目の概要

誰もがインターネットを利用することがあたりまえになってきて、Webページを用いた情報発信も拡大の一途を示しており、Webサイトの役割も単なる情報発信から、電子商取引やインターネットバンキングなど多彩なサービスを期待されている。本講義では、WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を学び、Webページ作成ができることを目的とする。

#### 学修目標

WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を理解する。

HTML文法を理解してWebページを作成することができる。

### 内容

1	Webページの動作としくみ
2	Webページの作成方法
3	HTML文法の理解 ( 基本的なHTML )
4	HTML文法の理解 ( イメージの配置 )
5	HTML文法の理解 ( ハイパーリンクの設定 )
6	さまざまなHTML表現 ( テーブルの作成 )
7	さまざまなHTML表現 ( テーブルレイアウト )
8	さまざまなHTML表現 ( フレームデザイン )
9	さまざまなHTML表現 ( フォームの利用 )
10	スタイルシートの基礎
11	スタイルシートの使い方
12	Webサイトの構築と設計
13	Webサイトの作成 ( 1 )
14	Webサイトの作成 ( 2 )
15	まとめ

### 評価

指定された課題に対して適切な機能が実装されているか、きちんと動作するかを評価観点として、全課題合計100点満点で評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指示する。

科目名	Webページ作成基礎		
担当教員名	中尾 茂子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、生活情報学科専門科目の科目区分「E 情報システムを創る」に含まれる2年次必修科目であり、Webページ作成の基本的な技術と理論を学ぶ。本科目を履修後、「Webページ作成応用」科目を選択することにより、さらに理解を深めることができる。

#### 科目の概要

誰もがインターネットを利用することがあたりまえになってきて、Webページを用いた情報発信も拡大の一途を示しており、Webサイトの役割も単なる情報発信から、電子商取引やインターネットバンキングなど多彩なサービスを期待されている。本講義では、WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を学び、Webページ作成ができることを目的とする。

#### 学修目標

WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を理解する。

HTML文法を理解してWebページを作成することができる。

### 内容

1	Webページの動作としくみ
2	Webページの作成方法
3	HTML文法の理解 ( 基本的なHTML )
4	HTML文法の理解 ( イメージの配置 )
5	HTML文法の理解 ( ハイパーリンクの設定 )
6	さまざまなHTML表現 ( テーブルの作成 )
7	さまざまなHTML表現 ( テーブルレイアウト )
8	さまざまなHTML表現 ( フレームデザイン )
9	さまざまなHTML表現 ( フォームの利用 )
10	スタイルシートの基礎
11	スタイルシートの使い方
12	Webサイトの構築と設計
13	Webサイトの作成 ( 1 )
14	Webサイトの作成 ( 2 )
15	まとめ

### 評価

指定された課題に対して適切な機能が実装されているか、きちんと動作するかを評価観点として、全課題合計100点満点で評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指示する。

科目名	Webページ作成基礎		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、生活情報学科専門科目の科目区分「E 情報システムを創る」に含まれる2年次必修科目であり、Webページ作成の基本的な技術と理論を学ぶ。本科目を履修後、「Webページ作成応用」科目を選択することにより、さらに理解を深めることができる。

#### 科目の概要

誰もがインターネットを利用することがあたりまえになってきて、Webページを用いた情報発信も拡大の一途を示しており、Webサイトの役割も単なる情報発信から、電子商取引やインターネットバンキングなど多彩なサービスを期待されている。本講義では、WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を学び、Webページ作成ができることを目的とする。

#### 学修目標

WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を理解する。

HTML文法を理解してWebページを作成することができる。

### 内容

1	Webページの動作としくみ
2	Webページの作成方法
3	HTML文法の理解 ( 基本的なHTML )
4	HTML文法の理解 ( イメージの配置 )
5	HTML文法の理解 ( ハイパーリンクの設定 )
6	さまざまなHTML表現 ( テーブルの作成 )
7	さまざまなHTML表現 ( テーブルレイアウト )
8	さまざまなHTML表現 ( フレームデザイン )
9	さまざまなHTML表現 ( フォームの利用 )
10	スタイルシートの基礎
11	スタイルシートの使い方
12	Webサイトの構築と設計
13	Webサイトの作成 ( 1 )
14	Webサイトの作成 ( 2 )
15	まとめ

### 評価

指定された課題に対して適切な機能が実装されているか、きちんと動作するかを評価観点として、全課題合計100点満点で評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指示する。

科目名	Webページ作成基礎		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必,必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状（情報）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

本科目は、生活情報学科専門科目の科目区分「E 情報システムを創る」に含まれる2年次必修科目であり、Webページ作成の基本的な技術と理論を学ぶ。本科目を履修後、「Webページ作成応用」科目を選択することにより、さらに理解を深めることができる。

#### 科目の概要

誰もがインターネットを利用することがあたりまえになってきて、Webページを用いた情報発信も拡大の一途を示しており、Webサイトの役割も単なる情報発信から、電子商取引やインターネットバンキングなど多彩なサービスを期待されている。本講義では、WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を学び、Webページ作成ができることを目的とする。

#### 学修目標

WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を理解する。

HTML文法を理解してWebページを作成することができる。

### 内容

1	Webページの動作としくみ
2	Webページの作成方法
3	HTML文法の理解（基本的なHTML）
4	HTML文法の理解（イメージの配置）
5	HTML文法の理解（ハイパーリンクの設定）
6	さまざまなHTML表現（テーブルの作成）
7	さまざまなHTML表現（テーブルレイアウト）
8	さまざまなHTML表現（フレームデザイン）
9	さまざまなHTML表現（フォームの利用）
10	スタイルシートの基礎
11	スタイルシートの使い方
12	Webサイトの構築と設計
13	Webサイトの作成（1）
14	Webサイトの作成（2）
15	まとめ

### 評価

指定された課題に対して適切な機能が実装されているか、きちんと動作するかを評価観点として、全課題合計100点満点で評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指示する。

科目名	Webページ作成応用		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

Webページ作成やサイト構築の基本的な技術と理論に加え、スクリプトなどを実装する技術とコンセプトワークなどのディレクション能力を修得することを目的とします。

Webページ作成の基本的な技術と理論に加え、CSSやJavaScriptなどの基本的な技術を学習し、デザイン性や動きのあるWebページ作成を実践します。

加えて、Webサイト構築におけるワークフロー、コンセプトワーク、デザイン、プロダクションマネジメント等の基礎も学習します。

Webページ作成におけるCSSやJavaScriptなどの基本的な技術と理論を理解し、Webサイト構築におけるワークフロー、コンセプトワークを理解します。

「Webページ作成基礎」を履修済みが望ましい

定員40名 ( 定員オーバーの場合は第1回目に抽選します )

#### 内容

前半は「Webページ作成基礎」で使用したテキストに沿って進めていきます。

受講生の進行度合いにより変更する場合があります。

作品や授業内課題は評価の対象ですので、課題提出を怠らない様にしてください。

基本的に資料に頼らないで授業を進めますので、欠席するとついていけなくなります。

1	オリエンテーション
2	HTML基礎 ( 復習としてアンケートフォーム作成 )
3	JavaScriptの基本 ( 概要、日付、マウスオーバー )
4	JavaScriptの基本 ( 計算処理、条件分岐、ウィンドウ操作 )
5	Dreamweaverの基本操作
6	Dreamweaverの基本操作
7	Dreamweaverの基本操作
8	Webサイトのインターフェースデザイン ( Illustratorによるワイヤーフレーム )
9	Webサイトのインターフェースデザイン ( Photoshopによるワイヤーフレーム )
10	Webサイトのインターフェースデザイン ( カンプとスライス )
11	Webサイトのインターフェースデザイン ( スライス )
12	Webサイト制作のコンセプトワーク ( 企画書作成 ) とデザイン ( デザイン案作成 )
13	Webサイト制作
14	Webサイト制作
15	Webサイト作品の発表・講評

## 評価

作品および課題提出(70%)、受講態度(20%)、レポート等(10%)により総合的に判断します。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

使用テキストは「Webページ作成基礎」でを使用したもの。

その他、必要に応じてPDFファイルを配布します。

科目名	Webページ作成応用		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

Webページ作成やサイト構築の基本的な技術と理論に加え、スクリプトなどを実装する技術とコンセプトワークなどのディレクション能力を修得することを目的とします。

Webページ作成の基本的な技術と理論に加え、CSSやJavaScriptなどの基本的な技術を学習し、デザイン性や動きのあるWebページ作成を実践します。

加えて、Webサイト構築におけるワークフロー、コンセプトワーク、デザイン、プロダクションマネジメント等の基礎も学習します。

Webページ作成におけるCSSやJavaScriptなどの基本的な技術と理論を理解し、Webサイト構築におけるワークフロー、コンセプトワークを理解します。

「Webページ作成基礎」を履修済みが望ましい

定員40名 ( 定員オーバーの場合は第1回目に抽選します )

#### 内容

前半は「Webページ作成基礎」で使用したテキストに沿って進めていきます。

受講生の進行度合いにより変更する場合があります。

作品や授業内課題は評価の対象ですので、課題提出を怠らない様にしてください。

基本的に資料に頼らないで授業を進めますので、欠席するとついていけなくなります。

1	オリエンテーション
2	HTML基礎 ( 復習としてアンケートフォーム作成 )
3	JavaScriptの基本 ( 概要、日付、マウスオーバー )
4	JavaScriptの基本 ( 計算処理、条件分岐、ウィンドウ操作 )
5	Dreamweaverの基本操作
6	Dreamweaverの基本操作
7	Dreamweaverの基本操作
8	Webサイトのインターフェースデザイン ( Illustratorによるワイヤーフレーム )
9	Webサイトのインターフェースデザイン ( Photoshopによるワイヤーフレーム )
10	Webサイトのインターフェースデザイン ( カンプとスライス )
11	Webサイトのインターフェースデザイン ( スライス )
12	Webサイト制作のコンセプトワーク ( 企画書作成 ) とデザイン ( デザイン案作成 )
13	Webサイト制作
14	Webサイト制作
15	Webサイト作品の発表・講評

## 評価

作品および課題提出(70%)、受講態度(20%)、レポート等(10%)により総合的に判断します。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

使用テキストは「Webページ作成基礎」でを使用したもの。

その他、必要に応じてPDFファイルを配布します。

科目名	新しいWebページ		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格： Webページ作成基礎，Webページ作成応用の内容を基礎として，JavaScriptを使った動きのあるWebページ作成技術を身につける．HTML，CSSについては，参考書を見ながらでもよいが，他人の作ったものを理解，編集できることが望ましい．

科目の概要： JavaScriptと高度な機能を簡単に使えるようにしたライブラリであるjQueryを中心に学ぶ．プログラミングの要素が多く含まれる．

学修目標： 授業では基本的な内容について説明し，演習問題を学生が解く形式で進める．課題をほぼ毎回出題する．課題を自身で解くことにより，動きのあるWebページ作成技術を実践的に身につけることができる．提出された課題により，成績評価を行う．

#### 内容

1	オリエンテーション，環境準備
2	アラートボックス，確認ボックス - if
3	確認ボックス - 変数，四則演算
4	比較演算子，論理演算子
5	while，for
6	配列，連想配列
7	イベント，ID属性
8	if elase，switch
9	JavaScriptまとめ
10	jQueryについて，ツールボックスを作る
11	開閉できるツールボックス，ボタンをロールオーバーする
12	ポップアップ表示，複数画像のポップアップ表示
13	フォームの入力チェック，高度なアニメーション
14	クライアント / サーバ間通信
15	XMLファイルの解析

#### 評価

授業への参加度15%，課題85%で評価する．

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

たにぐちまこと「よくわかるJavaScriptの教科書」マイナビ．定価：本体2,480円 + 税．

科目名	新しいWebページ		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格： Webページ作成基礎，Webページ作成応用の内容を基礎として，JavaScriptを使った動きのあるWebページ作成技術を身につける．HTML，CSSについては，参考書を見ながらでもよいが，他人の作ったものを理解，編集できることが望ましい．

科目の概要： JavaScriptと高度な機能を簡単に使えるようにしたライブラリであるjQueryを中心に学ぶ．プログラミングの要素が多く含まれる．

学修目標： 授業では基本的な内容について説明し，演習問題を学生が解く形式で進める．課題をほぼ毎回出題する．課題を自身で解くことにより，動きのあるWebページ作成技術を実践的に身につけることができる．提出された課題により，成績評価を行う．

#### 内容

1	オリエンテーション，環境準備
2	アラートボックス，確認ボックス - if
3	確認ボックス - 変数，四則演算
4	比較演算子，論理演算子
5	while，for
6	配列，連想配列
7	イベント，ID属性
8	if elase，switch
9	JavaScriptまとめ
10	jQueryについて，ツールボックスを作る
11	開閉できるツールボックス，ボタンをロールオーバーする
12	ポップアップ表示，複数画像のポップアップ表示
13	フォームの入力チェック，高度なアニメーション
14	クライアント / サーバ間通信
15	XMLファイルの解析

#### 評価

授業への参加度15%，課題85%で評価する．

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

たにぐちまこと「よくわかるJavaScriptの教科書」マイナビ．定価：本体2,480円 + 税．

科目名	アニメーション入門		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

現在、アニメーションは身近なものとなっており、プレゼンテーションにおいて複雑な内容を容易に説明するためや、ホームページに多く用いられ、ゲームを作成することも可能である。そこで、本科目では、アニメーションの基本から学習し、アニメーションソフトの使用方法から素材の利用方法など基礎的なことを学び、次の科目である「アニメーション制作」に繋げていく。

本科目ではアニメーションを作成していくために、アニメーションソフトの使用方法から始める。その後、基本的なオブジェクトの作画とアニメーションの設定手順、デジカメ写真を用いたフォトギャラリーの作成を学びます。また、ビデオ素材の利用方法や作成したアニメーションをWeb上に公開する手順も学びます。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	アニメーション作製ソフトの使用方法
3	アニメーション作製ソフトの詳細使用方法
4	イラスト作成 ( 矩形、楕円、多角形 )
5	イラスト作成 ( 曲線、変形 )
6	アニメーション作製
7	アニメーション課題
8	フォトギャラリーの作成 ( 素材の取り込み )
9	フォトギャラリーの作成 ( マスクの利用 )
10	フォトギャラリーの作成 ( 音楽の追加 )
11	フォトギャラリー課題
12	ビデオの取り込み
13	パブリッシュ
14	バナー作成
15	最終課題

#### 評価

課題点 80 点 平常点 20 点により評価を行い、60 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

オリエンテーション時に指示する。

科目名	アニメーション入門		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

現在、アニメーションは身近なものとなっており、プレゼンテーションにおいて複雑な内容を容易に説明するためや、ホームページに多く用いられ、ゲームを作成することも可能である。そこで、本科目では、アニメーションの基本から学習し、アニメーションソフトの使用方法から素材の利用方法など基礎的なことを学び、次の科目である「アニメーション制作」に繋げていく。

本科目ではアニメーションを作成していくために、アニメーションソフトの使用方法から始める。その後、基本的なオブジェクトの作画とアニメーションの設定手順、デジカメ写真を用いたフォトギャラリーの作成を学びます。また、ビデオ素材の利用方法や作成したアニメーションをWeb上に公開する手順も学びます。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	アニメーション作製ソフトの使用方法
3	アニメーション作製ソフトの詳細使用方法
4	イラスト作成 ( 矩形、楕円、多角形 )
5	イラスト作成 ( 曲線、変形 )
6	アニメーション作製
7	アニメーション課題
8	フォトギャラリーの作成 ( 素材の取り込み )
9	フォトギャラリーの作成 ( マスクの利用 )
10	フォトギャラリーの作成 ( 音楽の追加 )
11	フォトギャラリー課題
12	ビデオの取り込み
13	パブリッシュ
14	バナー作成
15	最終課題

#### 評価

課題点 80 点 平常点 20 点により評価を行い、60 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

オリエンテーション時に指示する。

科目名	アニメーション入門		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

現在、アニメーションは身近なものとなっており、プレゼンテーションにおいて複雑な内容を容易に説明するためや、ホームページに多く用いられ、ゲームを作成することも可能である。そこで、本科目では、アニメーションの基本から学習し、アニメーションソフトの使用方法から素材の利用方法など基礎的なことを学び、次の科目である「アニメーション制作」に繋げていく。

本科目ではアニメーションを作成していくために、アニメーションソフトの使用方法から始める。その後、基本的なオブジェクトの作画とアニメーションの設定手順、デジカメ写真を用いたフォトギャラリーの作成を学びます。また、ビデオ素材の利用方法や作成したアニメーションをWeb上に公開する手順も学びます。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	アニメーション作製ソフトの使用方法
3	アニメーション作製ソフトの詳細使用方法
4	イラスト作成 ( 矩形、楕円、多角形 )
5	イラスト作成 ( 曲線、変形 )
6	アニメーション作製
7	アニメーション課題
8	フォトギャラリーの作成 ( 素材の取り込み )
9	フォトギャラリーの作成 ( マスクの利用 )
10	フォトギャラリーの作成 ( 音楽の追加 )
11	フォトギャラリー課題
12	ビデオの取り込み
13	パブリッシュ
14	バナー作成
15	最終課題

#### 評価

課題点 80 点 平常点 20 点により評価を行い、60 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

オリエンテーション時に指示する。

科目名	アニメーション制作		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、アニメーション入門で学んだ内容を発展させ、応答性のあるアニメーションを作成していきます。スクリプトと呼ばれるアニメーションの動作を制御する小さなプログラムを組み込むことで、マウスやキーボードの操作によってアニメーションの動きをコントロールすることができます。

本科目の学修目標は、スクリプトを用いたアニメーションを自由に作成できるようになること、各種の画像素材や音楽データを利用したゲームを作成することにあります。

ゲームの作成には、アニメーション作成ソフトの理解だけでなく、ゲームそのものの動作の理解も必要です。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	復習 ( その 1 )
3	復習 ( その 2 )
4	スクリプトの入力方法
5	スクリプトの基本文法
6	関数とは
7	イベント処理 マウスイベント
8	イベント処理 ボタンイベント
9	イベント処理 タイマーイベント
10	イベント処理 キーボードイベント
11	ゲーム作成 ゲームの構造
12	ゲーム作成 素材の準備
13	ゲーム作成 スクリプトの記述 1
14	ゲーム作成 スクリプトの記述 2
15	まとめ

#### 評価

各授業ごと提出課題の合計点を 80%、平常点を 20% として総合評価を行い、60 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	アニメーション制作		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、アニメーション入門で学んだ内容を発展させ、応答性のあるアニメーションを作成していきます。スクリプトと呼ばれるアニメーションの動作を制御する小さなプログラムを組み込むことで、マウスやキーボードの操作によってアニメーションの動きをコントロールすることができます。

本科目の学修目標は、スクリプトを用いたアニメーションを自由に作成できるようになること、各種の画像素材や音楽データを利用したゲームを作成することにあります。

ゲームの作成には、アニメーション作成ソフトの理解だけでなく、ゲームそのものの動作の理解も必要です。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	復習 ( その 1 )
3	復習 ( その 2 )
4	スクリプトの入力方法
5	スクリプトの基本文法
6	関数とは
7	イベント処理 マウスイベント
8	イベント処理 ボタンイベント
9	イベント処理 タイマーイベント
10	イベント処理 キーボードイベント
11	ゲーム作成 ゲームの構造
12	ゲーム作成 素材の準備
13	ゲーム作成 スクリプトの記述 1
14	ゲーム作成 スクリプトの記述 2
15	まとめ

#### 評価

各授業ごと提出課題の合計点を 80%、平常点を 20% として総合評価を行い、60 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	デジタルビデオ編集		
担当教員名	村上 博泰		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

ハードウェア・ソフトウェアの基盤技術の進歩とともに、デジタルビデオ画像はコンピュータで編集することが容易になり、テレビで視聴されるだけでなく、インターネット上で配信されたり、プレゼンテーションでの利用や教育用のショートコンテンツとしても利用できるようになりました。本科目では、家庭のビデオ作品の編集だけでなく、研究発表等様々な場面で使用するビデオ画像を自由に編集できるように学修していきます。

本科目の学修目標は、以下のような点にあります。

様々な素材利用方法、ビデオ画像の編集機能、ビデオ画像の出力方法を学修する。

ソフトウェアを自由に使いこなすために、ビデオ画像の基礎技術用語を理解する。

#### 内容

1	デジタルビデオ編集とは
2	デジタルビデオ画像の説明、授業・演習の進め方 ( ビデオ編集特有の制限 ) と簡単な編集
3	DV画像キャプチャの説明とストーリーボード機能およびWindowsムービーメーカーの説明
4	基本的なタイムライン編集 1
5	基本的なタイムライン編集 2
6	基本的なタイムライン編集 3
7	シーンの切り替え機能 ( トランジション ) とムービー出力
8	ビデオエフェクトとキーフレームを使用したエフェクトのアニメート化
9	タイトルの作成方法 ( テキストのクロール、ロール、静止 )
10	スーパーインポーズと合成
11	素材を使った自由課題
12	教育用素材の編集と補足事項 ( トラックマツキーの使用 )
13	ムービー出力とプレゼンテーションへのビデオ画像の組み込み
14	最終編集課題
15	まとめと補足 ( アルファチャンネルつきビデオ画像 )

#### 評価

各授業ごと提出課題の合計点を 80%、平常点を 20% として総合評価を行い、60 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	デジタルビデオ編集		
担当教員名	村上 博泰		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

ハードウェア・ソフトウェアの基盤技術の進歩とともに、デジタルビデオ画像はコンピュータで編集することが容易になり、テレビで視聴されるだけでなく、インターネット上で配信されたり、プレゼンテーションでの利用や教育用のショートコンテンツとしても利用できるようになりました。本科目では、家庭のビデオ作品の編集だけでなく、研究発表等様々な場面で使用するビデオ画像を自由に編集できるように学修していきます。

本科目の学修目標は、以下のような点にあります。

様々な素材利用方法、ビデオ画像の編集機能、ビデオ画像の出力方法を学修する。

ソフトウェアを自由に使いこなすために、ビデオ画像の基礎技術用語を理解する。

#### 内容

1	デジタルビデオ編集とは
2	デジタルビデオ画像の説明、授業・演習の進め方 (ビデオ編集特有の制限) と簡単な編集
3	DV画像キャプチャの説明とストーリーボード機能およびWindowsムービーメーカーの説明
4	基本的なタイムライン編集 1
5	基本的なタイムライン編集 2
6	基本的なタイムライン編集 3
7	シーンの切り替え機能 (トランジション) とムービー出力
8	ビデオエフェクトとキーフレームを使用したエフェクトのアニメート化
9	タイトルの作成方法 (テキストのクロール、ロール、静止)
10	スーパーインポーズと合成
11	素材を使った自由課題
12	教育用素材の編集と補足事項 (トラックマットキーの使用)
13	ムービー出力とプレゼンテーションへのビデオ画像の組み込み
14	最終編集課題
15	まとめと補足 (アルファチャンネルつきビデオ画像)

#### 評価

各授業ごと提出課題の合計点を 80%、平常点を 20% として総合評価を行い、60 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	小西 真理		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格...コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年、自宅あるいはオフィスで音楽 ( 音声 ) コンテンツを作り、発信するということがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなっています。このクラスではDTMソフトの定番、Cubase ( キューベース ) ファミリーの入門版であるCubase Elements 6を導入し、最新のDAW ( デジタル・オーディオ・ワークステーション ) の世界を体験的に学習します。

#### 科目の概要

- 1.DTM ( デスクトップ・ミュージック ) = コンピュータを使用した音楽制作の基礎を実習的に学ぶ。
- 2.このコンピュータミュージック ではMIDIという規格をつかった音楽制作を中心に学ぶ。

MIDI オーディオサンプルデータの利用 オーディオミックスファイルの制作 オーディオCD制作  
という手順でDTMの基礎を身につける。

#### 学修目標

- 1.MIDI制作 規制楽曲の楽譜をもとにMIDI 入力をつかった音楽制作の実習
- 2.MIDI入力したデータをオーディオに変換。オーディオミックスダウンの実習
- 3.オーディオループを利用してサンプルの組み合わせによる音楽制作を学ぶ。
- 4.MIDI入力、オーディオループに加えてオリジナルメロディを加えることでオリジナル音楽作品の制作

#### 内容

- 第1回 ガイダンス、スタートアップ
- 第2回 MIDI レコーディングとエディット(1)～ステップ入力～スコアエディタ
- 第3回 MIDI レコーディングとエディット(2)～ステップ入力～スコアエディタ
- 第4回 MIDI レコーディングとエディット(3)～ステップ入力～キーエディタ
- 第5回 MIDI レコーディングとエディット(4)～リアルタイム入力
- 第6回 MIDI レコーディングとエディット(5)～ドラム入力
- 第7回 MIDI レコーディングとエディット(6)～ドラム入力
- 第8回 MIDI レコーディングとエディット(7)～スコア課題
- 第9回 MIDI レコーディングとエディット(8)～スコア課題
- 第10回 ミックスダウン MIDIデータのオーディオ化
- 第11回 オーディオループ素材～オーディオループ素材を使って楽曲を作る
- 第12回 創作演習(1)～創作を含むより高度な演習課題
- 第13回 創作演習(2)～創作を含むより高度な演習課題
- 第14回 創作演習(3)～創作を含むより高度な演習課題 ミックスダウン
- 第15回 Windows Media Playerを使ったCDライティング

一見難しそうに思われるかもしれませんが皆さん楽しみながらクリアしています。しっかりとガイドしますので安心して参加して下さい。ピアノ、電子オルガンなどの楽器経験がなくても大丈夫です。

## 評価

平常点60% 提出物40%

受講資格について

コンピュータミュージックは基礎編に当たるため初心者（過去にコンピュータミュージックを履修していない者）のみを対象とします。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

原則、プリントを配布します。

推薦図書（必須ではない）

・ 書籍（ガイドブック）

「Cubase Series 徹底操作ガイド」 株式会社 リットーミュージック

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	小西 真理		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格...コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年、自宅あるいはオフィスで音楽 ( 音声 ) コンテンツを作り、発信するということがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなっています。このクラスではDTMソフトの定番、Cubase ( キューベース ) ファミリーの入門版であるCubase Elements 6を導入し、最新のDAW ( デジタル・オーディオ・ワークステーション ) の世界を体験的に学習します。

#### 科目の概要

- 1.DTM ( デスクトップ・ミュージック ) = コンピュータを使用した音楽制作の基礎を実習的に学ぶ。
- 2.このコンピュータミュージック ではMIDIという規格をつかった音楽制作を中心に学ぶ。

MIDI オーディオサンプルデータの利用 オーディオミックスファイルの制作 オーディオCD制作  
という手順でDTMの基礎を身につける。

#### 学修目標

- 1.MIDI制作 規制楽曲の楽譜をもとにMIDI 入力をつかった音楽制作の実習
- 2.MIDI入力したデータをオーディオに変換。オーディオミックスダウンの実習
- 3.オーディオループを利用してサンプルの組み合わせによる音楽制作を学ぶ。
- 4.MIDI入力、オーディオループに加えてオリジナルメロディを加えることでオリジナル音楽作品の制作

#### 内容

- 第1回 ガイダンス、スタートアップ
- 第2回 MIDI レコーディングとエディット(1)～ステップ入力～スコアエディタ
- 第3回 MIDI レコーディングとエディット(2)～ステップ入力～スコアエディタ
- 第4回 MIDI レコーディングとエディット(3)～ステップ入力～キーエディタ
- 第5回 MIDI レコーディングとエディット(4)～リアルタイム入力
- 第6回 MIDI レコーディングとエディット(5)～ドラム入力
- 第7回 MIDI レコーディングとエディット(6)～ドラム入力
- 第8回 MIDI レコーディングとエディット(7)～スコア課題
- 第9回 MIDI レコーディングとエディット(8)～スコア課題
- 第10回 ミックスダウン MIDIデータのオーディオ化
- 第11回 オーディオループ素材～オーディオループ素材を使って楽曲を作る
- 第12回 創作演習(1)～創作を含むより高度な演習課題
- 第13回 創作演習(2)～創作を含むより高度な演習課題
- 第14回 創作演習(3)～創作を含むより高度な演習課題 ミックスダウン
- 第15回 Windows Media Playerを使ったCDライティング

一見難しそうに思われるかもしれませんが皆さん楽しみながらクリアしています。しっかりとガイドしますので安心して参加して下さい。ピアノ、電子オルガンなどの楽器経験がなくても大丈夫です。

## 評価

平常点60% 提出物40%

受講資格について

コンピュータミュージックは基礎編に当たるため初心者（過去にコンピュータミュージックを履修していない者）のみを対象とします。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

原則、プリントを配布します。

推薦図書（必須ではない）

・ 書籍（ガイドブック）

「Cubase Series 徹底操作ガイド」 株式会社 リットーミュージック

科目名	デジタル色彩		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

コンピュータを使用したデザインやCG、Web制作が増える中、一般的な色彩理論に加えデジタル上での色彩の違いを認識して表現する事が必要となってきました。そのためコンピュータで扱うデジタル画像やデジタル色彩、配色の基礎知識を学習する授業です。

色彩の基礎からデジタル色彩の基礎、デジタル画像の基礎知識を学習し、配色トレーニングを実践します。

デジタル色彩の配色能力やコンピュータでの先端色彩による配色の理解を目的とします。

#### 内容

色鉛筆、のり、はさみ、カラーチャートなどが必要になります。

1	オリエンテーション、デジタル色彩とその役割
2	色の基礎特性
3	デジタル画像の基礎
4	色のデジタル表現とその役割
5	色彩の法的規制、流行色
6	カラーリサーチの理論と手法、配色演習基礎
7	色彩生理学と色の意味、トーン概念、配色演習基礎
8	カラーイメージチャートの仕組み、色のイメージ、配色演習基礎
9	配色技法の解説
10	配色トレーニング (イメージ、喜怒哀楽)
11	配色トレーニング (意思を伴う感情) (五感)
12	SD法による色彩計画、配色トレーニング (SD法による簡易イメージカラー)
13	環境と建築の色彩、環境色彩学、配色トレーニング (景観のカラー表現)
14	色彩とアナロジー、配色トレーニング (面分割のカラー表現)
15	デジタル色彩のまとめ

#### 評価

演習課題(40%)、コメントシート(20%)、授業態度(20%)、レポート等(20%)により総合的に判断します。

なお、色鉛筆やカラーチャート以外での演習課題は評価しません。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

必要に応じてプリントを配布します。

色鉛筆やカラーチャートに関しては、第1回目の授業で指示します。

科目名	デジタル色彩		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

コンピュータを使用したデザインやCG、Web制作が増える中、一般的な色彩理論に加えデジタル上での色彩の違いを認識して表現する事が必要となってきました。そのためコンピュータで扱うデジタル画像やデジタル色彩、配色の基礎知識を学習する授業です。

色彩の基礎からデジタル色彩の基礎、デジタル画像の基礎知識を学習し、配色トレーニングを実践します。

デジタル色彩の配色能力やコンピュータでの先端色彩による配色の理解を目的とします。

#### 内容

色鉛筆、のり、はさみ、カラーチャートが必要になります。

1	オリエンテーション、デジタル色彩とその役割
2	色の基礎特性
3	デジタル画像の基礎
4	色のデジタル表現とその役割
5	色彩の法的規制、流行色
6	カラーリサーチの理論と手法、配色演習基礎
7	色彩生理学と色の意味、トーン概念、配色演習基礎
8	カラーイメージチャートの仕組み、色のイメージ、配色演習基礎
9	配色技法の解説
10	配色トレーニング (イメージ、喜怒哀楽)
11	配色トレーニング (意思を伴う感情) (五感)
12	SD法による色彩計画、配色トレーニング (SD法による簡易イメージカラー)
13	環境と建築の色彩、環境色彩学、配色トレーニング (景観のカラー表現)
14	色彩とアナロジー、配色トレーニング (面分割のカラー表現)
15	デジタル色彩のまとめ

#### 評価

演習課題(40%)、コメントシート(20%)、授業態度(20%)、レポート等(20%)により総合的に判断します。

なお、色鉛筆やカラーチャート以外での演習課題は評価しません。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

必要に応じてプリントを配布します。

色鉛筆やカラーチャートに関しては、第1回目の授業で指示します。

科目名	コンピュータグラフィックス		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

グラフィックスソフトウェアの基本となる科目であり、デジタルアニメーション演習やWeb動画演習をこのあと学修します。

今日の社会でコンピュータグラフィックス ( C G ) 技術は、印刷・出版業界だけでなくあらゆる分野で活用されており、C G 技術は不可欠なものとなっています。

この科目では、2次元でのデジタル画像の作成と加工、編集等について学びます。この演習を通じて、ラスター画像とベクトル画像の差異と特徴について学び、目的に合致したC G 作成方法やC G 合成などに関するグラフィックス技術の基礎を習得することが学修目標となります。

## 内容

1	2次元コンピュータグラフィックスとは
2	自由曲線と基本図形の描画
3	ベジェ曲線
4	図形の変形・編集
5	文字に関するデザイン機能
6	ブレンド、クリッピングマスク、複合パス機能
7	精密な描画 1 ( グリッドとガイドの利用 )
8	精密な描画 2 ( ビットマップ画像の利用 )
9	画像のトレースとイラスト作成
10	ビットマップ画像の選択範囲作成
11	ビットマップ画像の切り抜きと合成
12	ビットマップ画像の調整機能 ( 色調補正・フィルターなど )
13	ウェブページデザインワークフロー 1
14	ウェブページデザインワークフロー 2
15	まとめ、ビットマップ画像総合課題

## 評価

各授業ごと提出課題の合計点を 80%、平常点を 20% として総合評価を行い、60 点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	コンピュータグラフィックス		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

グラフィックソフトウェアの基礎を学びます。

コンピュータグラフィックス (CG) 技術は、印刷・出版業界だけでなくあらゆる分野で活用されており、必要不可欠なものとなっています。そこで2次元でのデジタル画像の作成と加工、編集等について学び、グラフィックソフトウェアの基礎を習得します。基礎作品制作、チームで印刷媒体の制作を行い、グラフィックデザインのワークフローの基礎を学習します。

ラスター画像とベクトル画像の差異と特徴について学び、それぞれ目的に合致したソフトウェアとプロファイルを選択でき、目的に合致した作成手法やグラフィックデザイン技術の基礎を習得することを目標とします。

## 内容

毎時間、課題があり新しいことを学習していきますので、欠席しないようにしてください。

基本的に資料に頼らないで授業を進めますので、欠席すると付いていきません。

USBメモリ、スケッチブックを毎時間準備してください。

1	ガイダンス、2次元CGの基礎
2	Photoshop基礎 (ビットマップ画像、ピクセルと解像度、基本操作)
3	Photoshop基礎 (レイヤー、ペイント、移動)
4	Photoshop基礎 (色調補正、調整レイヤー、レタッチツール)
5	Photoshop基礎 (マーキーツール、切り抜き、マスク)
6	画像合成作品の制作 (テーマあり)
7	Illustrator基礎 (ベクター画像、プロファイル、アートボード、定規とガイド、基本操作)
8	Illustrator基礎 (図解描画、線描画 (オープンパスとクローズパス)、ベジェ曲線)
9	Illustrator基礎 (オブジェクト、パス調整、色調整)
10	Illustrator基礎 (文字ツール、パスファインダ)、基礎作品制作 (ネームカード)
11	Illustrator基礎 (画像配置、クリッピングマスク) 基礎作品制作 (ポストカード)
12	グラフィックデザインの基礎 (企画・構図・レイアウト・コピー)
13	グラフィックデザイン制作 (ペアによる制作、テーマあり)
14	グラフィックデザイン制作 (制作のつづき)
15	作品発表・講評

## 評価

制作作品・課題(80%)、受講態度(20%)などで総合的に評価します。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

必要に応じてプリントやPDFファイルを配布します。

科目名	3次元CG		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

CG(コンピュータグラフィックス)表現の基本と3次元CGでの画像生成およびアニメーションの実践と理解を目的とします。

CG作成ソフトウェアでの作品制作を通して、三面図の基礎、基本形状の立体化、質感設定、ライティング、キーフレームアニメーション設定などを学び、画像生成の仕組みや処理手法を修得し3次元CGの作成力を身につけます。

3次元CG制作を中心にCG表現の持つ特性と効果を学習することで、制作過程の理解とコンテンツ工学の基礎力を養います。3次元CG制作のプロセスを理解し、基本形状から自由曲線(ベジェ曲線)までのモデリングと簡易アニメーションが作成できることを目標とします。

#### 内容

毎時間ごとに課題があるので、各自で主体的に取り組む姿勢が不可欠です。

質問は積極的に行ってください。

受講者の進行度合いにより変更する場合があります。

基本的に資料に頼らないで授業を進めますので、欠席するとついていけません。

1	オリエンテーション、CG表現の基礎、3次元CGの基本
2	Shadeの基本操作、プリミティブ、基本形状の生成と合成
3	自由曲面(ベジェ曲線)の基本
4	自由曲面(ベジェ曲線)、ワイヤーフレームとモデリング
5	質感の設定
6	シェーディングとテクスチャマッピング
7	自由曲面の編集とレンダリング
8	3次元アニメーションの基礎
9	3次元アニメーションの処理
10	コンテンツ工学の基礎とワークフロー、作品計画とアイデアスケッチ
11	作品制作 (素材、テクスチャ作成)
12	作品制作 (モデリング)
13	作品制作 (アニメーション)
14	3Dデータの統合・調整・アニメーションレンダリング
15	作品発表・講評

#### 評価

制作作品・課題(80%)、受講態度(20%)などで総合的に評価します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じてPDFファイルを配布します。

科目名	3次元CG		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

CG(コンピュータグラフィックス)表現の基本と3次元CGでの画像生成およびアニメーションの実践と理解を目的とします。

CG作成ソフトウェアでの作品制作を通して、三面図の基礎、基本形状の立体化、質感設定、ライティング、キーフレームアニメーション設定などを学び、画像生成の仕組みや処理手法を修得し3次元CGの作成力を身につけます。

3次元CG制作を中心にCG表現の持つ特性と効果を学習することで、制作過程の理解とコンテンツ工学の基礎力を養います。3次元CG制作のプロセスを理解し、基本形状から自由曲線(ベジェ曲線)までのモデリングと簡易アニメーションが作成できることを目標とします。

#### 内容

毎時間ごとに課題があるので、各自で主体的に取り組む姿勢が不可欠です。

質問は積極的に行ってください。

受講者の進行度合いにより変更する場合があります。

基本的に資料に頼らないで授業を進めますので、欠席するとついていけません。

1	オリエンテーション、CG表現の基礎、3次元CGの基本
2	Shadeの基本操作、プリミティブ、基本形状の生成と合成
3	自由曲面(ベジェ曲線)の基本
4	自由曲面(ベジェ曲線)、ワイヤーフレームとモデリング
5	質感の設定
6	シェーディングとテクスチャマッピング
7	自由曲面の編集とレンダリング
8	3次元アニメーションの基礎
9	3次元アニメーションの処理
10	コンテンツ工学の基礎とワークフロー、作品計画とアイデアスケッチ
11	作品制作 (素材、テクスチャ作成)
12	作品制作 (モデリング)
13	作品制作 (アニメーション)
14	3Dデータの統合・調整・アニメーションレンダリング
15	作品発表・講評

#### 評価

制作作品・課題(80%)、受講態度(20%)などで総合的に評価します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じてPDFファイルを配布します。

科目名	住居デザイン		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

この科目は3次元CGの応用を学んでいく科目です。今日の社会で3次元CG技術は、製造業や建築業界をはじめとしてあらゆる分野で活用され必要不可欠な技術の一つとなっています。

身近な「家」をテーマに外観や間取り、内装や家具の配置、さらに照明器具の設置など1軒の家をコンピュータの中で作り上げていきます。この過程の中で、3DCG画像の作成と加工、編集等についての応用を学んでいきます。また、単に画像の作成だけではなく、考えながら3D画像を作り上げることの重要性を修得することが学修目標となります。

#### 内容

1	家づくりの基本操作
2	間取りを考える ( 1 )
3	間取りを考える ( 2 )
4	カメラ操作
5	内装の設定
6	家具の配置
7	照明器具の設置
8	屋根の作成
9	内装をアレンジ
10	外装の設定
11	レンダリング
12	インテリアとエクステリア
13	照明効果
14	作品制作 ( 1 )
15	作品制作 ( 2 )

#### 評価

各授業ごと提出課題の合計点を80%、平常点を20%として総合評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	住居デザイン		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

この科目は3次元CGの応用を学んでいく科目です。今日の社会で3次元CG技術は、製造業や建築業界をはじめとしてあらゆる分野で活用され必要不可欠な技術の一つとなっています。

身近な「家」をテーマに外観や間取り、内装や家具の配置、さらに照明器具の設置など1軒の家をコンピュータの中で作り上げていきます。この過程の中で、3DCG画像の作成と加工、編集等についての応用を学んでいきます。また、単に画像の作成だけではなく、考えながら3D画像を作り上げることの重要性を修得することが学修目標となります。

#### 内容

1	家づくりの基本操作
2	間取りを考える ( 1 )
3	間取りを考える ( 2 )
4	カメラ操作
5	内装の設定
6	家具の配置
7	照明器具の設置
8	屋根の作成
9	内装をアレンジ
10	外装の設定
11	レンダリング
12	インテリアとエクステリア
13	照明効果
14	作品制作 ( 1 )
15	作品制作 ( 2 )

#### 評価

各授業ごと提出課題の合計点を80%、平常点を20%として総合評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	データベース入門		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

「データベース基礎」とともにデータベースに関する授業であり、ネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

身近なデータベースとしては、Excel やアクセスでの住所録の管理にデータベースが使われています。古くは銀行のシステムや図書館情報システムで、最近では、音楽配信や旅行検索、ネットショッピングのシステムを構築するのにデータベースは欠かせなくなっています。更に、最近では、インターネットで検索できる全てのデータを1つの大きなデータベースと見て検索できるように、世界的な基準作りが行われています。

大量のデータを高速に間違いなく、容易に、安全に利用するために、データベース管理システムにはどのような技術が工夫されているかを理解する授業です。

Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースでのデータ管理の違いを理解し、基本的なデータベース管理機能について学ぶ授業であり、基礎的な授業です。

#### 内容

Excel でのデータベース管理を学んだあと、Access を使い簡単なデータベースを作成する。作成したデータベースでデータ管理システムの技術的な工夫について実際に確認しながら、実習と平行して講義を進める。

1	データベースとは
2	Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースについて
3	Access によるデータベースの作成演習 ( テーブルの作成 )
4	Access によるデータベースの作成演習 ( 複数テーブルの作成 )
5	Access によるデータベースの作成演習 ( クエリ処理 )
6	Access によるデータベースの作成演習 ( クエリ処理 )
7	Access によるデータベースの作成演習 ( フォーム、レポートの作成 )
8	Access の総合演習課題
9	リレーショナル代数 ( 和演算、差演算、積演算、商演算 )
10	リレーショナル代数 ( 選択演算、射影演算、結合演算 )
11	DBMS ( 正規化 )
12	DBMS ( 整合性 )
13	DBMS ( 排他制御 )
14	DBMS ( 障害回復 )
15	まとめ

#### 評価

授業に対する意欲・関心・評態度と授業中に出す演習課題 ( 40点 ) と総合課題 ( 30点 ) とテストまたはレポート ( 30点 ) の成績で評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】よくわかるAccess2007基礎 FOM出版

科目名	データベース入門		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

「データベース基礎」とともにデータベースに関する授業であり、ネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

身近なデータベースとしては、Excel やアクセスでの住所録の管理にデータベースが使われています。古くは銀行のシステムや図書館情報システムで、最近では、音楽配信や旅行検索、ネットショッピングのシステムを構築するのにデータベースは欠かせなくなっています。更に、最近では、インターネットで検索できる全てのデータを1つの大きなデータベースと見て検索できるように、世界的な基準作りが行われています。

大量のデータを高速に間違いなく、容易に、安全に利用するために、データベース管理システムにはどのような技術が工夫されているかを理解する授業です。

Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースでのデータ管理の違いを理解し、基本的なデータベース管理機能について学ぶ授業であり、基礎的な授業です。

#### 内容

Excel でのデータベース管理を学んだあと、Access を使い簡単なデータベースを作成する。作成したデータベースでデータ管理システムの技術的な工夫について実際に確認しながら、実習と平行して講義を進める。

1	データベースとは
2	Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースについて
3	Access によるデータベースの作成演習 ( テーブルの作成 )
4	Access によるデータベースの作成演習 ( 複数テーブルの作成 )
5	Access によるデータベースの作成演習 ( クエリ処理 )
6	Access によるデータベースの作成演習 ( クエリ処理 )
7	Access によるデータベースの作成演習 ( フォーム、レポートの作成 )
8	Access の総合演習課題
9	リレーショナル代数 ( 和演算、差演算、積演算、商演算 )
10	リレーショナル代数 ( 選択演算、射影演算、結合演算 )
11	DBMS ( 正規化 )
12	DBMS ( 整合性 )
13	DBMS ( 排他制御 )
14	DBMS ( 障害回復 )
15	まとめ

#### 評価

授業に対する意欲・関心・評態度と授業中に出す演習課題 ( 40点 ) と総合課題 ( 30点 ) とテストまたはレポート ( 30点 ) の成績で評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】よくわかるAccess2007基礎 FOM出版

科目名	データベース基礎		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

前期に学んだデータベース入門に続く授業であり、データベースに関する一連の授業でネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

情報システムを構成する主要な技術にデータベース管理システムがある。この授業では、実際にデータベースにデータを入力したり、検索したりするためのデータベースプログラミングについて実習を中心に行う。

データベース管理にはSQLという言語を利用し、SQLの学習とともに、ネットワークを介したデータベースについての操作についても学ぶ。

SQL言語を通して、データベースプログラミングの基礎を理解する。

#### 内容

1	データベースとは
2	リレーショナルデータベースの復習
3	リレーショナルデータベースとSQL言語の基礎
4	クエリーの基本操作
5	いろいろな関数 1
6	いろいろな関数 2
7	テーブル作成の基本操作
8	まとめ 1
9	複雑なクエリーの操作 1
10	複雑なクエリーの操作 2
11	データを守る仕組み 1
12	データを守る仕組み 2
13	プログラムとの連携 1
14	プログラムとの連携 2
15	まとめ 2

#### 評価

毎回の授業の課題 50% とまとめの課題 50% で評価し、60% 以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

データベースがみるみるわかる9つの扉 SQLの絵本 (株)アंक著 SHOEISHA

科目名	データベース基礎		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

前期に学んだデータベース入門に続く授業であり、データベースに関する一連の授業でネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

情報システムを構成する主要な技術にデータベース管理システムがある。この授業では、実際にデータベースにデータを入力したり、検索したりするためのデータベースプログラミングについて実習を中心に行う。

データベース管理にはSQLという言語を利用し、SQLの学習とともに、ネットワークを介したデータベースについての操作についても学ぶ。

SQL言語を通して、データベースプログラミングの基礎を理解する。

#### 内容

1	データベースとは
2	リレーショナルデータベースの復習
3	リレーショナルデータベースとSQL言語の基礎
4	クエリーの基本操作
5	いろいろな関数 1
6	いろいろな関数 2
7	テーブル作成の基本操作
8	まとめ 1
9	複雑なクエリーの操作 1
10	複雑なクエリーの操作 2
11	データを守る仕組み 1
12	データを守る仕組み 2
13	プログラムとの連携 1
14	プログラムとの連携 2
15	まとめ 2

#### 評価

毎回の授業の課題 50% とまとめの課題 50% で評価し、60% 以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

データベースがみるみるわかる9つの扉 SQLの絵本 (株)アंक著 SHOEISHA

科目名	ネットワーク基礎		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必, 必修 *
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

インターネットの基盤技術であるTCP/IPネットワークに関する入門である。ネットワークにコンピュータを接続して通信を行うときに使われる技術を中心に学ぶ。2年生後期の「インターネットとセキュリティ」と合わせて、インターネット検定 ドットコムマスタ の内容をカバーする。

インターネットの接続技術を中心に学ぶ。インターネット検定ドットコムマスタ 相当の内容と難易度である。ITパスポート、基本情報技術者試験で出題されるネットワーク分野の内容を本授業で扱う範囲に含める。

授業の内容を理解するとともに、理解を助けるために授業時間内および時間外に行う形式の問題を解くことにより、単位修得可能な知識を身につけることができる。

#### 内容

- 第1回：インターネット基礎知識
- 第2回：インターネットの通信プロトコル ( 1 )
- 第3回：インターネットの通信プロトコル ( 2 )
- 第4回：LANの技術
- 第5回：アプリケーション関連技術 ( 1 )
- 第6回：アプリケーション関連技術 ( 2 )
- 第7回：アプリケーション関連技術 ( 3 )
- 第8回：インターネット接続の機器 ( 1 )
- 第9回：インターネット接続の機器 ( 2 )
- 第10回：インターネット接続の技術 ( 1 )
- 第11回：インターネット接続の技術 ( 2 )
- 第12回：インターネット利用におけるトラブルと対策事例
- 第13回：Web
- 第14回：電子メール
- 第15回：まとめ

#### 評価

授業に対する態度40%、期末試験60%で評価する。合格点は60点以上である。合格点に満たない場合には、再試験を行うことがある。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

教科書:

インターネット検定ドットコムマスター 2012公式テキスト, NTTコミュニケーションズ。

推薦書:

金城俊哉著, 「世界でいちばん簡単なネットワークのe本」, 秀和システム。定価1,300円 ( 税別 ) 。

竹下隆史，村山公保，荒井透，苅田幸雄著，「マスタリングTCP/IP入門編第4版」，オーム社．定価2,200円（税別）．

科目名	インターネットとセキュリティ		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

2年前期の「ネットワーク基礎」で学んだインターネットにおける情報セキュリティについて学ぶ。「ネットワーク基礎」と合わせて、インターネット検定ドットコムマスタ のシラバスをカバーする。

情報セキュリティの3つの要素、すなわち、脅威、脅威に対抗するための基盤技術である暗号技術と公開鍵暗号基盤、脅威からネットワークや通信を守るための対策技術について学ぶ。

次の内容を理解することにより試験に合格し、単位修得が可能となる。

- ・情報セキュリティの考え方
- ・脅威の種類と内容
- ・暗号技術と使い方
- ・セキュリティ対策技術
- ・セキュリティに関する標準化動向と法律

#### 内容

- 第1回：セキュリティとは何か
- 第2回：暗号技術とPKI(1) 共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式
- 第3回：暗号技術とPKI(2) ハッシュ関数，電子署名，PKI
- 第4回：暗号技術とPKI(3) セキュリティプロトコル
- 第5回：PC利用時の脅威とその対策
- 第6回：LAN利用時の脅威とその対策
- 第7回：インターネット利用時の脅威とその対策(1)
- 第8回：インターネット利用時の脅威とその対策(2)
- 第9回：インターネット利用時の脅威とその対策(3)
- 第10回：インターネット上のサービス
- 第11回：情報交換や発信に関する知識
- 第12回：インターネット利用に関するマナー
- 第13回：インターネットに関する知識と法律(1)
- 第14回：インターネットに関する知識と法律(2)
- 第15回：まとめ

#### 評価

取り組み姿勢40%，期末試験60%の割合で評価する。60点以上を合格とする。合格点に満たない場合には、再試験を行う。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

##### 教科書

インターネット検定ドットコムマスタ 2012公式テキスト NTTコミュニケーションズ

## 推薦書

相戸浩志著「図解入門 よくわかる 最新 情報セキュリティの基本と仕組み [第3版]」秀和システム .

科目名	ネットワーク設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

インターネットのパソコンの接続技術を演習を通して学ぶ。

コンピュータをネットワークに接続して利用する際の手順と技術について理解する。ほぼ毎回、通信技術を理解するための実験を行う。

配布資料にしたがって設定と実験を行うことにより、TCP/IPネットワークの仕組みを基礎から理解することができる。

## 内容

1	ネットワーク設定情報とネットワーク資源へのアクセス
2	コンピュータ名、IPアドレスの設定
3	ファイル共有、プリンタ共有
4	IPアドレスの設定、ネットワーク情報収集と解析法
5	デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクの役割
6	ルーティングテーブル
7	ARPとMACアドレス、ポート番号の役割
8	ICMP
9	名前解決
10	メールクライアント
11	メールプロトコル
12	遠隔接続
13	パケットキャプチャ
14	非暗号通信と暗号通信
15	公開鍵暗号とデジタル署名

## 評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、すべての課題の得点の平均点が60点以上を合格とする。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】 教科書は使用しない。

科目名	ネットワーク設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

インターネットのパソコンの接続技術を演習を通して学ぶ。

コンピュータをネットワークに接続して利用する際の手順と技術について理解する。ほぼ毎回、通信技術を理解するための実験を行う。

配布資料にしたがって設定と実験を行うことにより、TCP/IPネットワークの仕組みを基礎から理解することができる。

## 内容

1	ネットワーク設定情報とネットワーク資源へのアクセス
2	コンピュータ名、IPアドレスの設定
3	ファイル共有、プリンタ共有
4	IPアドレスの設定、ネットワーク情報収集と解析法
5	デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクの役割
6	ルーティングテーブル
7	ARPとMACアドレス、ポート番号の役割
8	ICMP
9	名前解決
10	メールクライアント
11	メールプロトコル
12	遠隔接続
13	パケットキャプチャ
14	非暗号通信と暗号通信
15	公開鍵暗号とデジタル署名

## 評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、すべての課題の得点の平均点が60点以上を合格とする。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】 教科書は使用しない。

科目名	サーバ設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

本科目では、代表的なオペレーティングシステムの一つであるUNIXについて、その機能・操作方法を学ぶ。さらに、応用としてUNIX上でのサーバ設定技術を学ぶ。

##### 科目の概要

UNIXの特徴、ディレクトリ・ファイル操作等の基本コマンド、便利な機能、もっとも身近でよく利用されているWebサーバ、メールサーバの構築を行う。

##### 学修目標

演習を通して、コマンドによる基本操作、サーバ構築の基本概念を理解できるようになることを目指す。

#### 内容

1	UNIX (Linux) の概要, ディレクトリ構造, MS-DOSコマンド
2	ログイン・ログアウト, パスワード設定, ユーザ・グループ管理
3	ディレクトリ・ファイルの操作
4	アクセス権
5	viエディタによるファイルの編集
6	ファイルの内容表示
7	リダイレクト・パイプ処理, テキストの並べ替え・検索
8	コマンドの履歴, エイリアス
9	Linuxにおけるネットワーク管理
10	ftpサーバを例にしたLinuxにおけるサーバ構築(1)
11	ftpサーバを例にしたLinuxにおけるサーバ構築(1)
12	Webサーバ構築(1)
13	Webサーバ構築(2)
14	メールサーバ構築(1)
15	メールサーバ構築(2)

#### 評価

取り組み姿勢15%, 課題85%により評価する。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

石田つばさ「改訂第4版 UNIXコマンド ポケットリファレンス【ビギナー編】」技術評論社・定価 ( 本体2180円 + 税 )

科目名	サーバ設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

本科目では、代表的なオペレーティングシステムの一つであるUNIXについて、その機能・操作方法を学ぶ。さらに、応用としてUNIX上でのサーバ設定技術を学ぶ。

##### 科目の概要

UNIXの特徴、ディレクトリ・ファイル操作等の基本コマンド、便利な機能、もっとも身近でよく利用されているWebサーバ、メールサーバの構築を行う。

##### 学修目標

演習を通して、コマンドによる基本操作、サーバ構築の基本概念を理解できるようになることを目指す。

#### 内容

1	UNIX (Linux) の概要, ディレクトリ構造, MS-DOSコマンド
2	ログイン・ログアウト, パスワード設定, ユーザ・グループ管理
3	ディレクトリ・ファイルの操作
4	アクセス権
5	viエディタによるファイルの編集
6	ファイルの内容表示
7	リダイレクト・パイプ処理, テキストの並べ替え・検索
8	コマンドの履歴, エイリアス
9	Linuxにおけるネットワーク管理
10	ftpサーバを例にしたLinuxにおけるサーバ構築(1)
11	ftpサーバを例にしたLinuxにおけるサーバ構築(1)
12	Webサーバ構築(1)
13	Webサーバ構築(2)
14	メールサーバ構築(1)
15	メールサーバ構築(2)

#### 評価

取り組み姿勢15%, 課題85%により評価する。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

石田つばさ「改訂第4版 UNIXコマンド ポケットリファレンス【ビギナー編】」技術評論社・定価 ( 本体2180円 + 税 )

科目名	ソフトウェア基礎		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

コンピュータを理解するうえで、ハードウェアとソフトウェアの両方を理解することが重要となる。特にソフトウェアは、一般的なアプリケーションソフトだけではなく、オペレーティングシステムや更には、操作手順までを含めた範囲の広いものである。本科目では、コンピュータの働きをソフトウェアの観点から学習する。前半は基数法・論理演算など、コンピュータが情報をどのように扱うかを理解する。後半は、ソフトウェアの働きや分類、各プログラミング言語の特徴を学ぶ。また、アルゴリズムを学ぶ上での基本的なツールとなるフローチャートや基本的なアルゴリズムも紹介する。

内容

1	オリエンテーション
2	基数法 ( 2 進数、8 進数 )
3	基数法 ( 16 進数、n 進数 10 進数変換 )
4	基数法 ( n 進数の小数 )
5	基数法 ( 10 進数 n 進数変換、2・8・16 進数相互変換 )
6	補数 ( 基数の補数、減基数の補数 )
7	補数を含めた演算、ビットシフト
8	浮動小数点、文字コード
9	論理演算 ( 基本演算、M I L 記号、論理式 )
10	論理演算 ( 半加算器、全加算器 )
11	ソフトウェアの分類 ・ プログラム言語
12	データ構造
13	アルゴリズム ( 検索・整列 )
14	フローチャート、トレース
15	まとめ

評価

期末テスト60点 小テストを含む課題点20点 平常点20点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

オリエンテーション時に指示する。

科目名	ソフトウェア基礎		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

コンピュータを理解するうえで、ハードウェアとソフトウェアの両方を理解することが重要となる。特にソフトウェアは、一般的なアプリケーションソフトだけではなく、オペレーティングシステムや更には、操作手順までを含めた範囲の広いものである。本科目では、コンピュータの働きをソフトウェアの観点から学習する。前半は基数法・論理演算など、コンピュータが情報をどのように扱うかを理解する。後半は、ソフトウェアの働きや分類、各プログラミング言語の特徴を学ぶ。また、アルゴリズムを学ぶ上での基本的なツールとなるフローチャートや基本的なアルゴリズムも紹介する。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	基数法 ( 2 進数、 8 進数 )
3	基数法 ( 1 6 進数、 n 進数 1 0 進数変換 )
4	基数法 ( n 進数の小数 )
5	基数法 ( 1 0 進数 n 進数変換、 2 ・ 8 ・ 1 6 進数相互変換 )
6	補数 ( 基数の補数、減基数の補数 )
7	補数を含めた演算、ビットシフト
8	浮動小数点、文字コード
9	論理演算 ( 基本演算、 M I L 記号、論理式 )
10	論理演算 ( 半加算器、全加算器 )
11	ソフトウェアの分類 ・ プログラム言語
12	データ構造
13	アルゴリズム ( 検索 ・ 整列 )
14	フローチャート、トレース
15	まとめ

#### 評価

期末テスト 6 0 点 小テストを含む課題点 2 0 点 平常点 2 0 点により評価を行い、 6 0 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名 ・ 書名 ・ 出版社名 )

オリエンテーション時に指示する。

科目名	ハードウェア基礎		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

コンピュータのハードウェアと多様な周辺装置の基礎的知識を学ぶことにより、今後のコンピュータ 学習への基礎的な能力の育成します。

これからの社会生活に必要な不可欠なコンピュータの基礎的な仕組みを知り、自分の目的に合ったコン ピュータ活用ができるようにしていきます。

1. コンピュータの基本的な構成要素を理解する。
2. コンピュータ動作の原理を理解する。
3. 主要な装置と周辺機器のしくみを理解する。
4. 自分の手でコンピュータを組み立て、ハードウェアの実際を体験する。

#### 内容

1	コンピュータの概要とハードウェア
2	コンピュータ発展の歴史
3	コンピュータ各部の名称と働き
4	C P U 1 ( 動作原理、クロック、命令の流れ )
5	C P U 2 ( 高速化技術、パイプラインとスーパースケラ )
6	メモリ 1 ( メモリの種類 )
7	メモリ 2 ( メモリの特徴 )
8	入力装置 ( キーボード、マウス等 )
9	補助記憶装置 1 ( ハードディスク、フロッピーディスクの動作 )
10	補助記憶装置 2 ( C D - R O M、M O )
11	補助記憶装置 3 ( U S Bメモリ等 )
12	出力装置 1 ( C R Tディスプレイ、液晶ディスプレイ )
13	出力装置 2 ( カラープリンタ、ページプリンタ等 )
14	パーソナルコンピュータの組み立て実習
15	まとめ

#### 評価

授業での小テスト ( 30% ) と筆記試験 ( 70% ) により得点化を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

科目名	ハードウェア基礎		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

コンピュータのハードウェアと多様な周辺装置の基礎的知識を学ぶことにより、今後のコンピュータ 学習への基礎的な能力の育成します。

これからの社会生活に必要な不可欠なコンピュータの基礎的な仕組みを知り、自分の目的に合ったコン ピュータ活用ができるようにしていきます。

1. コンピュータの基本的な構成要素を理解する。
2. コンピュータ動作の原理を理解する。
3. 主要な装置と周辺機器のしくみを理解する。
4. 自分の手でコンピュータを組み立て、ハードウェアの実際を体験する。

#### 内容

1	コンピュータの概要とハードウェア
2	コンピュータ発展の歴史
3	コンピュータ各部の名称と働き
4	C P U 1 ( 動作原理、クロック、命令の流れ )
5	C P U 2 ( 高速化技術、パイプラインとスーパースケラ )
6	メモリ 1 ( メモリの種類 )
7	メモリ 2 ( メモリの特徴 )
8	入力装置 ( キーボード、マウス等 )
9	補助記憶装置 1 ( ハードディスク、フロッピーディスクの動作 )
10	補助記憶装置 2 ( C D - R O M、M O )
11	補助記憶装置 3 ( U S B メモリ等 )
12	出力装置 1 ( C R T ディスプレイ、液晶ディスプレイ )
13	出力装置 2 ( カラープリンタ、ページプリンタ等 )
14	パーソナルコンピュータの組み立て実習
15	まとめ

#### 評価

授業での小テスト ( 3 0 % ) と筆記試験 ( 7 0 % ) により得点化を行い、6 0 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

科目名	情報数学		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目では、情報関連科目を学ぶ上で必要となる数学を学び、基礎力を養う。

#### 科目の概要

コンピュータの仕組みを理解し効率的に活用する上で役立つ、オペレーションズリサーチの手法や基数法、基数変換、集合、ブール代数、論理演算、論理回路等について学び、問題演習を通してその定着を図る。

#### 学修目標

配布するプリントには講義内容を理解するための[例題]、理解度を確認するための[練習問題]、理解を深め応用力を養う[自習問題]の3種類の問題を用意している。講義を聞くだけでなくこれらの問題を実際に解くことにより、考え方を理解することを目指す。

#### 内容

1	位取りと係数、基数変換(10進数 n進数)
2	基数変換(2進数 8進数 16進数)
3	基数変換のまとめ
4	集合
5	場合の数・順列・組合せ
6	演習
7	ブール代数
8	カルノー図
9	論理回路
10	日程計画問題とPERT(1)
11	日程計画問題とPERT(2)
12	マルチプログラミングとガントチャート
13	演習
14	まとめ
15	総合演習

#### 評価

以下のふたつの評価方法のうち、高得点の方を評価として採用する。60点に満たない受講者には再試験を実施する。

- ・ 演習 : 25% + 演習 : 25% + 総合演習 : 50%
- ・ 総合演習 : 100%

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 【テキスト】

テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。講義で使用する配布資料・説明資料は総合教育システムで提供するので予習・復習に役立てること。

### 【参考図書】

- ・柳沢滋 『PERTのはなし』 日科技連出版社
- ・道和簡 『情報処理教科書 計算問題の解き方』 翔泳社

科目名	情報数学		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目では、情報関連科目を学ぶ上で必要となる数学を学び、基礎力を養う。

#### 科目の概要

コンピュータの仕組みを理解し効率的に活用する上で役立つ、オペレーションズリサーチの手法や基数法、基数変換、集合、ブール代数、論理演算、論理回路等について学び、問題演習を通してその定着を図る。

#### 学修目標

配布するプリントには講義内容を理解するための[例題]、理解度を確認するための[練習問題]、理解を深め応用力を養う[自習問題]の3種類の問題を用意している。講義を聞くだけでなくこれらの問題を実際に解くことにより、考え方を理解することを目指す。

#### 内容

1	位取りと係数、基数変換(10進数 n進数)
2	基数変換(2進数 8進数 16進数)
3	基数変換のまとめ
4	集合
5	場合の数・順列・組合せ
6	演習
7	ブール代数
8	カルノー図
9	論理回路
10	日程計画問題とPERT(1)
11	日程計画問題とPERT(2)
12	マルチプログラミングとガントチャート
13	演習
14	まとめ
15	総合演習

#### 評価

以下のふたつの評価方法のうち、高得点の方を評価として採用する。60点に満たない受講者には再試験を実施する。

- ・ 演習 : 25% + 演習 : 25% + 総合演習 : 50%
- ・ 総合演習 : 100%

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 【テキスト】

テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。講義で使用する配布資料・説明資料は総合教育システムで提供するので予習・復習に役立てること。

### 【参考図書】

- ・柳沢滋 『PERTのはなし』日科技連出版社
- ・道和簡 『情報処理教科書 計算問題の解き方』翔泳社

科目名	システム設計入門		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

プログラミング作業はシステムの開発の一部にすぎない。プログラミングの前には、要求分析、システム設計、プログラム設計の作業があり、さらに、プログラミングの後には、テストの作業がある。本科目では、システム開発の各作業について基礎的知識を習得する。

#### 科目の概要

まず、実際に使われているソフトウェアシステムにはどのようなシステムがあるかについて学ぶ。次に、そのシステムを開発するために、要求分析 (どのような機能をシステムは持つべきか)、システム設計 (システムの使い方をどうするのか)、プログラム設計 (システムを実現するのはプログラムの構造はどうすべきか)、プログラミング (どのようにプログラムを作成するのか)、テスト (意図通り動作しているかをどのように検証するのか)、について、どのような作業が必要で、どのような技法があり、成果物としてどのようなドキュメントを作成するのかについて学ぶ。最後に、チームで開発するためのプロジェクト管理、プロセス開発の手順について学ぶ。

#### 学修目標

システム開発をうまく行うにはどのように作業をし、どのような成果物を作成するかを理解する。

よいプログラムの書き方について学ぶ。

ITパスポート試験のマネジメント系分野について、合格レベルの知識を習得する。

### 内容

1	システム設計とは (どのような手順でシステムを開発するか)
2	システムの種類 (どのようなシステムが世の中に使われているか)
3	システム化 (システム化の意義、運用形態、活用形態、開発形態)
4	システム企画 (システム化のアイデアを出すには)
5	要求分析 (業務を分析し、システム化の機能を定めるには)
6	プロセス・データ中心開発手法 (システムの使い方、構造を定めるには)
7	構造化設計・プログラミング (プログラムを分かりやすくするには)
8	オブジェクト指向 クラス (プログラムを部品として利用するには)
9	オブジェクト指向 継承・多態性 (プログラムを一部修正、テンプレートとして再利用する)
10	UML (オブジェクト指向設計ではどのようなドキュメントを書くのか)
11	プログラミング (どのようなプログラミング言語が使われているか)
12	テスト・保守 (テストプログラムはどのように作成するか)
13	開発プロセス (各作業をどのような手順で行うか)
14	プロジェクト管理 (開発チームを成功裏に終わらせるには)
15	まとめ

## 評価

各回に出題する演習課題、理解度テスト、e-Learning小テストのいずれか(30点)、期末テスト(70点)にて評価し、その合計点が60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各回、資料を配布する。

参考図書は、必要に応じて随時教室で紹介する

科目名	システム設計入門		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

プログラミング作業はシステムの開発の一部にすぎない。プログラミングの前には、要求分析、システム設計、プログラム設計の作業があり、さらに、プログラミングの後には、テストの作業がある。本科目では、システム開発の各作業について基礎的知識を習得する。

#### 科目の概要

まず、実際に使われているソフトウェアシステムにはどのようなシステムがあるかについて学ぶ。次に、そのシステムを開発するために、要求分析 (どのような機能をシステムは持つべきか)、システム設計 (システムの使い方をどうするのか)、プログラム設計 (システムを実現するのはプログラムの構造はどうすべきか)、プログラミング (どのようにプログラムを作成するのか)、テスト (意図通り動作しているかをどのように検証するのか)、について、どのような作業が必要で、どのような技法があり、成果物としてどのようなドキュメントを作成するのかについて学ぶ。最後に、チームで開発するためのプロジェクト管理、プロセス開発の手順について学ぶ。

#### 学修目標

システム開発をうまく行うにはどのように作業をし、どのような成果物を作成するかを理解する。

よいプログラムの書き方について学ぶ。

ITパスポート試験のマネジメント系分野について、合格レベルの知識を習得する。

### 内容

1	システム設計とは (どのような手順でシステムを開発するか)
2	システムの種類 (どのようなシステムが世の中に使われているか)
3	システム化 (システム化の意義、運用形態、活用形態、開発形態)
4	システム企画 (システム化のアイデアを出すには)
5	要求分析 (業務を分析し、システム化の機能を定めるには)
6	プロセス・データ中心開発手法 (システムの使い方、構造を定めるには)
7	構造化設計・プログラミング (プログラムを分かりやすくするには)
8	オブジェクト指向 クラス (プログラムを部品として利用するには)
9	オブジェクト指向 継承・多態性 (プログラムを一部修正、テンプレートとして再利用する)
10	UML (オブジェクト指向設計ではどのようなドキュメントを書くのか)
11	プログラミング (どのようなプログラミング言語が使われているか)
12	テスト・保守 (テストプログラムはどのように作成するか)
13	開発プロセス (各作業をどのような手順で行うか)
14	プロジェクト管理 (開発チームを成功裏に終わらせるには)
15	まとめ

## 評価

各回に出題する演習課題、理解度テスト、e-Learning小テストのいずれか(30点)、期末テスト(70点)にて評価し、その合計点が60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各回、資料を配布する。

参考図書は、必要に応じて随時教室で紹介する

科目名	システム設計基礎		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

システム設計・開発の上流工程にあたるシステム企画、要求分析、システム設計、プログラム設計において、どのような方法・技法でどのような作業を行い、どのようなアウトプット (ドキュメント) を作成するかについて、実践的な演習を通じて学ぶ。

#### 科目の概要

現在、システム設計・開発手法の主流はオブジェクト指向設計である。そして、そのオブジェクト指向設計に基づくドキュメントとしてUMLが用いられている。このUMLの書き方、および書くための考え方、技法を学ぶ。

そして、実践的なシステムとして図書館システムを取り上げ、UMLを用いて、要求分析からシステム設計、プログラム設計、プログラミングまでを行い完成させる。

また、(株) 蓼科情報との産学連携授業でアンドロイドアプリのシステム企画を体験する。

#### 学修目標

プログラミングの前段階のシステム企画から設計までの作業を体験し、システムの企画から始めて完成させるまでにどのような考え方・技法で作業を行い、どのようなドキュメントを作成するか習得する。

## 内容

1	システム設計基礎で何を学ぶか。オブジェクト指向の復習 1 クラス
2	オブジェクト指向の復習 2 継承・多態性
3	UML 1 クラス図 クラス
4	UML 2 クラス図 多重度
5	UML 3 クラス図 関係
6	UML 4 クラス図 関連クラス
7	システム企画実践 1 テーマ説明
8	システム企画実践 2 企画アイデアの発想
9	システム企画実践 3 企画書作成
10	システム企画実践 4 企画発表
11	UML 5 図書館システム 1 (アクティビティ図 ユースケース図)
12	UML 6 図書館システム 2 (システム記述)
13	UML 7 図書館システム 3 (クラス図)
14	UML 8 図書館システム 4 (シーケンス図)
15	UML 9 図書館システム 5 (プログラミング)

## 評価

各回に出題する演習課題 (100 点) にて評価し、その平均点が 60 点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

各回、資料を配布する。

参考図書は、必要に応じて随時教室で紹介する。

科目名	システム設計基礎		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

システム設計・開発の上流工程にあたるシステム企画、要求分析、システム設計、プログラム設計において、どのような方法・技法でどのような作業を行い、どのようなアウトプット (ドキュメント) を作成するかについて、実践的な演習を通じて学ぶ。

#### 科目の概要

現在、システム設計・開発手法の主流はオブジェクト指向設計である。そして、そのオブジェクト指向設計に基づくドキュメントとしてUMLが用いられている。このUMLの書き方、および書くための考え方、技法を学ぶ。

そして、実践的なシステムとして図書館システムを取り上げ、UMLを用いて、要求分析からシステム設計、プログラム設計、プログラミングまでを行い完成させる。

また、(株) 蓼科情報との産学連携授業でアンドロイドアプリのシステム企画を体験する。

#### 学修目標

プログラミングの前段階のシステム企画から設計までの作業を体験し、システムの企画から始めて完成させるまでにどのような考え方・技法で作業を行い、どのようなドキュメントを作成するか習得する。

## 内容

1	システム設計基礎で何を学ぶか。オブジェクト指向の復習 1 クラス
2	オブジェクト指向の復習 2 継承・多態性
3	UML 1 クラス図 クラス
4	UML 2 クラス図 多重度
5	UML 3 クラス図 関係
6	UML 4 クラス図 関連クラス
7	システム企画実践 1 テーマ説明
8	システム企画実践 2 企画アイデアの発想
9	システム企画実践 3 企画書作成
10	システム企画実践 4 企画発表
11	UML 5 図書館システム 1 (アクティビティ図 ユースケース図)
12	UML 6 図書館システム 2 (システム記述)
13	UML 7 図書館システム 3 (クラス図)
14	UML 8 図書館システム 4 (シーケンス図)
15	UML 9 図書館システム 5 (プログラミング)

## 評価

各回に出題する演習課題 (100 点) にて評価し、その平均点が60 点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

各回、資料を配布する。

参考図書は、必要に応じて随時教室で紹介する。

科目名	プログラミング入門		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、プログラミングだけでなくアルゴリズム構築を必要とする科目の基礎となる科目であり、プログラム言語としてJavaを使用する科目の基礎ともなる。概要は、Javaの基本構文について学ぶとともに、プログラム開発の一般的な過程 - 設計・コーディング・テスト・デバッグ - を実際に体験し、基本的なアルゴリズムを理解する。授業では、毎回内容説明の後、課題を出すので、期日までに課題提出をしていく。

## 内容

1	オリエンテーション
2	プログラミング環境設定・理解
3	プログラミング環境使用詳細・理解
4	変数と計算
5	条件分岐構文 ( if文 )
6	条件分岐構文 ( 複数条件 )
7	条件分岐構文応用 ( 入れ子 )
8	応用課題
9	配列
10	繰り返し構文 ( for文 )
11	繰り返し構文と配列
12	繰り返し構文 ( while文 )
13	その他の繰り返し構文
14	繰り返し構文応用課題
15	まとめ応用課題

## 評価

課題点 80点 平常点 20点により評価を行い、60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング入門		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、プログラミングだけでなくアルゴリズム構築を必要とする科目の基礎となる科目であり、プログラム言語としてJavaを使用する科目の基礎ともなる。概要は、Javaの基本構文について学ぶとともに、プログラム開発の一般的な過程 - 設計・コーディング・テスト・デバッグ - を実際に体験し、基本的なアルゴリズムを理解する。

授業では、毎回内容説明の後、課題を出すので、期日までに課題提出をしていく。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	プログラミング環境設定・理解
3	プログラミング環境使用詳細・理解
4	変数と計算
5	条件分岐構文 ( if文 )
6	条件分岐構文 ( 複数条件 )
7	条件分岐構文応用 ( 入れ子 )
8	応用課題
9	配列
10	繰り返し構文 ( for文 )
11	繰り返し構文と配列
12	繰り返し構文 ( while文 )
13	その他の繰り返し構文
14	繰り返し構文応用課題
15	まとめ応用課題

#### 評価

課題点 80点 平常点 20点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング入門		
担当教員名	名児耶 厚		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、プログラミングだけでなくアルゴリズム構築を必要とする科目の基礎となる科目であり、プログラム言語としてJavaを使用する科目の基礎ともなる。概要は、Javaの基本構文について学ぶとともに、プログラム開発の一般的な過程 - 設計・コーディング・テスト・デバッグ - を実際に体験し、基本的なアルゴリズムを理解する。

授業では、毎回内容説明の後、課題を出すので、期日までに課題提出をしていく。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	プログラミング環境設定・理解
3	プログラミング環境使用詳細・理解
4	変数と計算
5	条件分岐構文 ( if文 )
6	条件分岐構文 ( 複数条件 )
7	条件分岐構文応用 ( 入れ子 )
8	応用課題
9	配列
10	繰り返し構文 ( for文 )
11	繰り返し構文と配列
12	繰り返し構文 ( while文 )
13	その他の繰り返し構文
14	繰り返し構文応用課題
15	まとめ応用課題

#### 評価

課題点 80点 平常点 20点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング入門		
担当教員名	名児耶 厚		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、プログラミングだけでなくアルゴリズム構築を必要とする科目の基礎となる科目であり、プログラム言語としてJavaを使用する科目の基礎ともなる。概要は、Javaの基本構文について学ぶとともに、プログラム開発の一般的な過程 - 設計・コーディング・テスト・デバッグ - を実際に体験し、基本的なアルゴリズムを理解する。

授業では、毎回内容説明の後、課題を出すので、期日までに課題提出をしていく。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	プログラミング環境設定・理解
3	プログラミング環境使用詳細・理解
4	変数と計算
5	条件分岐構文 ( if文 )
6	条件分岐構文 ( 複数条件 )
7	条件分岐構文応用 ( 入れ子 )
8	応用課題
9	配列
10	繰り返し構文 ( for文 )
11	繰り返し構文と配列
12	繰り返し構文 ( while文 )
13	その他の繰り返し構文
14	繰り返し構文応用課題
15	まとめ応用課題

#### 評価

課題点 80点 平常点 20点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング初級		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目は2年次以降のプログラミング関連科目の基礎に位置づけられ、プログラミング入門で学んだ基本構文をベースに、より複雑な処理のプログラミングについて学ぶ。

#### 科目の概要

目的に応じて必要な処理の流れを考え、入出力・演算・条件分岐・反復の基本構文を用いてプログラミングする力を課題演習の繰り返しにより養う。

#### 学修目標

基本構文の理解を深め、必要な処理の流れを考えてプログラミングする力の修得を目指す。

#### 内容

1	開発環境、基本構文の確認(入出力、演算)
2	基本構文の確認(条件分岐)
3	基本構文の確認(反復)
4	条件分岐の多重構造
5	条件分岐と反復を組み合わせた処理
6	反復の多重構造
7	アルゴリズムとフローチャート(1)
8	アルゴリズムとフローチャート(2)
9	メソッドの基礎
10	メソッドの利用
11	いろいろなメソッド
12	メソッドの応用(1)
13	メソッドの応用(2)
14	まとめ
15	総合演習

#### 評価

各回で出題する課題(80%)と授業への取り組み(20%)により総合的に評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】

テキストは使用しない。

**【参考図書】**

- ・高橋麻奈 『やさしいJava 第4版』 ソフトバンククリエイティブ
- ・柴田望洋 『明解Java 入門編』 ソフトバンククリエイティブ
- ・柴田望洋 『明解Javaによるアルゴリズムとデータ構造』 ソフトバンククリエイティブ

科目名	プログラミング初級		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目は2年次以降のプログラミング関連科目の基礎に位置づけられ、プログラミング入門で学んだ基本構文をベースに、より複雑な処理のプログラミングについて学ぶ。

#### 科目の概要

目的に応じて必要な処理の流れを考え、入出力・演算・条件分岐・反復の基本構文を用いてプログラミングする力を課題演習の繰り返しにより養う。

#### 学修目標

基本構文の理解を深め、必要な処理の流れを考えてプログラミングする力の修得を目指す。

#### 内容

1	開発環境、基本構文の確認(入出力、演算)
2	基本構文の確認(条件分岐)
3	基本構文の確認(反復)
4	条件分岐の多重構造
5	条件分岐と反復を組み合わせた処理
6	反復の多重構造
7	アルゴリズムとフローチャート(1)
8	アルゴリズムとフローチャート(2)
9	メソッドの基礎
10	メソッドの利用
11	いろいろなメソッド
12	メソッドの応用(1)
13	メソッドの応用(2)
14	まとめ
15	総合演習

#### 評価

各回で出題する課題(80%)と授業への取り組み(20%)により総合的に評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】

テキストは使用しない。

**【参考図書】**

- ・高橋麻奈 『やさしいJava 第4版』 ソフトバンククリエイティブ
- ・柴田望洋 『明解Java 入門編』 ソフトバンククリエイティブ
- ・柴田望洋 『明解Javaによるアルゴリズムとデータ構造』 ソフトバンククリエイティブ

科目名	プログラミング中級		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

プログラミング入門、初級と学んできたJava言語に引き続き、本科目では、Java言語の最大の特徴であるオブジェクト指向プログラミングの書き方について学ぶ。オブジェクト指向について理解するには、プログラムとは何か、何を書くのかといったプログラミングの概念を理解しておく必要があり、前半は、入門、初級の復讐を兼ね、プログラミングの概念を学び、後半にオブジェクト指向について学ぶ。

##### 科目の概要

前半は、Java言語の復讐を行うが、プログラミング入門、初級でのJavaの文法を中心とした書き方ではなく、プログラムの意味、考え方について学び、分かりやすいプログラムの作成方法を、演習を通じて習得する。後半は、Javaの特徴であるオブジェクト指向プログラムについて、その書き方、考え方について学び、分かりやすく再利用・変更しやすいプログラムの作成方法を、演習を通じて習得する。

##### 学修目標

Javaの特徴であるオブジェクト指向プログラミングの書き方を理解し、よい ( 分かりやすく、再利用しやすく、修正が容易な ) プログラムを作成できるようになることを目指す。

#### 内容

1	プログラミング中級で何を学ぶか
2	プログラミングとは
3	擬似言語とプログラミング
4	プログラムの理解
5	基本データ型・演算の拡張
6	構造化プログラミング 1 制御構造 選択
7	構造化プログラミング 2 制御構造 繰り返し
8	構造化プログラミング 3 段階的詳細化
9	構造化プログラミング 4 データの構造化
10	オブジェクト指向プログラミング 1 クラス
11	オブジェクト指向プログラミング 2 情報隠蔽
12	オブジェクト指向プログラミング 3 部品化
13	オブジェクト指向プログラミング 4 継承
14	オブジェクト指向プログラミング 5 多態性
15	最終課題

#### 評価

各回に出題する演習課題 (100 点) にて評価し、その平均点が60 点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

各回、資料を配布する。

参考図書は、必要に応じて随時教室で紹介する。

科目名	プログラミング中級		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

プログラミング入門、初級と学んできたJava言語に引き続き、本科目では、Java言語の最大の特徴であるオブジェクト指向プログラミングの書き方について学ぶ。オブジェクト指向について理解するには、プログラムとは何か、何を書くのかといったプログラミングの概念を理解しておく必要があり、前半は、入門、初級の復讐を兼ね、プログラミングの概念を学び、後半にオブジェクト指向について学ぶ。

##### 科目の概要

前半は、Java言語の復讐を行うが、プログラミング入門、初級でのJavaの文法を中心とした書き方ではなく、プログラムの意味、考え方について学び、分かりやすいプログラムの作成方法を、演習を通じて習得する。後半は、Javaの特徴であるオブジェクト指向プログラムについて、その書き方、考え方について学び、分かりやすく再利用・変更しやすいプログラムの作成方法を、演習を通じて習得する。

##### 学修目標

Javaの特徴であるオブジェクト指向プログラミングの書き方を理解し、よい ( 分かりやすく、再利用しやすく、修正が容易な ) プログラムを作成できるようになることを目指す。

#### 内容

1	プログラミング中級で何を学ぶか
2	プログラミングとは
3	擬似言語とプログラミング
4	プログラムの理解
5	基本データ型・演算の拡張
6	構造化プログラミング 1 制御構造 選択
7	構造化プログラミング 2 制御構造 繰り返し
8	構造化プログラミング 3 段階的詳細化
9	構造化プログラミング 4 データの構造化
10	オブジェクト指向プログラミング 1 クラス
11	オブジェクト指向プログラミング 2 情報隠蔽
12	オブジェクト指向プログラミング 3 部品化
13	オブジェクト指向プログラミング 4 継承
14	オブジェクト指向プログラミング 5 多態性
15	最終課題

#### 評価

各回に出題する演習課題 (100 点) にて評価し、その平均点が60 点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

各回、資料を配布する。

参考図書は、必要に応じて随時教室で紹介する。

科目名	プログラミング上級		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目では、プログラミング入門、初級、中級で学んできた内容を総合的に活用する。

#### 科目の概要

ゲームのプログラミングを通してJavaの特徴であるオブジェクト指向の概念・活用方法について理解を深めるとともに、規模の大きなプログラムを効率的に作成する力を身につける。

#### 学修目標

基本構文を駆使し、必要な処理の流れを考えてオブジェクト指向のプログラムを作成する力の修得を目指す。

#### 内容

1	Javaの概要と開発環境
2	基本構文の復習
3	クラスの理解とJava APIの利用(1)
4	クラスの理解とJava APIの利用(2)
5	クラスの設計(1)
6	クラスの設計(2)
7	移動パターンの設計・作成(1)
8	移動パターンの設計・作成(2)
9	大量のキャラクターの処理(1)
10	大量のキャラクターの処理(2)
11	大量のキャラクターの処理(3)
12	大量のキャラクターの処理(4)
13	効果音の追加と仕上げ(1)
14	効果音の追加と仕上げ(2)
15	まとめ

#### 評価

提出された課題(80%)と授業への取り組み(20%)により総合的に評価する。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

##### 【テキスト】

大槻有一郎 『15歳からはじめるJAVAわくわくゲームプログラミング教室』ラトルズ

#### 【参考図書】

- ・高橋麻奈 『やさしいJava 第4版』 ソフトバンククリエイティブ
- ・柴田望洋 『明解Java 入門編』 ソフトバンククリエイティブ
- ・柴田望洋 『明解Javaによるアルゴリズムとデータ構造』 ソフトバンククリエイティブ

科目名	プログラミング上級		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目では、プログラミング入門、初級、中級で学んできた内容を総合的に活用する。

#### 科目の概要

ゲームのプログラミングを通してJavaの特徴であるオブジェクト指向の概念・活用方法について理解を深めるとともに、規模の大きなプログラムを効率的に作成する力を身につける。

#### 学修目標

基本構文を駆使し、必要な処理の流れを考えてオブジェクト指向のプログラムを作成する力の修得を目指す。

#### 内容

1	Javaの概要と開発環境
2	基本構文の復習
3	クラスの理解とJava APIの利用(1)
4	クラスの理解とJava APIの利用(2)
5	クラスの設計(1)
6	クラスの設計(2)
7	移動パターンの設計・作成(1)
8	移動パターンの設計・作成(2)
9	大量のキャラクターの処理(1)
10	大量のキャラクターの処理(2)
11	大量のキャラクターの処理(3)
12	大量のキャラクターの処理(4)
13	効果音の追加と仕上げ(1)
14	効果音の追加と仕上げ(2)
15	まとめ

#### 評価

提出された課題(80%)と授業への取り組み(20%)により総合的に評価する。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

##### 【テキスト】

大槻有一郎 『15歳からはじめるJAVAわくわくゲームプログラミング教室』ラトルズ

【参考図書】

- ・高橋麻奈 『やさしいJava 第4版』 ソフトバンククリエイティブ
- ・柴田望洋 『明解Java 入門編』 ソフトバンククリエイティブ
- ・柴田望洋 『明解Javaによるアルゴリズムとデータ構造』 ソフトバンククリエイティブ

科目名	ゲームプログラミング		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

近年 AndroidOSはスマートフォン、タブレット、テレビや自動車などにも採用され、様々な分野に広がっています。この Androidではプログラミング言語としてJavaが使われており、開発環境としてはEclipseを使用します。そこで、Javaプログラミングの学習の一環として、AndroidOS上で動くゲームプログラムをJavaで作成していきます。開発環境は、プログラミング入門以降使用しているEclipseを利用します。ゲームを題材として大きなプログラムの作成を体験し、プログラミング能力の更なる向上を目的とします。また同時に AndroidOSや携帯端末で利用可能なハードウェアの知識も学びます。履修条件としては、プログラミング入門、初級、中級、上級を履修していることが望ましい。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	Androidの基礎知識
3	開発環境の構築
4	背景の設定
5	ゲームの基本クラスを設定
6	ジョイスティックの表示
7	プレイヤー機の動きを変える
8	敵の表示
9	攻撃ボタンの追加
10	弾の発射
11	敵の攻撃
12	タイトル画面の作成
13	ステージ2の作成
14	サウンドの追加
15	まとめ

#### 評価

平常点30点、課題点70点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	ゲームプログラミング		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

近年 AndroidOSはスマートフォン、タブレット、テレビや自動車などにも採用され、様々な分野に広がっています。この Androidではプログラミング言語としてJavaが使われており、開発環境としてはEclipseを使用します。そこで、Javaプログラミングの学習の一環として、AndroidOS上で動くゲームプログラムをJavaで作成していきます。開発環境は、プログラミング入門以降使用しているEclipseを利用します。ゲームを題材として大きなプログラムの作成を体験し、プログラミング能力の更なる向上を目的とします。また同時に AndroidOSや携帯端末で利用可能なハードウェアの知識も学びます。履修条件としては、プログラミング入門、初級、中級、上級を履修していることが望ましい。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	Androidの基礎知識
3	開発環境の構築
4	背景の設定
5	ゲームの基本クラスを設定
6	ジョイスティックの表示
7	プレイヤー機の動きを変える
8	敵の表示
9	攻撃ボタンの追加
10	弾の発射
11	敵の攻撃
12	タイトル画面の作成
13	ステージ2の作成
14	サウンドの追加
15	まとめ

#### 評価

平常点30点、課題点70点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	Webアプリケーション		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

インターネットの普及により、アプリケーションプログラムの実行形態は、Web ブラウザからサーバサイドのプログラムを起動し、その結果をWeb ブラウザに返すサーバサイドプログラムというWeb ベースのアプリケーションが主流になってきている。本科目では、サーバサイドプログラムの開発で最も使われているサーブレット・JSPを用いて、サーバサイドプログラムを構築する基礎技術を習得することを狙いとする。

#### 科目の概要

サーブレット・JSPについて、「Hello」と表示するだけの簡単なプログラムの作成からはじまり、Javaの復讐をしながら、条件分岐・繰り返しのあるプログラム、テーブルを表示するプログラム、データ入力を扱うプログラム、画面遷移・データの受け渡しを行うプログラムの作成へと進み、サーブレット・JSPプログラム作成の基礎を学ぶ。

#### 学修目標

サーブレット・JSPプログラム作成の基礎を理解し、簡単なサーブレット・JSPプログラムが作成できるようにする。

## 内容

1	サーバサイドプログラミングとは
2	開発環境の準備とはじめてのサーブレット
3	日本語HTMLを表示するサーブレット
4	入力処理をするサーブレット
5	他のクラスを利用するサーブレット
6	はじめてのJSP
7	テーブルを表示するJSP
8	様々な入力フォーム
9	入力チェック
10	画面遷移
11	データの受け渡し リクエストスコープ
12	データの受け渡し セッションスコープ
13	データの受け渡し セッションスコープ2
14	データの受け渡し アプリケーションスコープ
15	最終課題

## 評価

各回に出題する演習課題(100点)にて評価し、その平均点が60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【参考図書】 宮本信二著「基礎からのサーブレット/JSP」 SoftBankCreative

必要に応じて、参考図書を紹介したり、資料を配布する

科目名	Webアプリケーション		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

インターネットの普及により、アプリケーションプログラムの実行形態は、Web ブラウザからサーバサイドのプログラムを起動し、その結果をWeb ブラウザに返すサーバサイドプログラムというWeb ベースのアプリケーションが主流になってきている。本科目では、サーバサイドプログラムの開発で最も使われているサーブレット・JSPを用いて、サーバサイドプログラムを構築する基礎技術を習得することを狙いとする。

#### 科目の概要

サーブレット・JSPについて、「Hello」と表示するだけの簡単なプログラムの作成からはじまり、Javaの復讐をしながら、条件分岐・繰り返しのあるプログラム、テーブルを表示するプログラム、データ入力を扱うプログラム、画面遷移・データの受け渡しを行うプログラムの作成へと進み、サーブレット・JSPプログラム作成の基礎を学ぶ。

#### 学修目標

サーブレット・JSPプログラム作成の基礎を理解し、簡単なサーブレット・JSPプログラムが作成できるようにする。

## 内容

1	サーバサイドプログラミングとは
2	開発環境の準備とはじめてのサーブレット
3	日本語HTMLを表示するサーブレット
4	入力処理をするサーブレット
5	他のクラスを利用するサーブレット
6	はじめてのJSP
7	テーブルを表示するJSP
8	様々な入力フォーム
9	入力チェック
10	画面遷移
11	データの受け渡し リクエストスコープ
12	データの受け渡し セッションスコープ
13	データの受け渡し セッションスコープ2
14	データの受け渡し アプリケーションスコープ
15	最終課題

## 評価

各回に出題する演習課題(100点)にて評価し、その平均点が60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【参考図書】 宮本信二著「基礎からのサーバレット/JSP」 SoftBankCreative

必要に応じて、参考図書を紹介したり、資料を配布する

科目名	生活情報総合講義		
担当教員名	泉 直子、栗原 隆史、亀田 温子、田倉 昭 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

生活情報学科では、2年時後期よりプレゼミが始まる。プレゼミは、3年次の演習、4年次の卒業研究に大事な科目となっている。

本学科の教育・研究分野は広い範囲にわたっており、所属するゼミで取り扱う内容も様々である。したがって、ゼミを選択する際には自己の興味関心や将来自分の進みたい分野を十分に考えて所属ゼミを決定していく必要がある。

本科目の前半では、ゼミを開講する生活情報学科所属の教員がゼミの内容について1コマずつ交代で講義していき、ゼミ選択のための情報を提供していく。また、後半では、就職活動の前準備として、自己成長に有意義な文章力、質問力、プレゼン力の育成とディスカッション、スピーチ練習を通じて自己分析や発信力の育成を目的とした講義を進めていく。

内容

1	オリエンテーション、授業の進め方、プレゼミ選択の方法等の説明
2	ゼミ紹介 ( 1 )
3	ゼミ紹介 ( 2 )
4	ゼミ紹介 ( 3 )
5	ゼミ紹介 ( 4 )
6	ゼミ紹介 ( 5 )
7	ゼミ紹介 ( 6 )
8	ゼミ紹介 ( 7 )
9	第1回 プレゼミ登録
10	文書力・傾聴力・質問力養成のためのワークショップ
11	プレゼン力養成のためのワークショップ
12	4年生の就職活動報告とグループでディスカッション
13	DTコースの話題でグループディスカッション
14	ビジネスの話題でグループディスカッション
15	まとめ ( 自分企画書に相当するもの )

評価

出席状況30%、授業への取組姿勢30%、授業内での課題40%により評価する。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Lクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1 プレゼミは、ゼミ担任が担当する3年時の「演習 ・ 」、4年時の「卒業研究」にむけて、基礎学力を育成することを狙いとする科目である。

2 プレゼミはプロジェクト方式で行い、テーマは「女性と仕事プロジェクト」とし、商品開発に関わる仕事に取り組む女性たちを調べる。同時に大学グッズの商品開発についてしらべ、学生自身が十文字の大学グッズの開発を行う企画などを計画する。

- 3、
- ・女性の職業参加の現状をとらえる基礎学習として、統計による概要をとらえる。
  - ・商品開発に関わる女性の事例・情報を収集するなど、関連の情報をとらえ、まとめ、発表する。
  - ・自分が関心をもつテーマを設定する。

#### 内容

プレゼミのテーマにかかわる基礎となる学習を行い、プロジェクトにより具体的に何を進めるか、その方法と実際の計画を立て、企画作りを進める。

- 1 基礎学習として、女性の職業参加の実態を統計やさまざまなデータからとらえる。
- 2 商品開発についての情報を関係雑誌やデータから把握し、その動きを整理する。

プロジェクト関連としては、進め方、関連情報、企画準備どを行う。

- 1 プロジェクトのテーマ設定・内容－ブレインストーミング
- 2 進め方について
- 3 大学グッズについての情報収集
- 4 グループワークにより商品開発の企画  
事例によりヒアリング
- 5 具体事例の検討
- 6 新企画案の作成・プレゼン準備
- 7 企画報告

## 評価

課題への取組（30%）、レポートや報告・発表（30%）、授業への参加度（40%）などを合わせて評価し、60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に随時紹介する。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

3年次の「演習」、4年次の「卒業研究」に接続させるために専門分野に関する知識や技術を学ぶ。

各自の興味関心に応じたゼミを選択し、選択した分野の基礎や研究方法などを学んでいく。

1. 選択した分野の基礎を積極的に学ぶ。
2. 各自の達成目標を設定して、到達できるように努力する。
3. テキスト以外の勉強方法や調査方法などを習得し、自発的学習能力を身につける。

#### 内容

各自の興味や関心にしたがって、プログラミングを中心とするグループ、グラフィックス中心のグループ、地理情報システム ( G I S ) のグループを選択し、それぞれの基礎を学んでいく。

また、各種の情報関係資格の取得や S P I などの講座も実施する。

#### 評価

日常の取り組み姿勢 ( 5 0 % ) と課題の進捗度 ( 5 0 % ) などを点数化し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

とくに指定しない。必要な都度、プレゼミの中で紹介していく。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

プレゼミは、各ゼミ担当教員が担当する3年次の演習・、4年次の卒業研究・に向けての基礎学力を育成するのが狙いである。

ゲーム作成、アニメーション作製を通してソフトウェアを作成する各工程の理解、コンピューターの総合的な知識の理解を深める。

更に、ソフトウェア作成は一人作ることはあまりなく、複数の人で作ることが多い。

このソフトウェア作成を通し、協調性を身に着けるとともに、グループの中で、自分の意見を言うことができる表現力も身に着け、演習・、卒業研究をスムーズに進められるようにしたい。

ゼミのテーマに関する基礎知識を学習すると共に、自主的に調査・研究・開発する能力、問題を見出し解決していく能力、レポートにまとめ発表する能力を育成する。また、社会性のある人間を育てることを目的とする。

#### 内容

ゼミでは、以下に述べるゼミのテーマに関する基礎知識を学習すると共に、学生の自主的学習に向けて、独自調査・研究・開発、プレゼンテーション、ディスカッションなど様々な形式によって学生個人に合わせた教育を行う。

アニメーション作成の準備とそれに関連した課題の発表をおこなう。

1. FLASH などのアニメーションツールの習得
2. プログラミング 言語の習得
3. アニメーション作成
4. 埼玉地域の昔話の絵本作成
5. 埼玉地域の生活についてのデジタル表現について (Excel データベース、ホームページなど)
6. 情報関連の資格取得するための準備

また、アニメーション作成ツールを理解するとともに「ゲーム、デジタル絵本作成、Web」について各自テーマを決め、Power Point を用いて自分たちで調べたこと、考えたこと、パソコンで実験したことを発表し、皆で討論する。ゼミは基本的に、発言し、討論する場を多くしたい。

課題の例：ホームページと色表現、CG 誕生の歴史、アニメ制作のワークフロー、ホームページに有効なデジカメ写真の撮り方など

#### 評価

課題・発表(約50点)、取り組み姿勢(約50点)などを総合的に評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指定する。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

プレゼミナールは、3年次の演習・、4年次の卒業研究・に向けての基礎学力を育成するのがねらいである。自主的に調査・研究・開発する能力、問題を発見し解決していく能力、レポートにまとめ発表する能力を育成する。自主的な学習の結果を定期的に行う進捗報告会で発表することにより、研究に関する基礎能力を養成することができる。

#### 内容

学生ごとに興味のある分野に関して基礎知識を、学生が自主的に学習する。学習した成果を作品としてまとめ、プレゼンテーション、ディスカッションにより3年生での演習につなげていく。

#### 評価

課題発表 ( 約50 点 )、取り組み姿勢 ( 約50 点 ) などを総合的に評価し、60 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

テーマごとに適宜紹介する。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

情報化が進み、変化の激しい現代の社会において必要とされる能力とはどのようなものであろうか。従来の大量生産システムに代表される社会においては、指示されたことをそのとおりにできることや、的確な事務処理能力などを備えていることが好ましいとされていた。しかし、今では社会の変化が著しく、しかも人々の価値観や好みは多様を極めている。

このような現代社会においては、自分の考えや価値観を認識することが必要である。さらにどのような変化にも適応できるためには、独力で新しい物事を学んでいけるだけの強い意志力と柔軟な思考力が求められている。

本科目では未知の事態に直面した場合に発揮されるべき認識力、分析力、表現力等を、調査の企画とデータ分析を通して身につけることを目標としている。また就職活動において基礎となるSPIや自己分析に関する活動も行う。

#### 内容

- 1 オリエンテーション
- 2 自分を知る：適性テスト
- 3 自分を知る：自己分析
- 4 SPI ( 数的処理 ) 計算問題
- 5 SPI ( 数的処理 ) 集合・確率
- 6 SPI ( 数的処理 ) 理論・その他
- 7 SPI ( 言語 ) 語彙関係
- 8 SPI ( 言語 ) ことわざ・四字熟語
- 9 SPSSによるデータ解析 ( 1 ) 度数分布・基礎統計
- 10 SPSSによるデータ解析 ( 2 ) クロス表・ 二乗検定
- 11 SPSSによるデータ解析 ( 3 ) 相関・回帰
- 12 SPSSによるデータ解析 ( 4 ) 平均の差の検定・分散分析
- 13 プレゼン手法
- 14 課題作成
- 15 課題発表

#### 評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1 . 授業に対する意欲と態度 ( 30% )
- 2 . 課題発表の達成度 ( 70% )

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

必要に応じて授業内で指示する

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

インターネットの普及と記憶媒体の大容量化に伴い、多くの情報がデータベースに蓄積されている。そこで、多くの情報から知識や規則等を抽出する、いわゆるデータマイニングが注目されている。本プレゼミナールでは、演習 ・ 卒業研究において、データマイニングを扱う上で必要と考えられる、コンピュータの利用方法・プログラミング等の復習・基礎的な知識の獲得を行う。また、プログラミング技術の向上や、システムの理解のために、ゲーム作成も行っており、プレゼミナールでは、プログラミング言語の復習も行う。

本授業中に数回の発表を行うことにより、ドキュメンテーション技術・プレゼンテーション技術を身につける。

内容

1	オリエンテーション
2	プログラミング言語の復習 (基本構文)
3	プログラミング言語の復習 (メソッド)
4	プログラミング言語の復習 (クラスの作成)
5	プログラミング言語の復習 (継承)
6	中間発表
7	データマイニングの基礎的知識を獲得する (データの種類)
8	データマイニングの基礎的知識を獲得する (解析手法と使用データ)
9	データマイニングの基礎的知識を獲得する (主成分分析)
10	データマイニングの基礎的知識を獲得する (クラスター分析)
11	練習用データでの解析練習 (主成分分析)
12	解析内容の発表
13	練習用データでの解析練習 (クラスター分析)
14	解析内容の発表
15	総合課題

評価

平常点 20 点、自分の研究内容理解及び、発表点 80 点により評価を行い、60 点以上を合格とする。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Hクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

##### 科目の性格

3年次の演習に向けて基礎的な経済学について学習する。

##### 科目の概要

基礎的な文献と輪読し、共通理解を深める。

##### 学修目標

経済学について基礎的な知識を身につける。

#### 内容

3年次からの演習を速やかにすすめるために、基礎的な内容を学習する。特に、日本経済や経営に関する問題などを新聞、雑誌などを読みながら進めていく。また、日本銀行、東京証券取引所などを見学するなどして現実の経済の動きを身近に感じられるようにする。

#### 評価

プレゼミでの発表(50%)。レポート作成(50%)。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示する。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Jクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

3年次からのゼミナールにむけて、社会学の実証研究に必要な社会調査のデータ活用について学習する。まず、それぞれの関心テーマに応じて、必要な統計調査データを活用できるように、情報の収集および分析の方法を学ぶ。ついで、分析結果をプレゼンテーションし、グループワークでディスカッションすることによって考察を深め、最後にはレポートにまとめて報告する技術を習得する。

#### 内容

まず、官庁統計や社会調査のデータにどのような種類のものがあるか、以下のサイトを使って学習する。

1. 首相官邸 白書等 ( 年次報告書 )
2. 内閣府 世論調査・特別世論調査 ( インデックス )
3. 総務省統計局
4. 東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター

ついで、受講生各自の関心テーマについて、必要な統計調査データを上記サイトから収集し、分析してプレゼンテーションする。受講生同士のディスカッションによって考察を深め、結果をレポートにまとめる。

#### 評価

授業中の発表や討議 ( 40% ) と学期末のレポート ( 60% ) によって評価する。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

教科書と推薦書は、参加学生の関心に照らして、授業時に指示する。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は卒業研究を進めるための基礎作りに位置づけられる。

問題発見・解決手法としてデータ解析 ( 統計解析・多変量解析 ) とオペレーションズリサーチの概要を学ぶとともに、レポートを作成し、プレゼンテーションする力を養う。

#### 内容

データ解析およびオペレーションズリサーチの事例調査を通して

- ・どのような手法があるのか
- ・どのような問題に適用できるのか

を学ぶ。さらに調査結果をレポートにまとめ、発表することにより、レポートの要件・まとめ方とプレゼンテーション技法を学ぶ。

#### 評価

課題・発表 : 70% + 取り組み : 30% で評価し、60 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

テキストは使用せず、必要に応じてプリントを配布する。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Kクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格：

本科目は、3年生の演習 ・ 、4年生の卒業研究 ・ へむけての過程としての位置付けとなり、3・4年生でのゼミナール活動を行う際の基礎知識を身につけます。

科目の概要：

生活者・消費者としての法の世界との出会い、ビジネスパーソンとしての法律との関わりなどを学びます。

科目の目的：

広く社会に関心を持ち、現状を踏まえ、それらをめぐる法律はどのようになっているのか、法の目的や紛争解決手段を学びます。

#### 内容

日常生活でも仕事をしていく上でも重要な「契約」や「紛争解決制度」など身近なテーマを取り上げて法的な基礎知識を身につけます。

参加者は課題の予習を行い、それを踏まえて参加者による積極的な質疑応答・ディスカッションを通じて、理解を深めます。

#### 評価

授業中の発表（30%）・報告・議論への参加態度（30%）、ワークシート記入・レポート作成等（40%）により評価します。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

参加学生の関心に照らし、授業時に指示します。また、適宜資料の配布をします。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

3年次の演習、4年次の卒業研究に向けての基礎学力および制作力を育成します。

ゼミのメインテーマ ( 映像、グラフィックデザイン、Webなどの制作およびメディアリテラシー研究 ) に関する基礎知識の学習および基礎作品制作を行います。自主的に調査・研究する 計画的に制作する 発表するという3つを円環的に行います。また、グループワークを通じて実社会への適応能力を育成することも目的とします。

プロセスの理解、企画構成の手法、デザイン理論の習得を目標とします。また、メディアリテラシーの基礎能力を獲得し、メディア表現としての様々な知識獲得も目標とします。

#### 内容

様々な基礎演習を行い、デザイン能力やディレクション能力の向上を目指し、作品制作により制作者側の視点からメディアリテラシーおよびメディア表現能力の向上を目指します。

( 例として )

- ・映像 ( 特にテレビ番組を中心 ) の影響力を知るためのテレビ日記作成
- ・ニュース原稿や番組制作の基礎となる企画・構成演習
- ・構成能力の基礎となる組写真による構成演習
- ・映像制作の基礎となるワンシーンワンカット作品制作
- ・デザイン理論の基礎となる画面構成やコピー
- ・アイデア会議やマインドマップの手法

グループまたは単独による発表が数回ありますので、主体的に取り組む姿勢が不可欠です。

#### 評価

討論参加度 (30%)、発表 (20%)、作品 (30%)、レポート (20%) で総合的に判断します。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

必要に応じてプリントや資料を配布します。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Mクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 科目の性格

本科目は、3年次の演習、4年次の卒業研究に向けてのファースト・ステップとして簿記論、会計学の基礎知識を習得して卒業研究等に関する基礎能力を育成する科目である。

##### 科目の概要

ビジネスパーソン必須の簿記・会計等を学ぶ。

授業内の演習における課題発表およびレポート・ホームワーク等の提出がある。

##### 学修目標

ビジネスマンとしてのアカウントティングマインドを身につけ、企業等からも即戦力として評価される日商簿記検定試験等の資格取得を目指す。また課題発表を通じて就活対策としての発表力・表現力も身につける。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	会社を知る力
3	ビジネスと会計
4	財務諸表の基礎
5	現預金取引
6	有価証券取引
7	債権・債務取引
8	手形取引
9	引当金取引
10	商品売買取引
11	特殊商品売買取引
12	固定資産取引
13	損益取引
14	株式会社会計
15	決算

#### 評価

以下の2点を総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

- 1 . 発表を含む授業に対する取り組み姿勢（70%）
- 2 . レポート・ホームワーク（演習問題）等の提出（30%）

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

適宜プリント等を配布する。

書籍等については必要に応じて授業内で指示する。

科目名	演習		
担当教員名	長坂 敏史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Pクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

4年間の集大成として卒業論文を完成する。3年次までに習得した知識、特に、演習で学んだアプローチ方法や分析手法を用いて身近なビジネスに関する問題から学術上や実務におけるビジネスや経営に関わる論点の中から、各自の興味に応じて設定したテーマに基づき研究し論文にまとめる。主体的に研究に取り組むことにより、自主性、積極性といった精神的態度を涵養すると同時に、自らの有する知識や技術を統合し応用する能力を育てる

#### 内容

前期では、基本テキストを使用し、各自分担したテーマに応じて内容を調べ、発表し、議論する。後期には、基本テキストの学習と並列して、各自の関心に基づいて関連する文献の調査等を行い、みんなで報告しあい卒業研究のテーマを絞っていく。

#### 評価

課題・発表(50点)、取組み姿勢(50点)などを総合的に評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。必要な都度、ゼミの中で紹介していく。

科目名	演習		
担当教員名	中尾 茂子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Nクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

本科目は、生活情報学科必修科目であり、これに続く演習 とともに 4 年次の卒業研究の準備を整える科目である。

##### 科目の概要

ネットワーク技術を活用した新しい情報システムが次々と開発され、ビジネスや教育など幅広い分野でそれらを使った活動がなされており、私たちの生活の中に情報技術が浸透してきている。このような情報技術の進展と普及は、人間社会に利便性を与えると同時にマイナスの影響をもたらす危険性も持っている。このような情報社会の中で豊かな生活を実現するために、事例や動向を調査することで情報システムの役割や情報技術の人間・社会への影響について考える。

##### 学修目標

社会と情報技術の関わりを学習する。

情報技術の人間・社会への影響について理解を深める。

調査内容や自分の考えをまとめて発表できる。

#### 内容

情報技術が私たちの生活、教育、ビジネス分野などでどのように活用されているのか、人間や社会にどのような影響を与えているのか、どのような研究がなされているのか、事例や動向を文献やインターネットなどを利用して調べ、それらの問題点を整理し、発表しあう。

- 1．情報システムに関する学習
- 2．コンピュータ関連雑誌の記事紹介
- 3．研究論文の紹介

講義形式ではなく、プレゼンテーションを行う機会を多くすることにより、話し方の技術、わかりやすい資料の作成方法や表現方法などの発表技術を学び、自分の考えを他人に的確に伝える力を身につける。

#### 評価

授業での学習態度40点、提出課題30点、プレゼンテーション30点として評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。

科目名	演習		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Lクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1 4年時の卒業研究につなげる基礎学習である。生活情報学科の3年前期必修科目

2 ゼミテーマとしている「現代社会と女性の活躍」にかかわる状況を把握する本、論文などによる学習をおこない、各自の関心領域やテーマを設定し、ゼミ論文の作成につなげる。

3 後期のゼミ論文の作制につながる学習を行う。

## 内容

ゼミテーマである「現代社会と女性の活躍」についての学習を、次のことをもとに行う。

- 1 基本テキストの購読
- 2 関連調査資料・データをしらべ、内容を読み取る
- 3 新聞雑誌記事などから関係の内容を検索する方法
- 4 内容のまとめ、プレゼンによるグループワーク
- 5 4年生とのキャリア交流会などで、就職活動への動機付け、自分の取り組みを考える。
- 6 テーマを設定し、ゼミ論文の作成計画を立て、後期につなげる。

## 評価

課題への取組 ( 30% )、レポートや報告・発表 ( 30% )、授業への参加度 ( 40% ) などを合わせて評価し、60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業時に随時紹介する。

科目名	演習		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

3年次の「演習」、4年次の「卒業研究」に接続させるために専門分野に関する知識や技術を学ぶ。

各自の興味関心に応じたゼミを選択し、選択した分野の基礎や研究方法などを学んでいく。

1. 選択した分野の基礎を積極的に学ぶ。
2. 各自の達成目標を設定して、到達できるように努力する。
3. テキスト以外の勉強方法や調査方法などを習得し、自発的学習能力を身につける。

#### 内容

各自の興味や関心にしたがって、プログラミングを中心とするグループ、グラフィックス中心のグループ、地理情報システム ( G I S ) のグループを選択し、それぞれの基礎を学んでいく。

また、各種の情報関係資格の取得や S P I などの講座も実施する。

#### 評価

日常の取り組み姿勢 ( 5 0 % ) と課題の進捗度 ( 5 0 % ) などを点数化し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

とくに指定しない。必要な都度、プレゼミの中で紹介していく。

科目名	演習		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

プレゼミの後に続く演習の授業で、演習、を通して、卒業研究を進める基礎を身につける。

世の中にあるデジタル関連作品、ソフトがどのようにできているかを理解するために、何らかのツールを作成する。作成する過程で、どのようなソフトを作るかというアイデアをだす「考える力」、そしてチームでの開発作業に必要な「協調性」が求められる。本授業では、グループのアニメーション作りを通して、ツールを使えるようにするだけでなく、ソフトウェア開発の各工程を体験してもらうための準備をする。

何らかのツールでソフトウェアの開発工程を体験することにより、「考える力」「議論する力」や周囲とうまく作業を進める「高い協調性」を身に付けることを大切にする。

#### 内容

アニメーション作成の準備とそれに関連した課題の発表をおこなう。

- 1 . FLASH などのアニメーションツールの習得
- 2 . Action Script 言語の習得
- 3 . アニメーションの調査、企画、作成
- 4 . 埼玉地域の昔話の絵本作成
- 5 . 埼玉地域の高齢者の生活についてのデジタル表現について
- 6 . 情報関連の資格取得の準備

また、アニメーション作成に関連した各自興味ある課題をひとつ決めpower point を用いて自分たちで調べたこと、考えたこと、発表する。特に、調査したことについて、計算機で実験し、まとめ、発表し、討論することも重要視したい。

子供向けの教育ソフトや一般の絵本、ゲームだけでなく、埼玉地域の昔話や、高齢者の生活について、インタビューし、それをデジタル絵本などで、デジタル化する表現方法についても討論し、考えていく。

課題の例：ホームページと色表現、CG 誕生の歴史、アニメ制作のワークフロー、ホームページに有効なデジカメ写真の撮り方

#### 評価

授業態度 ( 30点 ) と発表態度 ( 30点 )、ゼミでの活動状況 ( 40点 ) を総合的に判断して評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業開始時に指定する。

科目名	演習		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

- 。 プレゼミナールで学習した内容を基礎にして、自主的な計画を立てて、演習、4年生の卒業研究につながる研究を行う。
- 。 マルチメディアサービス、ゲーム、通信サービス、セキュリティサービス、などをテーマとして、学生が主体的にテーマ設定を行い、研究する手法を体得する。卒業研究に向けた準備として、作品制作等を行う。
- 。 計画的に学習を進め、定期的に進捗報告発表を行うことにより研究遂行能力を養うことができる。

#### 内容

4年生の卒業研究に向けた準備を行う。具体的なテーマは学生の興味に合わせて決定する。設定したテーマについて、研究の目的と位置づけを明確にして、学生が主体的に進める形式で行う。設定するテーマの分野の例として、次のようなものがある。

1. ネットワークサービス
2. 通信サービス
3. セキュリティサービス
4. ゲーム
5. アプリケーションサービス

#### 評価

定期的に行う進捗報告会での発表内容を100点満点で評価し、平均点が60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

テーマごとに適宜紹介する。

科目名	演習		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Gクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

情報化が進み、変化の激しい現代の社会において必要とされる能力とはどのようなものであろうか。従来の大量生産システムに代表される社会においては、指示されたことをそのとおりにできることや、的確な事務処理能力などを備えていることが好ましいとされていた。しかし、今では社会の変化が著しく、しかも人々の価値観や好みは多様を極めている。このような現代社会においては、自分の考えや価値観を認識することが必要である。さらにどのような変化にも適応できるためには、独力で新しい物事を学んでいけるだけの強い意志力と柔軟な思考力が求められている。本科目では未知の事態に直面した場合に発揮されるべき認識力、分析力、表現力等を、調査の企画とデータ分析を通して身につけることを目標としている。また就職活動において基礎となるSPIや自己分析に関する活動も行う。

#### 内容

- 1 オリエンテーション
- 2 自分を知る：適性テスト
- 3 自分を知る：自己分析
- 4 SPI ( 数的処理 ) 計算問題
- 5 SPI ( 数的処理 ) 集合・確率
- 6 SPI ( 数的処理 ) 理論・その他
- 7 SPI ( 言語 ) 語彙関係
- 8 SPI ( 言語 ) ことわざ・四字熟語
- 9 SPSSによるデータ解析 ( 1 ) 度数分布・基礎統計
- 10 SPSSによるデータ解析 ( 2 ) クロス表・ 二乗検定
- 11 SPSSによるデータ解析 ( 3 ) 相関・回帰
- 12 SPSSによるデータ解析 ( 4 ) 平均の差の検定・分散分析
- 13 プレゼン手法
- 14 課題作成
- 15 課題発表

#### 評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1 . 授業に対する意欲と態度 ( 30% )
- 2 . 課題発表の達成度 ( 70% )

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

必要に応じて授業内で指示する

科目名	演習		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

プレゼминаールにおいて学んだ内容をもとに各自が決めた研究内容 ( ゲーム作成、データ解析 ) に従い研究を進めていく。ゲーム作成では、自分が作成するゲームの概要、画面構成等を決め、研究計画を作成する。データ解析では、分析する対象を決定し、データの仮収集を行ったうえで研究計画を作成する。その後各自の研究計画に沿って研究を進めていく。また、本授業中に数回の発表を行うことにより、ドキュメンテーション技術・プレゼンテーション技術を身につける。

内容

1	オリエンテーション
2	各自研究分野の検討
3	各自研究分野の現状調査
4	各自研究分野の計画検討
5	各自研究分野の計画作成
6	研究計画発表会
7	研究計画発表会
8	研究計画に沿って実施
9	研究計画に沿って実施
10	研究計画に沿って実施
11	研究計画に沿って実施
12	研究計画に沿って実施
13	研究計画に沿って実施
14	研究成果報告会
15	研究成果報告会

評価

平常点 20 点、自分の研究内容理解及び、発表点 80 点により評価を行い、60 点以上を合格とする。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	演習		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Hクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修 *
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

卒論作成に向けて基礎的な経済学について学習する。

科目の概要

基礎的な文献と輪読し、共通理解を深める。

学修目標

経済学について基礎的な知識を身につける。

内容

基本的文献を通して討論する。また、企業訪問などを通してさらに理解を深める。

評価

演習 ( 100% ) での発表。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業中に指示する。

科目名	演習		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Jクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

社会学の中でも実証研究によって成果をあげてきた家族社会学の研究法を習得する。この演習 では、家族社会学の研究領域を広く学び、演習 に向けて、参加学生の自らの関心領域を明らかにする。

## 内容

家族を扱った社会学の学術図書を読み込み、その内容についてディスカッションすることで、各自の卒業研究のテーマを模索する。毎時間テキストの一章分を取り上げ、数人のレポーターが内容を報告し、参考文献に照らしてコメントする。レポーター以外の者は問題点を指摘し、討論に参加する。なお、テキストは参加学生の問題関心にもとづいて決める。

また、夏季休暇中、合宿にて視察研修を実施する。視察研修内容は、参加学生自ら企画する。これまでに実施した事例には、韓国ソウル市内にて東国大学日本語専攻女子学生との交流、沖縄の伝統文化とリゾート開発、飛騨高山合掌集落における大家族制、北海道における移住促進事業、横浜市のまちづくりとボランティア活動などがある。

## 評価

授業中の発表や討議 ( 50% ) と学期末のレポート ( 50% ) によって評価する。

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【推薦書】野乃山久也編『論点ハンドブック 家族社会学』世界思想社、2009年。

科目名	演習		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は卒業研究を進めるための基礎作りに位置づけられる。

問題発見・解決手法としてデータ解析 ( 統計解析・多変量解析 ) とオペレーションズリサーチの概要を学ぶとともに、レポートを作成し、プレゼンテーションする力を養う。

#### 内容

データ解析およびオペレーションズリサーチの事例調査を通して

- ・どのような手法があるのか
- ・どのような問題に適用できるのか

を学ぶ。さらに調査結果をレポートにまとめ、発表することにより、レポートの要件・まとめ方とプレゼンテーション技法を学ぶ。

#### 評価

課題・発表：70% + 取り組み：30%で評価し、60 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

テキストは使用せず、必要に応じてプリントを配布する。

科目名	演習		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Kクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格：

本科目は、3年生の演習 ・ 、4年生の卒業研究 ・ へむけての過程としての位置付けとなり、3・4年生でのゼミナール活動を行う際の基礎知識を身につけます。

科目の概要：

生活者・消費者としての法の世界との出会い、ビジネスパーソンとしての法律との関わりなどを学びます。

科目の目的：

広く社会に関心を持ち、現状を踏まえ、それらをめぐる法律はどのようになっているのか、法の目的や紛争解決手段を学びます。

#### 内容

日常生活でも仕事をしていく上でも重要な「契約」や「紛争解決制度」など身近なテーマを取り上げて法的な基礎知識を身につけます。

参加者は課題の予習を行い、それを踏まえて参加者による積極的な質疑応答・ディスカッションを通じて、理解を深めます。

#### 評価

授業中の発表 ( 30% ) ・ 報告・議論への参加態度 ( 30% ) 、 報告レジュメ作成・レポート ( 40% ) により評価します。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

参加学生の関心に照らし、授業時に指示します。また、適宜資料の配布をします。

科目名	演習		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

4年次の卒業研究に向けての応用力を育成します。

ゼミのメインテーマ ( 映像、グラフィックデザイン、Webなどの制作およびメディアリテラシー研究 ) に関する知識および作品制作を行います。自主的に調査・研究する 計画的に制作する 発表するという3つを円環的に行います。また、グループワークを通じて実社会への適応能力を育成することも目的とします。

制作プロセスの理解とデザイン理論を応用できる力を習得します。メディアリテラシー能力を向上させ、メディア表現の様々な知識を獲得します。

#### 内容

4年次の卒業研究に向けて、各自でテーマを選択し発表・制作を行います。

企画構成演習やデザイン理論の発展形、映像技術や写真技術を学び、メディアリテラシーおよびメディア表現能力の向上を目指します。

特にデザイン系 ( グラフィックデザイン、Webデザイン )、映像系 ( モーショングラフィックス、アニメーション )、CG系 ( 3次元CG、モーションキャプチャー ) を重視していきます。

卒業研究に向けて、グループまたは単独による中間発表がありますので、主体的に取り組む姿勢が不可欠です。

#### 評価

発表、作品、レポートなどで総合的に判断します。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

必要に応じてプリントや資料を配布します。

科目名	演習		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Mクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、4年次の卒業研究、に向けてのファーストステップとして、簿記論等会計学関連科目の基礎知識を習得し、卒業研究等に関する基礎能力を育成する科目である。

#### 科目の概要

前半は、簿記、会計、税務等、実務に直結する一般的な会計関連科目の幅広い基礎知識の習得を目指す。必要な会計関連科目の基礎知識習得後、各自与えられた課題を分析・検討して発表を行い、積極性、分析力、判断力等の育成の他、表現力等プレゼンテーションスキルの上達も試みる。後半は、ゼミの進捗状況により、企業の財務諸表分析、問題点の把握、ソリューションを導き出す能力の育成等、さらなるレベルアップも検討する。また希望者が多ければ日商簿記検定試験等の資格試験対策や模擬面接等の就職活動対策等も考慮する。

#### 学修目標

1. 会計学、簿記論、税法等の科目について基礎知識を習得する。
2. 財務諸表を読み、企業の経営状況を把握する力を身につける。
3. 自ら調査・分析・研究し、卒業研究としてまとめることができる力を養成する。
4. 可能な範囲内での資格取得にチャレンジする。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	各自学修計画の策定
3	簿記論・会計学関連の基礎知識把握
4	簿記論・会計学関連の基礎知識把握
5	事例研究とまとめ方 1
6	事例研究とまとめ方 2
7	課題設定と発表方法
8	課題発表、資格試験対策
9	課題発表、資格試験対策
10	課題発表、会計学の発展的研究、資格試験対策
11	課題発表、会計学の発展的研究、資格試験対策
12	課題発表、資格試験対策
13	課題発表、資格試験対策
14	課題発表、資格試験対策
15	まとめ

#### 評価

課題発表（30%）、レポート作成（30%）、ディスカッション等ゼミ参画態度（40%）により総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト等については、ゼミの進捗状況に応じ、授業内で指示する。また、必要に応じて適宜プリントを配布する。

科目名	演習		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Lクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

- 1 前期「演習」につづく科目。生活情報学科3年後期必修科目。
- 2 ゼミ論の作成にむけて、各自がテーマを設定し、内容検討を行う。
- 3 ゼミ論文を完成し、卒論制作につなげる。

## 内容

ゼミ論文の作成にむけて、「演習」を振り返りグループ学習、個別学習を行う。

- 1 各自のテーマ設定、それにもとづく基本レポートの作成
- 2 テーマに接近するアプローチ、内容構成の検討
- 3 文献検索によるデータの集収
- 4 基本レポート1の報告会 ( グループ学習 )
- 5 テーマについての拡大検討
- 6 4年生との卒論研究交流会
- 7 ゼミ論発表会

## 評価

課題への取組 ( 30% )、レポートや報告・発表 ( 30% )、授業への参加度 ( 40% ) など合わせて評価し、60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業時に随時紹介する。

科目名	演習		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

3年次の「演習」、4年次の「卒業研究」に接続させるために専門分野に関する知識や技術を学ぶ。  
各自の興味関心に応じたゼミを選択し、選択した分野の基礎や研究方法などを学んでいく。

1. 選択した分野の基礎を積極的に学ぶ。
2. 各自の達成目標を設定して、到達できるように努力する。
3. テキスト以外の勉強方法や調査方法などを習得し、自発的学習能力を身につける。

#### 内容

各自の興味や関心にしたがって、プログラミングを中心とするグループ、グラフィックス中心のグループ、地理情報システム ( G I S ) のグループを選択し、それぞれの基礎を学んでいく。  
また、各種の情報関係資格の取得や S P I などの講座も実施する。

#### 評価

日常の取り組み姿勢 ( 5 0 % ) と課題の進捗度 ( 5 0 % ) などを点数化し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

とくに指定しない。必要な都度、プレゼミの中で紹介していく。

科目名	演習		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

演習 の後に続く演習の授業で、演習 、 を通して、卒業研究を進める基礎を身につける。

世の中にあるデジタル関連作品、ソフトがどのようにできているかを理解するために、何らかのツールを作成する。作成する過程で、どのようなソフトを作るかというアイデアをだす「考える力」、そしてチームでの開発作業に必要な「協調性」が求められる。本授業では、グループのアニメーション作りを通して、ツールを使えるようにするだけでなく、ソフトウェア開発の各工程を体験してもらうための準備をする。

何らかのツールでソフトウェアの開発工程を体験することにより、「考える力」「議論する力」や周囲とうまく作業を進める「高い協調性」を身に付けることを大切にする。

#### 内容

アニメーション作成の準備とそれに関連した課題の発表をおこなう。

- 1 . FLASH などのアニメーションツールの習得
- 2 . Action Script 言語の習得
- 3 . アニメーションの調査、企画、作成
- 4 . 埼玉地域の昔話の絵本作成
- 5 . 埼玉地域の高齢者の生活についてのデジタル表現について
- 6 . 情報関連の資格取得の準備

また、アニメーション作成に関連した各自興味ある課題をひとつ決めpower point を用いて自分たちで調べたこと、考えたこと、発表する。特に、調査したことについて、計算機で実験し、まとめ、発表し、討論することも重要視したい。

子供向けの教育ソフトや一般の絵本、ゲームだけでなく、埼玉地域の昔話や、高齢者の生活について、インタビューし、それをデジタル絵本などで、デジタル化する表現方法についても討論し、考えていく。

課題の例：ホームページと色表現、CG 誕生の歴史、アニメ制作のワークフロー、ホームページに有効なデジカメ写真の撮り方

#### 評価

授業態度 ( 30点 ) と発表態度 ( 30点 )、ゼミでの活動状況 ( 40点 ) を総合的に判断して評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業開始時に指定する。

科目名	演習		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

演習 で学習したことを発展させることがねらいである。

自主的に調査・研究・開発する能力、問題を発見し解決していく能力、レポートにまとめ発表する能力を育成する。

自主的な学習の結果を定期的に行う進捗報告会で発表することにより、研究に関する基礎能力を養成することができる。

#### 内容

学生ごとに興味のある分野に関して基礎知識を、学生が自主的に学習する。学習した成果を作品としてまとめ、プレゼンテーション、ディスカッションにより3年生での演習につなげていく。

#### 評価

課題発表 ( 約50 点 )、取り組み姿勢 ( 約50 点 ) などを総合的に評価し、60 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

テーマごとに適宜紹介する。

科目名	演習		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

情報化が進み、変化の激しい現代の社会において必要とされる能力とはどのようなものであろうか。従来の大量生産システムに代表される社会においては、指示されたことをそのとおりにできることや、的確な事務処理能力などを備えていることが好ましいとされていた。しかし、今では社会の変化が著しく、しかも人々の価値観や好みは多様を極めている。このような現代社会においては、自分の考えや価値観を認識することが必要である。さらにどのような変化にも適応できるためには、独力で新しい物事を学んでいけるだけの強い意志力と柔軟な思考力が求められている。本科目では未知の事態に直面した場合に発揮されるべき認識力、分析力、表現力等を、調査の企画とデータ分析を通して身につけることを目標としている。また就職活動において基礎となるSPIや自己分析に関する活動も行う。

#### 内容

- 1 オリエンテーション
- 2 自分を知る：適性テスト
- 3 自分を知る：自己分析
- 4 SPI ( 数的処理 ) 計算問題
- 5 SPI ( 数的処理 ) 集合・確率
- 6 SPI ( 数的処理 ) 理論・その他
- 7 SPI ( 言語 ) 語彙関係
- 8 SPI ( 言語 ) ことわざ・四字熟語
- 9 SPSSによるデータ解析 ( 1 ) 度数分布・基礎統計
- 10 SPSSによるデータ解析 ( 2 ) クロス表・ 二乗検定
- 11 SPSSによるデータ解析 ( 3 ) 相関・回帰
- 12 SPSSによるデータ解析 ( 4 ) 平均の差の検定・分散分析
- 13 プレゼン手法
- 14 課題作成
- 15 課題発表

#### 評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1 . 授業に対する意欲と態度 ( 30% )
- 2 . 課題発表の達成度 ( 70% )

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

必要に応じて授業内で指示する

科目名	演習		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

演習 の研究成果報告において発表した内容をもとに研究内容の修正・変更を行い、修正・変更した内容に沿って研究計画を変更する。その後各自の研究計画に沿って研究を進めていく。また、本授業中に数回の発表を行うことにより、ドキュメンテーション技術・プレゼンテーション技術を身につける。

## 内容

1	オリエンテーション
2	各自研究分野の再調査・再検討
3	各自研究分野の修正・変更
4	各自研究分野の計画再作成
5	研究計画発表会
6	研究計画発表会
7	研究計画に沿って実施
8	研究計画に沿って実施
9	研究計画に沿って実施
10	研究計画に沿って実施
11	研究計画に沿って実施
12	研究計画に沿って実施
13	研究計画に沿って実施
14	研究成果報告会
15	研究成果報告会

## 評価

平常点 20 点、自分の研究内容理解及び、発表点 80 点により評価を行い、60 点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	演習		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Hクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

##### 科目の性格

卒業研究に向けて基礎的な経済学について学習する。

##### 科目の概要

基礎的な文献と輪読し、共通理解を深める。また、東京証券取引所や日銀などを見学し、より学習を進めていく。

##### 学修目標

経済学について基礎的な知識を身につける。

#### 内容

3年次からの演習を速やかにすすめるために、基礎的な内容を学習する。特に、日本経済や経営に関する問題などを新聞、雑誌などを読みながら進めていく。また、日本銀行、東京証券取引所などを見学するなどして現実の経済の動きを身近に感じられるようにする。

#### 評価

プレゼミでの発表(50%)。レポート作成(50%)。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示する。

科目名	演習		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Jクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

3年次前期の演習 に続けて、社会学の中でも実証研究によって成果をあげてきた家族社会学について、より研究を深める。4年次に仕上げる卒業研究のテーマを絞り、そのテーマに関する先行研究と既存資料を整理する。

#### 内容

1. 家族社会学や社会学の学会誌、例えば、『家族社会学研究』、『家族問題研究』、『社会学評論』などから、各自の関心あるテーマの研究論文を探し、論文一覧を作成し、それぞれの論文を要約する。
2. インターネットを使って、総務省統計局や厚生労働省の官庁統計のうち、それぞれの関心領域のデータについて検索し、整理する。
3. 情報資料センター所蔵の『朝日新聞データベース』を使って、各自の関心テーマに関連する過去の新聞記事を検索し、記事一覧を作成し、それぞれの記事を要約する。
4. 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センターのデータアーカイブに提供されている個票データを使って、各自の関心テーマに関連した量的調査のデータを統計分析する。
5. 以上の作業を通じて、卒業研究のテーマを決定し、そのテーマに関する先行研究と既存資料をまとめた「ゼミ論」(4000字程度)を仕上げる。

#### 評価

授業中の発表や討議 ( 40% ) と学期末のレポート ( 60% ) によって評価する。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

教科書と推薦書は、参加学生の関心に照らして、授業時に指示する。

科目名	演習		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は卒業研究を進めるための基礎作りに位置づけられる。

問題発見・解決手法としてデータ解析 ( 統計解析・多変量解析 ) とオペレーションズリサーチの概要を学ぶとともに、レポートを作成し、プレゼンテーションする力を養う。

## 内容

データ解析およびオペレーションズリサーチの事例調査を通して

- ・どのような手法があるのか
- ・どのような問題に適用できるのか

を学ぶ。さらに調査結果をレポートにまとめ、発表することにより、レポートの要件・まとめ方とプレゼンテーション技法を学ぶ。

## 評価

課題・発表 : 70% + 取り組み : 30% で評価し、60 点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

テキストは使用せず、必要に応じてプリントを配布する。

科目名	演習		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Kクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格：

本科目は、3年生の演習 ・ 、4年生の卒業研究 ・ へむけての過程としての位置付けとなり、3・4年生でのゼミナール活動を行う際の基礎知識を身につけます。

科目の概要：

生活者・消費者としての法の世界との出会い、ビジネスパーソンとしての法律との関わりなどを学びます。

科目の目的：

広く社会に関心を持ち、現状を踏まえ、それらをめぐる法律はどのようになっているのか、法の目的や紛争解決手段を学びます。

#### 内容

日常生活でも仕事をしていく上でも重要な「契約」や「紛争解決制度」など身近なテーマを取り上げて法的な基礎知識を身につけます。

参加者は課題の予習を行い、それを踏まえて参加者による積極的な質疑応答・ディスカッションを通じて、理解を深めます。

#### 評価

授業中の発表 ( 30% ) ・ 報告・議論への参加態度 ( 30% ) 、 報告レジュメ作成・レポート ( 40% ) により評価します。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

参加学生の関心に照らし、授業時に指示します。また、適宜資料の配布をします。

科目名	演習		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

4年次の卒業研究に向けての応用力を育成します。

ゼミのメインテーマ ( 映像、グラフィックデザイン、Webなどの制作およびメディアリテラシー研究 ) に関する知識および作品制作を行います。自主的に調査・研究する 計画的に制作する 発表するという3つを円環的に行います。また、グループワークを通じて実社会への適応能力を育成することも目的とします。

制作プロセスの理解とデザイン理論を応用できる力を習得します。メディアリテラシー能力を向上させ、メディア表現の様々な知識を獲得します。

#### 内容

4年次の卒業研究に向けて、各自でテーマを選択し発表・制作を行います。

企画構成演習やデザイン理論の発展形、映像技術や写真技術を学び、メディアリテラシーおよびメディア表現能力の向上を目指します。

特にデザイン系 ( グラフィックデザイン、Webデザイン )、映像系 ( モーショングラフィックス、アニメーション )、CG系 ( 3次元CG、モーションキャプチャー ) を重視していきます。

卒業研究に向けて、グループまたは単独による中間発表がありますので、主体的に取り組む姿勢が不可欠です。

#### 評価

発表、作品、レポートなどで総合的に判断します。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

必要に応じてプリントや資料を配布します。

科目名	演習		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Mクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

演習 は、演習 に引き続き、企業の財務諸表分析や企業経営の考え方を会計、税務の両面から幅広く検討し、課題発表等を通じて考察力、分析力、さらには問題解決能力等を習得する科目である。また、演習 は、翌年の卒業研究へのステップとして位置付け、テーマ設定、研究計画等、卒業研究の準備も行う。

演習 に引き続き、会計学、税制の基礎力の確認を行い、会社の財務諸表分析や企業経営等を検討するが、可能であればさらに国際会計や国際税務戦略、よりレベルの高い資格試験対策等への発展的拡充を試みる。課題発表では、パワーポイント等のソフトウェアを利用して各自、選択可能なテーマの中から発表を行う。課題は会計学、税制の範囲に限らず、幅広い分野からのテーマ設定が可能である。課題発表では、プレゼンテーションやディスカッションを通してスピーディな資料の作成能力や発言力、ソフトウェアを利用した表現力、効果的な発表力等を身につける。

学修目標としては以下の4点をあげる。

1. 財務諸表の基礎的分析力、問題点の把握とその解決能力の習得。
2. 会計学、税制の基礎知識把握と発展的拡充。
3. 効果的なプレゼンテーション・スキルの向上。
4. 研究に関する基礎能力の育成。

内容

1	オリエンテーション、各自学修計画の策定
2	カレントトピックスと会計・税務の基礎力確認
3	課題発表、資格試験対策等
4	課題発表、資格試験対策等
5	課題発表、資格試験対策、国際会計基準の基礎等
6	課題発表、資格試験対策、IFRS等
7	課題発表、資格試験対策、IFRS等
8	課題発表、資格試験対策、国際税務の基礎等
9	課題発表、資格試験対策、国際税務 ( タックスハイブン税制 ) 等
10	課題発表、資格試験対策、国際税務 ( 過少資本税制 ) 等
11	課題発表、資格試験対策、国際税務 ( 移転価格税制 ) 等
12	課題発表、資格試験対策、就活対策等
13	課題発表、資格試験対策、就活対策等
14	課題発表、資格試験対策、卒業研究準備等
15	まとめ

評価

課題発表 ( 30% )、レポート作成 ( 30% )、ディスカッション等ゼミナール参画態度 ( 40% ) により総合的に判断し

て評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト等については、ゼミの進捗状況に応じ授業内で指示する。また必要に応じ適宜プリントを配布する。

科目名	演習		
担当教員名	長坂 敏史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Pクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

経営に関する領域において、それぞれゼミ履修生の自主性を重視し、その興味に答えて内容を組み立てる。

マーケティング・会計・戦略を三本柱として、経営に関する諸課題を抽出し、それらに関し検討を加える。上記内容に関し、3年次は主として基本的概念に関する学習を行い、4年次の卒業研究に関する各自のテーマ選択の準備を行う。また、演習では経営の実践を学ぶために、企業見学や企業の実務担当者を招いてお話を伺う機会を持つ。

#### 内容

後期には、前期に引き続き、基本テキストを使用し、各自分担したテーマに応じて内容を調べ、発表し、議論する。後期には、基本テキストの学習と並列して、各自の関心に基づいて関連する文献の調査等を行い、みんなで報告しあい卒業研究のテーマを絞っていくと同時に、マーケティングや経営に関する研究テーマを選択し、グループによる調査研究を行う。

#### 評価

課題・発表(50点)、取組み姿勢(50点)などを総合的に評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。必要な都度、プレゼミの中で紹介していく。

科目名	演習		
担当教員名	中尾 茂子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Nクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

本科目は、生活情報学科3年次必修科目であり、4年次の卒業研究の準備を整える科目である。

##### 科目の概要

ネットワーク技術を活用した新しい情報システムが次々と開発され、ビジネスや教育など幅広い分野でそれらを使った活動がなされており、私たちの生活の中に情報技術が浸透してきている。このような社会の中で豊かな生活を実現するための情報システムやコンテンツが求められている。ここでは、コンテンツの開発に必要な基礎的な知識と技術の習得をめざす。

3年次終了時に卒業研究の仮テーマを決定する。

##### 学修目標

興味あるツール ( ソフト ) や言語に関する必要な知識と技能を習得する。

コンテンツを作成する。

卒業研究の仮テーマを決定する。

#### 内容

興味あるツール ( ソフト ) や言語を各自選択し、それらの使い方を習得して、コンテンツを作成する。

演習 ・ を通して興味関心を持った分野について、アプリケーションソフト利用によるコンテンツの制作を中心とする研究と文献調査を主とした研究のいずれかを選択し、3年次終了時に卒業研究の仮テーマを決定する。

#### 評価

授業での学習取り組み状況50点、提出課題50点として評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	岡林 正和		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	2Nクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格：

3年次の演習、4年次の卒業研究に入る為に、必要な基礎学力を育成の為の科目である。

科目の概要：

内容

評価

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）